



正七年八月十九日第三種郵便物認可
 (每月)一回三十日發行
 大正九年六月二十日發行

THE MONTHLY REPORT

OF

SEITO JITSUGYO KIOKWAI.

JUNE, 1920 No. 30.



大正九年六月

青島實業協會

月報

第三拾號

△資 △工 △海 △貿 △青 △主 △內 △青 △附 △協 △法 △倫 △寄 △統

贈書類目 敦銀塊相 屬會運動錄彙 外島經濟雜彙 要貿易品要概 青島貿易品要概 運及鐵

△本號要目▽

料業道易覽況報錄報事規場錄計

青島實業協會月報 第參拾號

目次

資 料

△山東主要棉產地.....一

工 業

△青島に於ける油房並に搾油業.....五

海 運 及 鐵 道

△青島最近出入船舶(四月中).....二二

△內地近海運賃形勢.....一三

△繫船時代愈來.....一三

△南洋邦船引揚.....一三

△山鐵取扱貨物(五月中).....一四

△三驛發送貨物(五月中).....一六

△連絡貨物中繼變更.....一七

△濟南驛狀況(五月中).....一七

△埠頭倉庫業況(五月中).....一八

△五月鐵道乘客.....一八

△青島驛乘降客.....一九

△列車運轉回数.....一九

貿 易

△青島貿易近況(四月中).....一九

青 島 要 覽

△青島貿易近況(五月中).....一九

△主要輸出入貨物情勢(四月中).....二〇

△民船貿易(五月中).....二一

△鹽田保證金取扱變更.....二三

△輸出鹽許可方針變更.....二三

△鹽業水產概況.....二四

主要貿易品概況

(六月中)

□綿絲布 □砂糖 □燐寸 □米 □木材 □花生實

□花生油 □原鹽 □麥稈眞田 □牛肉 □桐材 □石

炭

内外經濟要報

△本邦輸出貿易減退.....二九

△造船界の現在及將來.....三一

△銀行手許厚薄の増大.....三二

△一般勞銀の漸落.....三三

△綿業界益紛糾懸念.....三三

△世界の砂糖需給觀.....三四

△銀價の漸落步調.....三六

青島雜錄

□青島管內戶口 □治線邦人戶口 □在青獨人一部歸國
 □鑛石積出不進捗 □白ビール釀造 □林署長記者招待
 □各種糧食品の昂騰 □損害申告布令 □優良種畜購入
 □山東牛假置場 □損害調査委員 □桐材現狀悲觀
 □先月屠殺狀況 □濟南燐守市況 □最近の點燈數
 □島畜產界不振 □大港埋立完成期 □最近貸下官有地
 □内外人往來數 □魚市場水揚高 □製油界の革新
 □最近營業件數 □電話二千圓臺 □臺東鎮再貸下
 □土
 地貸與禁止 □家屋建築許可の改善

協會錄事

△定例總會(七月).....四二
 △大正九年自一月至六月執務日記抄錄.....四四

附屬運動部彙報

△太田優勝旗試合.....五〇
 △附屬運動部總會.....五〇
 △各部委員委囑.....五〇

法規

△青島發電所給電規則中改正.....五〇

倫敦銀塊相場

△大正九年六月中表示.....五一

寄贈書類目錄



資料

山東主要棉產地

山東の主要棉產地たる東臨道各縣の棉業狀況に關し最近棉業調査員于樹楨、陳仁偉の調査報告せるところ左の如し(山東實業公報民國九年二月號)

一、堂邑、冠縣、館陶、臨清棉業狀況

●堂邑 縣下の棉產地は北郷なる辛集柳林等の地方を主となす委員等の實地調査に當り該地方の棉作者に就いて聽取せるところに依れば此等の地方は十分の七八を占め縣下總計にては約一千六七百頃あり今年は降雨量少なく産額増加し一畝の收穫(二百四十弓)實棉八十斤乃至百二十斤(十六兩秤)あり百斤に付現在價格によれば十二元を得べく之を高梁及び荳類の栽植をなすに比すれば倍以上の所得に當る斯かる收入あれば人民の棉花の栽植をなすものは年々増加しつつあり

縣城西十里以内は全然鹼地(アルカリ性分を含有する土壤)にして植棉に適せず東南二郷も亦植棉甚だ少なし西北及び正北各郷は土質青砂土にして棉花の栽培に恰適し近年此地方の人民は棉花栽培の有利なるを目睹したれば棉業尤も此地方に盛なり本縣の棉種は多くは未改良のまゝにして米國棉を栽植するものは絶無なるべし

種類は大別して白棉紫棉の二種に分つ白棉紫棉共に又各之を紫棉糸棉に分つ(均く俗稱なり)紫棉は近來賣行廣からず栽培なすもの殊に少なし白棉は紫棉を最も多しとす仔細に觀察せば此の種の棉花は光澤比較的劣り纖維短硬にして只十二手を紡出し能ふのみ願ふに人民の多く紫棉を植る糸棉を植るざる理由は三あり

り(一)は紫棉の産量は糸棉より優る(二)山東省には紡績工場なく比較的好き棉花も亦價格を擡ぐる能はず(三)郷間の人民は衣服に美觀を欲せず只耐久を求む此等の種々なる原因によりて糸棉を植うるもの甚だ少し即ち間々之あるも亦富家の之を植ゑて自家用となすに過ぎざる而已

●冠縣 縣下の東西兩郷は土質粘性を帶び從來棉を産せず其の縣城北及び東二郷は棉産最も旺盛にして十の六七に居る縣下總計約二千五百頃あり今年の收穫佳良にして一畝の收穫百四五十斤に上るものあり本縣の人民は土匪防範の爲めに多くは高梁を植わすして棉花を植わしかば今年の棉業特に盛んなるものあり

●館陶 縣下の棉產地は東北及び西北二郷とす縣下總計二千三百頃あり今年は降雨時期少なくて開花甚だ早く收穫は之を往年に比較し多きも減することなし少くとも一畝に付百斤以上の收穫なるべし

本縣は堂邑冠二縣に毗連すれば人民の用ゆる種子も多く相同しきものなり但し人民は種子についてすべて注意なすことを知らず多くは種子の優良選擇をなし貯藏しおくことをなさず播種時期に至り棉花問屋より購買す其の種子は良否混合しおれば生長するに及び必ず齊整ならずして其の收穫量の減少することは無論なり若し此の種子選擇に付少しく改良をなさば他日收穫は當

に此に止まらざることにして本委員等は種子選擇の必要及び種子貯藏の種々方法を説明し與へたるが能く聽從するや否や必ず可からず此の事は縣農會より白話體の告示として郷間に配付し先づ人民をして此種觀念あらしめて萬一此の方法により試作し效果を見るあらば則ち必ず群起して之を倣ふは斷言することを得るなり已に各縣農會長に對し之を協議に及びおきたり

●臨清 本縣は東臨道に於ける棉產最盛の地方とす縣下の棉產は十の四を占め全縣總計四千頃以上あり運河以東を最盛となし運河以西は殆んどなし北郷は地勢窪地にして棉花の栽培に適せず本縣の人民は種子に對しては稍改良を知るところあり委員等は四縣下を經過し棉花狀況を視察せしところにては臨清最も佳なり其の產額一畝に付百六七十斤のものあり實に他縣の及ばざるところとす其の原因四あり則ち(一)土質恰適(二)交通便利(三)習練已に久し(四)試驗場の實地指導あり其の傳播有效なること等なり臨清衛河の東岸及び東南東北二郷はもと黃河の故道にして以前は河水泛濫し砂泥漸次沖積して遂に今日の平原を成したるなり砂質壤土は土質輕鬆にして水を透し易し故に棉花の枝葉は繁茂を致さずして桃蘆は充實し易し衛河は上は天津に通じ日本の紡績原料となるものは多く天津より此の地方に至りて購買し輸出をなすこと既に多くして價格日に昂騰せりされば之が栽培は自然多きを加へ目下の輸出高約四百五十萬元に上る臨清は棉產最盛の地なれば人民は栽植管理諸方法に就て聞くところ已に熟し其地には某種適す某種は某地を宜しとす等習練已に久しく經驗せざることなし且つ東關外に棉業試驗場の設立あり米國棉を試種棉種收良を試むるに成績極めて佳良にして隨意一般人に觀覽せしめ又隨時講演をなし居れり人民既に其の豐産を

羨み復た其の生性は播種早ければ遲熟の憂なく摘心斷根をなせば枝葉の長大となり結桃せざる如き虞なきこと明になりたれば縣城四周十支里以内の地方は米國棉を栽植するものも亦少からず米國棉に就ては委員等は經過せし四縣に於て郷民の米國棉を植へざる所以を調査せしに總て米國棉は光澤の鮮美纖維の柔長產額の多量なることは之を知らざるにあらざるも但し米國棉は成熟の時期太だ遅く桃子外皮頗る厚く比較的高溫度にあらざれば開展する能はず山東は天氣比較的寒くして甫めて開花の期に到れば已に甚だ寒きを覺む甚しきときには降霜を見る是を以て往々雪に結桃をなすも開花せずと言ふにありて一度斯かる經驗をなしたる後には委員等が如何に早播及び米國棉の栽植に付説明すと雖も容易に信用するものなし臨清縣境に到るに迨び該縣は東臨道に於ける棉產の最も久しく最も盛なる地方なれば人民は棉業に就て甚だ注意を拂ひ間々米國棉を栽植し佳否を試験するものあり幸ひ省立棉業試驗場の栽培せる米國棉脫黑司種は今年に於て成熟期早く目下開花せるものは八九分通りあり附近郷民の往いて觀るもの甚だ多し之に由り觀れば臨清一帯の米國棉は比較的發達し易きを想ふなり堂邑縣冠縣館陶縣の棉は主に濟南に出だしたる上更に膠東道一帯及び外省に消費せらる今年各縣の棉產價格は各二百萬元内外とす臨清縣の棉は大半日本人之を購買なし裏面には日本人資本の棉花問屋もあり今年は日貨抵制の爲日本の雜貨類輸入減に因り棉花買入者も亦少なしと云ふ

二、邱縣清平縣高唐縣棉業狀況

一、土質に關する研究 三縣を綜觀するに土質等しからず之れを黑土砂質壤土砂土鹼土(アルカリ性分を多量に含む土壤)の四種に分つべし黑土は粘性比較的多く有機物に富み其組織緊密に

透水透氣兩性共に弱し且つ乾けば龜裂し旱害を受け易し棉枝葉徒らに生長し結桃し易からず蓋し棉花の生長機關と繁殖機關とは反比例をなすものにして例令ば生長機關は弱退をなす故に枝葉は往々繁茂して桃蒴の少なきを見るは即ち此理によるなり但し此の土質は米國の新開土地と略相同じければ米國高原棉花を植うるには頗る適す此種の土壌は邱縣千餘頃清平二千餘頃高唐東鄉二千餘頃あれば米國棉の種植を指導獎勵すべし砂質壤土は組織輕鬆にして透水透氣共になし易く棉花栽培に最も宜し但るし其の養分は比較的小なり肥料補助と相俟て圓滿なる結果を得を要すべし此種土壌には各縣すべて已に棉花栽培をなせり其の收穫高の多寡は恒に肥料により等差を生ず砂土は三縣共に少からずして之を更に飛砂及び平砂に分つべし飛砂とは土壤を距つること頗る深く風に遇へば飛旋して邱陵をなし種植に適せず平砂とは其の表土は砂質なりと雖も低土は乃ち黃土壌にして棉花栽培をなせば相當の收穫を得べしもし能く低土を翻へして表土と相互に混合せしめば即ち壤質砂土となりて左も恰適地となり近來人民は此種の砂土を利用し落花生を植うる者あり一畝に付種七百五十餘斤を獲ることも亦少からず鹼土地に至つては其の性鹼鹵にして檉柳、鹼蓬、鹼豇、苜宿及び叢生樹木以外には諸種の作物すべて不適當なり

二、選種に關する研究 強大整齊純粹なる種子にしてはじめて健全純正なる植物を得べし棉花は最も變種し易く選種上尤も注意を要す棉花の選種には二法あり一は棉花收穫の際に棉株を選ぶに其生長適中にして桃蒴齊一に病虫等の害なく而も該種固有の性質を具する物を選び特別に採取繰綿をなし種子を分離せしめ乾濕適當なる箇所に貯藏し以て播種の用に備ふるを要す此の

法は性質既に可に種類も亦純正にして相互を交雜せしめ棉花の品質をして參錯不一あるを致さず選種法の最精密なるものとす之に次ぐものは粒選法なり即ち已に纖毛を分離せしめたる種子を視力によりて其の大小整齊を觀察し輕重均一なるものを取りて播種す但し尙種々なる弊端あり繰綿の注意不十分にして品種を交雜するときは二種子の比重は不同にして唯肉眼觀察に憑りて量れば量目は充分に正確なることを得ず然れども之を選ばずして種ゆると比較せば遙かに勝れりとす委員等は各縣を經過し農民に詢ねしが概ね選種の利益あることに不明にして品質劣雜に生長し成果不齊に開花成熟一樣ならずして隨つて管理、採取定苗、打心等に就ても多くの作手間を費し經濟に引合はず此の間の利害は已に各縣農會に向つて切實に之を説明したるが須からく事實上有益に勸導なしてはじめて效果を得べきを要す此れ固より現在の支那棉に就て言ふものにして他日米國棉を改良普及せしむる上にも尤も第一に注意を要すべき點なりとす

三、種植に關する研究 疏密の利害 各縣の種棉狀況を經過觀察したるところにては其の播種密に過ぐるを免れず行間は四五寸乃至七八寸株間は二三寸三四寸にして等しからず斯くの如ければ棉花の生長密に過ぎ只中央の莖幹のみ抽き出て枝葉分岐する能はず結桃も從つて少なし蓋し光線空氣十分に透射流通する能はざれば蔭翳過多となり地溫低降し棉作充分に發育し得ざるなり輻射を遮蓋し同化一樣ならず澱粉堆積して完全なる纖維となること能はざるなり而して棉毛の縮少十分に舒展する能はざれば枝幹組織柔軟にして倒臥し多く病虫を招き易きなり生存競争上養分不足するなり故に疎播するを宜しとす米國棉は分岐長大に中幹も亦高し播種の距離は一尺一寸内外を以て合理とすべ

六、繰棉の状況 各縣の繰棉機調査は甚だ困難なりとす、蓋し既に一定せる工場なく復た多くは各郷に分散をなし一々調査せし事は容易に詳かならざれば茲に贅せず（註、本事項は附載なきを以て不明なり）

査するに各縣の繰棉機は日本製のもの多く十の七八に居り商人に其機械の優劣を尋問せしに到る處すべて日本品は勞力少なくて繰棉歩合多く歩合十分の二なりと云ふ今年購入せしものは直隸順德製及び北洋勸業鐵工廠の製造せしもの多しと云ふ七、紫系二棉の狀況 各縣下の支那棉は概括して之を白棉紫棉

此の種棉種は各縣共にすこしは不同にして名稱も一樣ならず紫棉には硬毛免小白花大花などいふものある絲棉には長毛絨長毛花など云ふものあり紫棉は纖毛硬く纖維粗に色澤劣る之を以て紡績には殊に適せず唯收量の佳良販路の廣きを以て人民みな樂みて之を植ゆ絲棉は光澤の美彈性の強きことは米國棉に及ばざ

工業

青島に於ける油房並に搾油業

△緒言 支那に於ける落花生の産地を數ふれば先指を山東省に屈せざるべからず其産額は他省に冠絶し品質亦た佳良なるを

れども尙能く比較的細密なる紡績をなすことを得人民の土地製
の木綿を見るに亦織地の平均に細かなること觀るべきあり顧ふ
に之を植ゆるもの鮮なき所以のものは蓋し繰棉歩合少なく實棉
百斤に付純棉二十五六斤を出だす之を紫棉と比較するに其の差
額巨大にして價格は同一たれば此の故に日に減少なせり往時は
民間に猶之を植むしものあり紡績して衣服縫紉の用となせしが
近來紡績絲流行して次第に壓倒せられたるが又山東省紡績工場
も將に開始せられんとすれば比較的高價を以て此の種の絲棉買
收をなせば其の發達容易なるべし紫棉は形狀性質上紫絲二種に
分つも但し農民は混合して區別せず蓋し種植するもの少く種子
も亦雜多にして特に區別し難きものとす繰棉歩合は不良にして
百斤に付二十七八斤を出でず栽培者も亦なし此の種の棉は之を
一目すれば紫花と見るも之を細別するときは紫、黃、紅、灰、綠等
の各色を呈し十分改良をなし固定せしむるを得たらんには此種
の性質は支那唯一の特産と成らん且つ光澤あり此の棉花を用る
たる綿布は之を他の染色綿布に比し廉價にして耐久力あり之を
以て軍警學各界の制服を裁製せば實に特別優等のものたらん

以て搾油原料として年々其産額を増加し最近の調査に於て五百萬擔以上と稱せられ剝實及び油は當港輸出貨物の大宗として年

額約銀二千萬圓の輸出を見需要は世界的に擴大し將來益々望を賜せしむるに至れり然るに往年當港より輸出せらるる落花生油は小規模なる省内支那人工場に於て最も舊式なる搾油法により製油せられたるものにして品質區々に亘り頗る劣等なるのみならず不純物の含有量多く兎角の非難を招きつゝあるを以て之が改善と品質の統一を期せんが爲め大正六年來邦人輸出業者間に精製油房の計畫せらるゝもの相繼で起り既に青島に於て二搾油工場八精製油房を算し濟南に於ても亦三油房を見るに至れり此の精製せられたる落花生油は石油空罐に容れ更に石油箱詰とせらる之を精製油又は箱油と稱へ未精製のものを原油又は籠油と稱し以て精製油と區別せらる而して最近に至り箱油輸出に就き神戸當業者より取引方法改正の注文出て當地斯業者に在りても相當攻究せられたる事あり要するに容器の問題にして落花生油の輸送をして完全ならしむるには容器に關し今後大に研究の餘地ありと目さる當港貿易が剝實の輸出に重きを置くを利とするか或は油の輸出を重しとするかは暫く措き茲には油質の改善と統一の爲に生れたる精製油並に搾油業の概略を説き聊か參考に資せんとす

△省内落花生油產地

山東の土地は概ね落花生の栽培に好適し到る處之が栽植を見ざる無く殊に大汶口一帶の地方に産するものを以て最も良質とし産額亦他地方に譲らず従て本品出廻時期に於ては此地方一帯に於ける中心市場を爲し毎年濟南及青島の各商店問屋筋は同地に出張員を派し之が買付に従事せしむるを常とす而して其搾油は農家の副業として土人の手により搾油せられ方法又頗る簡易なるを以て省内生米產地並に集散市場にして殆んど搾油設備有らざるは無く一家概ね三四槽を備へ

搾油に従事しつゝあり故に生米の產地は同時に生油の產地にして其産額は剝實及油の市況に従て變動あるを常とす即ち剝實の相場が生油に比し採算有利なる場合に於ては搾油を手控へて剝實を賣り之と反對の場合に於ては力を搾油に注ぐに至る普通土人が生油市場の標準を定むるは剝實相場の二十二割を以て生油相場と見做し（例令は剝實銀七圓の場合に於ては生油銀十五圓四十錢となる）此場合に於ては搾油を爲すも剝實を賣るも均等となさる而して粕相場は常に高粱相場の八十二元を保ち昨今海州高粱擔銀三元五十錢に對し粕二元七十二錢見當に取引せられつゝあり今剝實並に油の產地を掲げんに

一、泰安、新泰、萊蕪、大汶口、曲阜、泗水、蒙陰、費縣、滕縣、鹽沂、莒縣、沂水、日照、石臼所、安東縣、安邱、坊子、膠州、靈山衛、諸城

昌邑、萊陽、海陽、文登、平原、牟平、掖縣、威海衛附近齊東、章邱、武定、濟寧、曹州、清平、博平、茌平

△原油取引習慣 現在青島に於て行はるる原油取引方法は賣買相方の相互契約によるものにして濟南及產地に出張店を置き或は出張員を派して買付に従事せしむるもあり別に受渡場所を指定せざる時は買主庭渡しとして取引せらるゝを普通とせり故に特に受渡場所を指定せむとするときは賣買契約書中に場所及日時等の明記を要するものとす又近頃華商市場の新設あり其實買は取引所の形式に於てせらるゝも要するに賣買當事者の相互契約に外ならざるを以て先物等に對し絶對保證を付せられたるに非ずと雖も開市以來未だ苦情を惹起せるを聞かず日支人共該市場に就て取引を爲すもの漸次増加せる傾向あり此市場に上るものは全部原油にして箱油は主として邦人貿易業者の相互契

約により賣買せられ華商の之を取扱ふものあるを聞かず原油は凡て杞柳製の籠に容れ桐油紙又は木製の蓋を付しあり一籠約百六十五斤を容る現物は賣買相方立合の上先油質を試験し、と認められたる時は全斤量を秤量し其内より風袋及滓斤量を控除せるものを實際受渡斤數として計算せらる油質の鑑定に就ては頗る研究を要するものにして間々二割位の豆油を混入せるものあり専門的鑑識眼を有するに非ざれば鑑別に苦むといふ。

△精製油輸出狀況

當港より輸出せらるる落花生油(箱油)は年々其數量を増加し大正八年中遂に六十九萬六千五百二十六擔を輸出し前年に比し倍加の盛況を示すに至りしか日獨戰前に於ける狀況を見るに剝實の輸出は頗る盛況を極めたるに反し油は誠に微々たるものにして戰後邦人の發展と共に漸く優勢となり當港輸出業者は漸次落花生油の輸出に重きを置くに至り大正七年に至りては遂に花生實を凌駕し輸出貨物中の第一位を占むるに至れり然るに此傾向は大正八年に入りて稍變化し漸次其數を減じ再び剝實の増加を來たせること別表に示せる如くにして即ち大正八年中油の多く仕向けられたるは獨り大連方面のみに止まり其他は悉く剝實の増加を見日本は油四十九萬餘擔に對し剝實八十三萬餘擔を積出し上海の如きは油の七百八十七擔に激減せるに拘らず剝實八萬二千六百三十二擔を輸出し山東省内に於ける榨油工業に一撃を加へたる傾あり之が原因は本年米國に於ける生油市況が始終不振の狀態を續けしに基因せるは勿論なるも油及原料の全體の輸出が年々急激の増加を示しつゝあるより考ふるに日本並に上海に於ける製油機械の完備により續々優良油を提供しつゝあるに反し當地に於ける製油事業が未だ其域に達せず徒らに商策に採へられて粗製油の輸出を敢てし海外仕

向先に於ける聲價を傷け優良品に壓倒せらるゝに至りたるの事情を否認する能わざるべし本年米市場に於ける神戸並に上海製油相場は山東製品に對し常に二弗の高値を現はし劣等品に對する需要は益減退し却而剝實の儘輸出するの有利なる狀態に陥らしむるに至れり

次に其仕向先に就て見るに日本第一位を占め全輸出數量の七〇%大連二十六%香港上海其他を合せて四%の割合に在り而も日本大連仕向品の大部は歐米市場に向け再輸出せられ香港上海亦歐洲市場に仕向けらるゝものなるを以て歐米市況の如何は山東落花生及同油の死活問題とせられ其仲間に立てる邦人貿易業者は常に此世界的見地の上に立ちて其商策を誤らざるを期せざるべからず

落花生油青島港輸出月別統計表

(單位擔)

月別	大正七年	大正八年	大正九年
一月	七、八七三	二九、七〇四	七、九七七
二月	三、九六六	六〇、四四九	九、四四〇
三月	五、六八四	三八、六八二	一九、二八〇
四月	六、六六六	六二、三四四	四、四五一
五月	三、三三三	一七〇、一二二	五、八九三
六月	二、一七七	六六、二八三	
七月	九、二五二	五二、四〇八	
八月	四、七六七	一三八、四三三	
九月	二、七三三	一〇、六六六	
十月	三、〇一六	三七	
十一月	七、二六六	五、六六五	
十二月	四、四七五	七、七二五	
計	三、四、〇六一	六、六、三六六	二、六、〇六四

(五月迄)

落花生油移出統計表 (民船貿易)

移出	大正七年中	大正八年中
移入	六五・六一四	一二四・七六二
移出	五八・九九七	三二・一一八
港内運輸	七五・六八七	八四・四五八

青島港輸出落花生實油仕向地別每年比較表

年別	仕向地	日本	香港	大連	上海	其他	計
大正五年中	實	一五・四四三	七五	共	三三・五三三	三〇・七九	五五・四九五
	油	一〇・九六一	一六五	共	元四八	三〇・三三	三三・〇三〇
大正六年中	實	二六・一〇六	一四・四四	九三	二四・八三三	二二・〇〇五	四六・七七五
	油	四八・五七	七二九	五二五	四八・八五	二二・四七	二五・四八六
大正七年中	實	二九・六九〇	六二九	一四・五九	二四・〇〇二	八〇・四四	四六・八五
	油	二五・三九七	六四〇	一〇・六三	二四・〇〇二	二二・四七	二五・四八六
大正八年申	實	八四・六六	一六四四	一八・五七	八六・三	九三・九	一〇・二九九
	油	四二・三三七	一六〇四	一八・五七	八六・三	九三・九	一〇・二九九
大正九年申	實	六四・四〇	一六六	二二・〇	三三・七三	二二・〇五	九八・〇八
	油	四二・三三七	一六〇四	一八・五七	八六・三	九三・九	一〇・二九九
(五月迄)	油	二四・二四	一七四	一六・八七	三三・七三	二二・〇五	九八・〇八

△精製油房 由來山東の支那人榨油工場は最も幼稚なる手

紋法により極少規模に搾油せらるゝものなるを以て其製品は不純物の含有量多く品質劣等なるのみならず油質區々に亘り全く統一を缺き輸出油としての要素を具備せざるを以て此缺陷を補ひ品質を一定せんが爲め邦人輸出業者間に精製油房を計畫するに至りたるものにして其作業は單に支那人工場製油を大タンク中に於て混和したる上加熱して水分を除去し再び冷却せしむると共に滓を沈澱せしめて不純物の含有量をして比較的尠なからしむるの裝置にして曩に仕向先たる米國に於ける取引契約に基き含有酸量二%以内含有水分及不純分を合せて〇・五%以内と制限せられたるに準應するだけの範圍に於て諸般の設備を爲せ

るものにして未だ進んで油質の改良を計るに至らず近頃に至り漸く茲に着眼するもの多く東和油房の如きは率先して油質改良の叫を揚ぐるに至りたるも二、三工場を除くの外は未だ本邦神戶或は上海の其に比し頗る幼稚たるを免れず現在青島に於ける精製油房並搾油工場を示し其生産豫想額を列記すれば左の如し

工場名	資本額	一ヶ年生産額	種類	經營者
三井油房	必要に應じ	三十萬箱	精製油	三井物産支店
鈴木油房	支店より支出	四十萬箱	同	鈴木商店
峯村油房	必要に應じ	二十五萬箱	同	峯村正三
吉澤油房	必要に應じ	二十萬箱	同	吉澤干城
湯淺油房	必要に應じ	三十萬箱	同	湯淺商事會社
新利油房	支店より支出	二十萬箱	同	新利洋行
泰利油房	金六萬四千圓	二十萬箱	同	松崎翠
長濰油房	必要に應じ	二十萬箱	同	長瀬洋行
東和油房	金百萬圓	十五萬箱	精製油	三宅駿二
※東洋製油	金八十萬圓	二百萬斤	搾油精製	東洋製油會社

備考※印を附せるは搾油及精製油を兼ねるものとする

次に精製作業の概略を述べんに

口品質の統一 支那人より買付たる籠油は籠底の滓を残して悉く大タンク中に收容し品質並に色相を統一せしめたる後之を加熱用タンクに改換す

口水分除去 タンクは圓筒形に造られたる約二萬斤位の容積を有する大型のものにして内部に螺旋形のスチールパイプを裝置せられ之によりて漸次華氏八十度乃至百度迄加熱し含有水分を除去するものとする

□滓引 加熱せられたる油は其稍冷却せらるゝを俟て唧筒作用

により第二槽に移され不純分の全く沈澱するに至る迄放置せられたる上更に第三槽に移して滓と區分せらる此際に於ける水分並に滓引減量は粗油の1%乃至2%を普通とせり然れど含有不純分の自然的に沈下する迄には比較的長時間を要するものにして時間長からざれば滓は充分に沈澱せず従て精製油中に於ける不純分の含有量を多からしめ滓は更に酸を發生して品質を損す故に含有不純物を絶無ならしめ且短時間中に多量の精油を得んと欲せば「フキルタープレス」を使用せざるべからず本機の滓引能力は「フキルタープレス、サイズ」により一定せざるも現在東和油房に於て使用せらるゝは一時間克く百箱の滓引能力を有すといふ而して前記の精製作業を完成するも尙酸の含有量を減少せしむる能はざるものにして現在青島に於ける各油房が未だ完全なる除酸裝置を有せざるは遺憾とす

斯くして精製せられたる生油は之を石油罐に容れ木箱中に收む一箱の斤數正味五十六斤半とす

△製油時期 花生油の製油時期は新米出廻期なる十月下旬より翌年四五頃迄とし六、七月の梅雨期に入るときは生米の貯藏頗る困難にして往々發芽し酸の含有量を多からしむるを以て自然前記期間に搾油するを最も便宜とせり殊に支那人は搾油を農家の副業とし毎年四月以降は農繁時期に入る關係上十一月より翌年五月迄を搾油時期と爲せるが如しされど梅雨期に於ける貯藏生米手當を充分ならしめ常に生米をして發芽し能はざる迄に乾燥せしむるに於て年中製油を繼續し得べしと雖ども多くは生米買付貯藏諸掛り其他の事情により自然前記期間の生産を多からしめつゝあり

△邦人搾油工場 當今採用せられつゝある進歩せる搾油法

は機械的に落花生實を壓搾し其油分を搾出すものにして楔式、螺旋手締式、水壓式等の方式あり又壓搾を用ひず藥品を使用し油の浸出を促す方法によるものありと雖ども現在東和油房に裝置せられたるは前記水壓式にして八十七馬力の電動力を使用し漸次壓力を加へ油分の搾出を計るものにして現在の設備を以て一日よく七萬斤の花生實を消化し得べしといふ今其概略を述べん

□選實 麻袋より取出されたる生實は籠に盛られ丈餘の高處に運上げられ其處に裝置しある木製如斗に投入せらるれば生米は約四十度の角度を以て張られたる二分目鐵網の上を走下し塵と實とを篩ひ分けらる此篩ひ分けられたる生實は更に女工の手により三十二粒四十粒四十粒以下位の三種に選分けられ篩下及選下は搾油原料として粉碎場に搬入せらる

□粉碎 選分けられたる篩下及選下は粉碎機によつて適度の粉狀に小碎せらるゝものとする現在同工場に裝置せられたるローラは一日生實六萬斤の粉碎力有するものなり

□蒸 斯くて粉碎せられたる生實粉は籠に盛られたる儘鐵製蒸釜内に收容せらる蒸釜は約二千斤の容積を有するものにして二十封度乃至二十五封度の壓力を有するスチームを通ずる事二三分間の後取出さる

□搾油 蒸釜より取出されたる花生粉は直に之を約十三斤入の人毛袋に分割し一機十五袋宛を方形に積重ね壓搾す機は現在十六座ありて三千六百封度の壓力を備へ一時平方に對し一噸半の壓力を有する水壓裝置により搾油せらる現在の裝置に於て一日二萬八千斤(油)の搾油能力を有せり

□搾油成績 以上としての製油歩止りは本機によるときは全含

有油量の九〇%迄搾出し得るを以て生米百斤に對し三十九斤より四十二斤の粗油を得搾粕五十八%を出し約二%の減量を見るを普通とせり

□精製 粗油は更に之を精製す其方法は精製油の頂下に之を述べたり

△使用職工に就て 毎年各油房に於て使役せらるゝ支那職工は最繁期間に於て一工場多きは百二十三人少きは三十人に足らざる所あり總計五百人を超へず而も東和、東洋製油の二搾油工場を除くの外は普通の苦力を使役するも可なる程其作業は簡易なるを以て特に記載すべき事項なきも茲に東和油房に以て使役されつゝある職工に就て概説し其一端を知るに止めんとす同油房が最繁期たる十一月以降一日約六萬斤の落花生實を消化する時期に於て使用せらるゝ支那職工は晝間六十餘人夜間六十餘人合計百二十三人にして作業種類は選賃(主として女子を使役し請取とす)粉碎、蒸、袋詰、搾油、粕放し、滓引整理、罐詰雜役等頗ぶる多岐に亘れとも全部機械作業にして要部には日本人を配しあるを以て前記の如く極少數の配員を以て足り職工は皆機械に追はれ能働しつゝあり其作業時間は晝勤は午前六時より午後六時迄夜勤は午後六時より午前六時迄の晝夜交代勤務とし其間各二時間宛の食事休憩時間を與へらるゝにより一人一日約十時間宛の作業に従事す休息日は毎月第三日曜及支那正月支那節句等の支那祭日とし職工は全部寄宿舎に收容起臥せしむ日給は一日銀三十錢乃至五十錢にして毎月日を定めて支給せらる職工の年齢は十八九才より三十七八才迄を普通とするも外に雜役として十三四才位の少年を使役せり之等は日給銀二十錢を支給せらる女工は主として選賃及人毛袋補綴に使役せらるゝもの

にして全部晝勤とし各自其家庭より通勤す選賃は請取制度にして仕事の容積に對し給料を支給するも毛袋補綴工は一日銀二十錢より三十錢位のもの多く年齢は十八九才より三十才迄とす

△奧地支那人搾油工場 支那人の經營に係る落花生搾油工場は大豆油と均しく毫も機械力を用ひず悉く手締による舊式搾油法にして其設備極めて簡單なるにより落花生實の產地は到る處として搾油工場の存在せざる無く一家二三槽より五六槽を備へ生實の產地として有名なる泰安、大汶口地方の如きは其槽數約一萬以上を數ふへしと云ふ今其搾油法の大略を記せんに

△搾油法 碾房と稱する室内に花崗岩の石臼あり落花生米は先此石臼により挽碎かる此碾輪には二頭の驢或を騾を使役し一日約十三石(四千斤)を粉碎す而して粉碎されたる花生粉は鍋房に移され其處に裝置せる蒸釜により蒸す事約廿分間にして之れを布袋に容れ搾子房に搬入するものとす

搾子房に於ける壓搾裝置は四本の柱を左右兩側に二本宛方形に建て柱と柱との間には横木を入れて鐵板を置き其上に花生粉の入りたる布袋を二層或は三層に積重ね上部にも下部同様の鐵板を置き二本の横木を架して次第に壓搾するものにして每槽人夫六名を配し一日約一千四百斤を搾油す其製油歩止りは生米無穀品百斤中より三十六斤乃至三十八九斤の油を得有穀品は十七斤乃至二十四斤の搾油率を示せり

△落花生油及粕の用途 歐米に於ける落花生油の用途は頗る擴く年々需要の激増を示せるか其優良なるものは各種食料品原料として使用せらるゝのみならず高價なるオリブ油の代用品として食料の調味に使用せられ劣等なるものは石鹼原料及媒色劑として擴く一般に使用せらる而して其副産物たる粕は多

量の蛋白質を含有するを以て家畜飼料として最も好適し下級支那人人民は粟其他と混合し常食となしつゝあるを以て支那内地に於ける粕の需要は益擴大され年々百五十餘萬擔の生産粉を毫も海外市場に輸出する事なく悉く自國に於て消化しつゝあるの實情に在り最近此粕を利用して堅パン、ビスケットを製し又醬油原料に使用して好成績を收めたるを聞けど現在の加工法によるときは未だ薄皮を除去する方法講せられざるを以て食料原料としては遺憾の點多く從て其用途を狭少ならしむる感なき能はず薄皮は既に之を加工して染色原料を得る事既に當地吉井氏により實驗せられたるより將來大規模搾油の計畫せらるゝ場合に於て薄皮除去の法完全に行はるゝに於ては本工業は殆んど廢物を生ぜず益有利なる發展を期し得べしとなさる

△精製油房の將來 前述の如く山東省の落花生油は其生産の豊富なると其用途の世界的なる點に於て他貨を凌駕し當港輸出貿易品の主位を占め將來益發展伸張の機運に向つゝあるにも拘らず諸般の事情は稍もすれば原料たる生實の輸出を増加し當港精製油事業の衰退を招かんとするに似たり之を貿易上の見地より見るときは或は生米を輸出するも生油を輸出するも何等異なる處なしと雖ども產地加工の有利なるは獨り落花生實に於てのみならず現に青島に於ける各種加工事業に徴して實證歴然なるのみならず支那内地に於ける工賃の低廉なる事他に比無く諸般工業の支那移轉を企圖せられつゝある今日獨り落花生油のみか他に加工地を需むるに非ざれば其販路を充塞せらるゝは矛盾の甚だしきものにして必ずや當地に於る搾油並に精製油等は夫に發達せざるべからざる運命を有するものと見て誤なかるべし其然らざる所以のものは精製法の不完全なるにあり容器包装

の不充分なるにありて之が改善を期し障害を除去するに歸むるに於ては現在の生實輸出をして悉く油に轉化せしむるは左迄の難事に非ざるべく進んで花生油加工事業の旺盛を期するに至るべし今其二三を摘録すれば

一、油房設備を完成する事、青島に於ける各油房の加工作業は品質を一定するを主眼とし水分並に不純物の含有量を減少せしむるに止まり未だ除酸の方法を講せられず而も不純物の除去に際しても機械的作業に據らざるを以て之が沈澱迄には尠くとも二十四時間の長時間を経過せざるべからざる不便あり爲に輸出旺盛時期に於ては或は商策上或は廻船積込の都合上精製を急ぎ充分滓の沈澱を俟たず罐詰せらるゝもあり貯藏久敷に亘れば酸の發生を多からしめ品質を下向せしむ故に現在の油房に於て滓引除酸の設備を完成するの必要あるべし

二、検査機關を設け輸出油に對する保證を爲す事米市場に輸出せらるゝ落花生油は品質區々に亘り不測の劣等品を握むの恐れあるを以て本年米國商館筋は之が品質の保證を要求し保證付の油に對しては常に二三圓の高値に取引せらるゝの狀態に在るも當地の輸出業者は精製油設備の不完全なる爲め保證を付するを肯せず常に不利の立場に置かれつゝあり如斯は遂に劣敗者の地位に立たざるべからざる運命に陥るべきは明なるを以て前記設備の改善を計ると共に輸出業者間に精製油検査機關を設け輸出油に對する檢定並に保證を爲さしむるの方法を講ずること

三、容器並に包装を改善すること、當港輸出精製油荷造りは先石油罐に容れ更に石油箱中に收むるを普通とせるが古罐は錆瑕より新罐はハンダ付不完全の爲或は薄板を使用せる爲め破

損し易く輸送途中甚だしき漏洩を生じ殊に外裝木箱材料の如きは第三者たる箱材商の手より買収するも徒らに競争の結果板は薄く釘付亦不完全にして外部の帶鐵の如き薄弱なる鍔力屑を使用せるもあり神戸陸揚當時殆んど原形無き迄に破損せるもありて賣買相方の苦情絶わざるのみならず僅かの瑕疵も大なる損害を生み牽ては輸出に迄影響を及ぼすに至れるは遺憾なり過般油脂同業組合よりの照會により漏洩量百分の十以上を賣主の負擔とする事に協定せられたるも漏洩の如何は賣買相方の苦痛とする所にして如斯損害は荷造り上の注意如何により或程度迄輕減し得べき事明なるを以て將來容器の買付に際しては検査を嚴重にし此種の苦情を絶無ならしむるに注意する事

從來青島に於ては此種特産に對し取引機關の完備せるなく只賣買相互間の契約により取引せらるゝに過ぎずして本品の如き大宗貨物に對し遺憾の點尠なからざりしが昨年來華商筋は數人申合の上現物賣買市場を開き進んで先物取引をも取扱ふに至りしも該市場に上るは原油のみにして邦人精製油業者は依然として不便を感じるの有様なるを以て昨冬以來變體的相互契約により先物賣買をも開始するに至りしが種々の弊害を伴ひ易く常に取引機關の不備を嘆せし折柄最近漸く青島取引所の實現を見るの運に至れるは頗る機宜を得たるものにして之より特産界は益活氣を添ゆるに至るべし此好機に當り本工業の如き前各項の缺點を補足して精製油の改善を計り進んで神戸市場と提携し歐米輸出の途を講ずるに於ては當港精製油事業は將來益勃興發展の機運に遭遇すべき事斷じて疑を容れずと云ふものあり

終に當地東和油房に於て搾油せる精製油及粕の分拆表を示す

べし

東和公司製品分拆表

△落花生油

攝氏十五度

○●九一七……………○●九一九

比 重

一%

遊離脂肪酸

○●二五%

水分及滓

△落花生粕

一〇〇〇%

水 分

七五〇%

粗 脂 油

四二〇〇%

粗蛋白質

三二五〇%

含水炭素

四二〇〇%

粗 ○ 維

三三八〇

灰 分

六六七〇

室 素

〇〇六〇

灰 中 P_2O_5

一〇一〇

灰 中 K_2O

一〇一〇

海運及鐵道

(四月中)

青島最近出入船舶

本月の入港船舶(汽船)は百三隻にして此の登簿噸數十萬三千五百九十七噸出港百一十一隻十一萬六千三百一十一噸に上り入港卸荷三萬七千八百七十九噸九出港積荷六萬七千九百八噸六を示せり而して之れを一月以降の累計に徴するに入港五百十六隻五十三萬七千九百二十六噸出港五百十九隻五十四萬一千五百四十七

噸卸荷十四萬一千二百九十三噸四積荷三十五萬二千七百六十五噸一を算せり今之を昨年同月分と比較するに入港五隻二萬五千九百五十二噸出港十隻三萬七千六百六十噸の増加を見たり

本年四月中 昨年四月中 昨年と比較 本年との比較

入港	一〇三	一〇三・五九七	九六	七六・四四	〇五	〇五・九五三
出港	一一一	一一六・三一一	一〇一	七九・五二	〇一〇	〇三・七二〇
卸荷		三七・八九九		三三・八五三		〇四・四四六
積荷		六七・九八六		五二・五二七		〇五・三六九

更に本月中の入港船舶仕出地別を示せば日本内地二十六隻仁川七隻大連二十一隻上海二十隻芝罘一隻天津二隻其他十九隻浦鹽二隻マニラ一隻其他二隻にして出港船舶仕向地は日本内地二十九隻仁川三隻釜山三隻大連二十七隻上海二十二隻芝罘二隻天津三隻海洲四隻其他十五隻香港三隻其他一隻なりとす

内地近海運賃形勢

近海運賃は六月中旬以後大連豆粕の内地輸送約十二萬噸内外の成約あり近海の一角を刺激したるも既に一段落を告げたるのみならず一般荷動き未だ改善されず運賃は弱含みの儘保合居れるか財界不況の結果最近の引合は運賃率のみならず荷主筋を極度に選擇するの傾向あり爲に一部船腹餘剰を感じ一流荷主筋に對しては比較安にても積取を肯せんとする振合ありて或は今後更に一段の下押を見るやも知れざるも再び近海繫船を斷行して此形勢を切抜くるを必要とする迄惡化するやは計り難しと

繫船時代愈來

行詰まりの經濟界を背景として繫船氣分頓に濃厚となれる海運

界は最近數日神戸に繫船せる山本汽船の元山丸(五一〇噸)傭船成立せるも濠洲一往復實に六圓五十錢の最低記録にして遂に昨年の最低記録たる近海七圓北米一往復七圓半歐洲一往復八圓以下に落込み形勢頗る惡化しつゝあり運賃は歐洲方面買氣あるも更に東洋物價の低落を見越して買控への状態を示し例年の物資移動期に入りたるも未だ荷動き多からず僅に當用買及再輸出品にて定期船船腹を充すの程度に止まり近海は石炭、豆粕、木材共積出殆ど中絶し豆粕の如き偶引合あるも大連神戸二十錢大連濱二十七、八錢見當に激落し前年の最低三十三錢見當以下に落込み石炭は室濱三圓五十錢にても應せんとするもの現はれは復昨年の底値たる若濱三圓五十錢と略一致し而も品薄にて出貨歩々しからず船主中寧ろ繫船を可とするものあり此際解傭船は五千噸以上にて本月に持越せるもの約十七隻十二萬噸(内大部分は自營の形式に出でつゝあり)本月約二十六隻十九萬噸之に來月の解傭船約七隻六萬噸を加算せば五千噸型以上にて直に消化を必要とする物約五十二隻三十七萬噸あり是等が如何に消化せらるゝやは傭船大手筋が一齊に配船難に困憊せる今日全然疑問なるが現下の内外荷動き状態を以てせば何等か新規材料出でざる限り先づ大型船より繫船の窮策に出づるは到底免れざるものゝ如く海運界は從來川崎汽船が半政策的に斷行せる所謂繫船以外將に眞の繫船時代に入らんとするものゝ如し

南洋邦船引揚

蘭領印度及新嘉坡、盤谷、香港方面は戰前英國及和蘭船舶の勢力範圍なりしも開戰以來外國船の引上に引續き大阪商船、三菱山下等の各汽船會社が競ふて定期又は不定期航路を開始し爪

哇糖及盤谷米の輸送に従事し大正七年度の如きは同地生産米百二十萬噸の輸出中新嘉坡七千萬噸香港四十五萬噸等は悉く日本船舶の輸送に待ち居たるも昨年以來盤谷米の不作の爲め輸出制限をなしたると更に本年一月より和蘭ストリート汽船會社其他が政府の補助により南洋方面に新航路を開始し邦船と競争するに至り其結果山下汽船は戰事中より六隻の定期不定期船を配船し居たるも到底持續する能わざる事となり遂に配船を見合すに至りたるが最近更に爲替相場の下落により歐洲向貨物も新嘉坡より積込ます直接蘭領印度より搭載するの傾向あり支那印度勞働者の如きも爲替下落のため引合はず續々引上ぐる等の事情のため同方面の貿易は全く沈滞し僅かに大阪商船が命令航路の關係上配船せるのみにて邦船の勢力は漸次減退に傾きつゝありと

山鐵取扱貨物 (五月中)

山鐵五月分有貨扱貨物總噸數は十二萬〇六百五十七噸にして之れを前年度の同月に比較すれば二萬二千四百十二噸の増加を見たり其増加の主なるものは石炭、大豆、高粱、魚類等にして減少したるものはコークス、小麥、落花生等也比较表左の如し

品名	本年度	前年度
石炭	六七、二九九噸	三五、四〇四噸
コークス	二、九七七	三、七一一
石炭	一、六五〇	一、六五一
煉瓦(瓦)	一三四	二四二
セメント	一、一一一	五〇七
硝子板	二	三〇
硝子製品	一七二	一八九

桐	木(材板)	一、二三三	一九二
竹及割竹	一、五〇五	二、〇三〇	七五
石臼	一四八	三二四	三八九
石材同製品	三五九	七一四	一三八
鐵板鐵製品	五五五	六八九	五、三四五
鐵鍋	二五五	一〇〇	三三六
古鐵	四六八	一二、七〇四	六二五
大豆	七、〇九一	四、一九一	二七三
高粱	四二四	二、七〇四	六二五
小麥	二、五六四	一、一五三	二、七〇四
米	三九八	一、二一三	二、七〇四
穀類	一、一五三	二、六〇六	四、一九一
落花生	二、六〇六	一、一三三	一、〇五五
麥粉	三三〇	六五五	五四七
陶磁器	一、一三三	八三	三〇
支那紙	六五五	二八六	二四一
紙	八三	一、二八三	七九六
麻	二八六	五一一	一、〇三七
綿布	一、二八三	一、三二〇	一、五二二
綿絲	五一一	一五	二九
綿製品	一、三二〇	六	一八
絹製	一五	三七	四五
絹布	六		

鷄 野 乾 食 支 ビ 日 砂 鹽 藁 安 麥 肥 油 油 牛 石 果 瓜 瓜 密 胡 乾 梨 棗 蘭
卵 菜 物 料 那 本 酒 ル 酒 糖 平 稈 田 料 粕 類 油 油 實 子 瓜 及 西 瓜 柑 桃 柿

一九五	六八	五五	三六九	三六	四〇	九	五二八	九六五	一二五	二一七	九一五	三六	一二	四九七	三、四七六	一、三六〇	二	二	二	五	五	〇・一	五四	九四
三一三	三四	四六	二一〇	二五	五四	一五	一九七〇	三八七	四〇	二二三	二八九	一〇八	六三	一、八七九	四、九三五	一、六三八	九	四	〇・一	一	三	一	四三	五一

藍 染 藥 曹 石 煙 葉 茶 豚 羊 獸 牛 豚 魚 昆 箒 木 雜 燐 火 銅 青 銅 家 麻 穀
塗 品 達 鹼 草 煙 草 毛 骨 皮 皮 布 其他 粉 貨 寸 類 貨 銅 具 袋 及 布袋

二五四	二一八	四六	一五	二八一	一、〇五七	一三七	九九	一〇四	三六〇	四二	七一	二、三三一	〇・三	五一	一〇一	一、一七六	三八〇	一九七	五四九	二九	四二	三三五	一九七
〇・七	一九八	一二九	九六	七	三〇三	二〇二	一六一	二四四	一一一	二一	三九	一、五三〇	六	四五〇	一三二	二、四三八	七〇九	四二六	六五四	六	四	一三	三四九

容 器	三七	
其 他	二二三八	一、二二七
豚	一三八頭	四八頭
羊	二九頭	八一頭
驛及驢馬	五二	五六
馬	一	一
牛	一、九八七	一、一五二
合 計	一二〇、六五七	九八、二四五

三驛發送貨物 (五月中)

本月中青島驛(大港、埠頭を含む)に於ける有貨發送貨物一車扱及び小口扱總數中主要なるもの左表の如し

發送部

石 炭	七八〇〇噸
セメント	三三七〇
硝子製品	一・六
竹及割竹	六八・六
鐵板及鐵製品	一一〇・六
古 鐵	二二八・三
大豆	一二・六
大豆類	三七・九
高粱	七二六・〇
木材(板)	三八八・〇
小 麥	一四七・〇
米	六七・三
穀類	五三九・八

麥 粉	二二・九
陶磁器及土器	一・三
支 那 紙	二九八・一
紙(支那紙除く)	七九・六
綿 布	二七一・四
綿 絲	三一〇・〇
綿 製 品	九〇七・五
石 油	一、三二九・三
油 類	一六・六
油 柏	五四八・八
肥 料	七六・五
砂 糖	五二五・七
日 本 酒	八・八
ビ ー ル	三八・八
支 那 酒	一・一
食 料 品	三一〇・五
乾 物	三〇・八
野 菜	六・八
染 塗 料	四〇・八
藥品及藥材	七〇・二
曹 達	四三・〇
石 鹼	七・七
煙 草	二一六・〇
茶	一一・五
魚 類	二、一八四・七

雜貨	四九六・〇
燐寸	六〇三・一
燐寸材料	三七六・三
銅貨	一九一・〇
家具	四五・二
麻袋及布袋	七二・二
其他	九二・二
牛	一六四・二
計	二五頭
	一三、四〇一・三

連絡貨物中繼變更

九州線發著的滿鮮連絡貨物は從來輸移出共門司中繼にて通關を了し居たるが六月十五日以降下關驛にて中繼する事に改定の旨當地にも通知あり之れに據れば九州發は大里驛に於て代理積載し同驛より連絡積合を仕立て又九州著は下關驛より大里宛連絡積合を仕立て同驛より所定の緩急車代用車又は區間積合車等に積載繼送する事となりたるため門司驛に於ける貨物發著場所も移動し從來十六番濱荷扱所に取扱たるものを十六日以後は棧橋荷扱所に於て取扱ふ事となりたるが今日迄鐵道の船車連絡貨物は別として門司驛のみの自發著に關する滿鮮貨物は尠少なからざる數量を示し居り貨切車のみにて一日平均四車の多きに達する状態なるに今回門司中繼を下關に改定せられたる結果滿鮮並びに當地より門司に著する貨物は一旦貨車搬送船に依り大里を經由し更に門司に廻送せざる可らざる事となれりと云ふ

濟南驛狀況 (五月中)

五月中山鐵濟南驛の調査に依る統計表を見るに旅客は乗客二萬八千三百五十四名降客二萬九千八百八十五名にして之を昨年同月の乗客二萬二千四百四十二名降客二萬四千七百〇八名に比較し約三割五分強の増加をなせりと云ふが手小荷物は昨年比し餘り増減なく即ち

本年五月 昨年五月 減

手荷物 一七、二二八噸 一七、六八七噸 四五九噸
小荷物 三二、八五一 五一、二〇〇 一八、三四九

にして小荷物の激減は英佛招工局所在地宛の歐洲戰場行苦力留守宅手當としての銀貨發送が戰亂終熄と共に殆ど皆無となりたる結果にして今當時の輸送銀貨を示せば左表の如しと云ふ

本年五月 昨年五月 減

青島 〇軒 三、〇六八軒 三、〇六八軒
濰縣 〇 六、八一三 六、八一三
青州 二九〇 一、五三九 一、二四九
張店 〇 四九〇 四九〇
周村 七四六 四、一四七 四、四〇一
計 一、〇三六 一六、〇五七 一五、〇二一

又發送貨物に於ては昨年同月に比し三千百餘噸の減少なるも昨年は小麥の内地輸出七千餘噸と云ふ如き特種の輸送品ありし爲めにして其他に於ける成績は概ね良好なりしと云ふが主なる發送貨としては大豆七千五十一噸高粱千六百八噸落花生二千三百八噸同生油千五百四十七噸白米千七十三噸桐油千四百四十噸棉九百六十八噸等にして桐材の如きは非常なる好況にありたるに俄

然最近に於て内地輸出先との取引中絶し爲めに青島桐材組合よりは大阪に陳情委員を派遣せる由なるも奥地に於ては今や早魃のため一般の農家が同材を伐採賣却せんとする傾向あるに際し取引の中絶は尠なからず影響ある模様なりと而して到著貨物は昨年五月と大略同様の成績を挙げたるが合計一萬八千二百二十四噸の内石炭コークスに於ては昨年同月に比し三千一百噸の増加を示し石油、砂糖、綿布、綿絲、燐寸等重要品は二千四百噸諸雜貨は六百餘噸の減少を見たりと云ふ

埠頭倉庫業況 (五月中)

本月中埠頭事務所營業倉庫内貨物出入統計左のし(單位噸)

品名	入庫	出庫	月末在高
落花生實	一	五八六	二三
葉煙草	一九一	九一	八八八
紙卷煙草	二四	一	二四
石油	六二四	七一六	五八三
棉花	二四	八七一	二六二七
綿絲	一	一	五
麻袋	一五六	七	一八四
煉瓦及瓦	一二二	一	一二二
鐵	一	二九	一
金屬製品	三一	六	六〇
機械類	一	一	二
卵粉	一	一二	二
綿布	六九	一	六九
石油空罐	一	一	二二五

食料品	二四	二九	三三
生絲	四	一	四
生絲屑	二七	一	二七
其他	一	一	一六三
合計	一五九五	二三四四	五〇三七

五月鐵道乘客

五月中山東鐵道全線を通じての乘客數は實に二十六萬三千九百七十八名にして前年度同月に比し六萬一百二十一名の増加を見たりと云ふが青島及び濟南に於ける同月の乘客數竝に全線各等別の乘客數を擧ぐれば如左

青島(大港)驛乘客數

▲一等二百十八名 ▲二等七百八十八名 ▲三等二萬二千四百〇三名

濟南驛乘客數

▲一等百七十九名 ▲二等九百十五名 ▲三等一萬八千七百六十七名

全線乘車人員數

等級	本年度	前年度	増員
----	-----	-----	----

一等	六五八	五三四	一二四
----	-----	-----	-----

二等	四、八四五	三、五四六	一、二九九
----	-------	-------	-------

三等	二五八、四七五	一九九、七七七	五八、六九八
----	---------	---------	--------

合計

本年度 廿六萬三千九百七十八名

前年度 二十萬三千八百五十七名

青島驛乗降客

五月中青島驛乗降旅客數は左表の通りにして之れを前年度に比すれば非常なる増加を示す譯にて當地市況を語る一端たるを失はず
乗客數

大正七年五月一萬五千五百五十名
大正八年五月一萬六千五百五十名
大正九年五月二萬三千三百卅一名
降客數

大正七年五月二萬八千五百廿五名
大正八年五月二萬二千五百三十名
大正九年五月三萬〇一百三十九名
即ち乗客數一日平均七百八十名降客數同約一千名に及ぶ

列車運轉回數

目下山東鐵道の列車運轉回數は昨年十一月一日改正せられたる通りの左記五十二箇列車を定期として運轉しつつあるが本年十一月一日以降は更に輪轉材料の完成を俟ち青島高密間に混合列車二回青島張店間に貨物列車四回張店濟南間及び博山支線に貨物列車各二回を増加運轉せしむる筈なり而して青島高密間の混合列車は青島發午後三時半高密著同七時高密發午前八時四十分青島著午後零時半位の豫定なりと云ふ現在の運轉列車數表左の如し

線名 列車回數
本線 旅客四、混合二、貨物一四

博山支線 混合六、貨物
炭礦支線 混合一二、貨物六
鐵山支線 貨物四

貿易

青島貿易近況 (四月中)

本月中當港輸出入貨物の數量を見るに其陸揚(輸入)は三萬七千八百七十九噸船積六萬七千九百八噸六を示し前月に比すれば輸入に於て六百三十六噸七輸出に於て四千二百十七噸八の増加を示せり

陸揚貨物	三月 中	四月 中	本月と末月の比較
計	三七、二四三・二	三七、八七九・九	六三六・七
船積貨物	六三、六九〇・八	六七、九〇八・六	四、二一七・八
計	一〇〇、九三四・〇	一〇五、七八八・五	四、八五四・五

更に之を昨年同月分と對比するに輸入に於て四千四十四噸六輸出に於ては一萬五千三百七十六噸九の増加を現はし一月以降の累計を比較すれば輸入二萬一千二百三十五噸三輸出九萬七千七百四噸八の激増を示すに至れり

陸揚貨物	四月 中	昨年四月 中	本年との比較	本年の累計
計	三七、八七九・九	三三、八五三・三	〇	四、〇四六・六
船積貨物	六七、九〇八・六	五二、五三七・七	〇	一五、七六九・九
計	一〇五、七八八・五	八六、三九一・〇	〇	二九、四四一・五

青島貿易近況 (五月中)

五月中埠頭出入汽船積卸貨物は左表の如くなるか財界不況による影響は五月中には著しく現はれ來らざるも六月に入りてよ

り前年度に比し積卸共非常なる減退を示しつゝめる模様なりと
各統計年表次の如し
汽船積荷噸數仕向地別 (△減)

仕向地	本年度	前年度	増減
神戶大阪	八九〇	一七四三	△八五四
門司其他	五〇二	二五元一	△七三二〇
臺灣	一	三六	△三六
朝鮮	五五	一三六五	△八六〇
大連	二、四三	五三八六	△三三五五
上海	八八三	七八四七	九六六
芝罘	三八六	二二三	一七五
天津	三三	九八八	△六七四
其他の支那	五、四一	五三三	四八八
香港	一九七	二二三	七五
浦鹽	一八三	五〇八	△三六六
マニラ	一〇五	五〇六	△三〇一
其他の外國	五〇	六	四四
計	七、八八	五、九七	一九八四
汽船揚荷噸數仕出別			
積込地	本年度	前年度	増減
神戶大阪	五、三三	一七四四	△三三六三
門司其他	二、四八五	二五九三	△二九〇七
臺灣	一	二六	△二六
朝鮮	五九	一三八五	△八四六
大連	一七四	五三九八	△三六二四
上海	九三六	七八四七	二〇九
芝罘	五九	二二三	△一五四
天津	一〇九二	九八八	一〇四
其他の支那	一八二	四二四	△二四三
香港	一、七六	二、五四	△八八八

其他外國 元二〇 一〇一 三〇九
計 七四三 四〇二〇 三〇九

主要輸出入貨物狀勢 (四月中)

本年は早魃の爲奥地一體作柄良好ならざりし爲め高粱麥粉等食料品の輸入を呼ひたるに反し江蘇米は産地在米薄に伴れ出境禁止問題起り漸次輸送の自由を失ひ輸入の減退を來し綿絲は排日以來大口消化市場を失ひたるも綿布は支那内地に於て細絲物の織出不可能なるを以て同品の賣行旺盛を來しセメントは本年建築界の盛況を豫期し輸入の激増を示せるも砂糖は産地強調に伴ふ當地賣値高の爲支那商一體買進ます加ふるに銀の暴落に遇ひて輸入不能の情勢となり燐寸及同材料は内地金融逼迫と爲替安の關係上輸入杜絶の狀態となり木材亦同一境を辿りしが石油支那紙、車輛、蕐類等は昨年に比すれば稍好況を示せり輸出貨物中葉煙草は六千九百八十噸を輸出して獨り群を抜き滿洲炭、鐵鑛、綿絲、桐材、麥酒、鷄卵等夫々活況を示せしも豆類は僅かに九百四十五噸に減退に麥稈真田も亦產地相場高に脅威せられて萎縮し博山炭は上海市況の不味に遇ひ花住實も亦米市況不味と内地金融硬塞等の事情の下に面白からざる商狀を辿るに至れり

△輸入品

品目	三月中	四月中	昨年四月中	昨年との比較
米	三九七	四九四	二六三	〇 三二一
高粱	一八七三六	二五五三	一	〇 二九三三
麥粉	六二四〇	四六九	八五八	〇 四三二
白砂糖	一〇四六六	三四五	三九九九	△ 八五四
赤砂糖	五〇六	二二九	二七四二	△ 七三

海產物(自布ナ海草除ク)	七九二	一、二五三	六八二	〇	五七四
卷(刻)煙草	一〇六九	一、四二〇	一、五八〇	△	四六〇
石 油	—	八二七五	二、五七五	〇	六九三
藥 品	四五六	六九七九	五五七	〇	一四二
燐 寸	八五三八	三八八二	一七五〇	△	二四六八
染料及塗料	二九一五	六〇七六	二六八八	〇	三三八八
綿 絲	一、一四八	九九三七	三〇四三	△	二〇九〇六
棉 布	一〇〇九四	一、二一四	一〇三九四	〇	七二〇
洋物雜貨	三〇〇〇	六五〇九	五五七七	〇	九三二
支那紙	一、五四六五	一、四八五三	一〇九七〇	〇	一三八六三
セメント	七九二	三、七六二	七〇八	〇	二、四六三
鐵(古號)	一〇〇四三	一、七二四	一、四六三	〇	二五三
金屬製品	五八六	七二五八	八八九	〇	一七四
車 輛	一六三	五八三五	三八八	〇	五五七
竹 材	一〇四九五	一、六六七	一、五六七	〇	一四五
木材(板等)	一〇七四七	四六八二	六、四九三	△	二九六七
燐寸材料	六四〇	四六六七	一〇四三	△	六三六
蕙 類	七〇六	一〇七八七	一五五五	〇	九三三
△輸出品					
落花生實	七三三三	三、四四八	七、八一五	△	七五六七
穀類及種子	八五五	四〇九一	一、九五九	△	七八六八
牛 肉	一、二四二九	九九〇二	八九八四	〇	九二八
鷄 卵	三七七	三、四四三	二、四四八	〇	九九五
卵製品	六八	一三六	一五二	△	一九七
麥 酒	七五五	八三二	三七三四	〇	四八八
鹽	一七二七	九八〇〇	二〇四九四	△	六三九四
葉煙草	四、五三六	六九八〇	二〇四四三	〇	四九五七
獸 骨	一九〇〇	五五六六	七二七	△	一八〇七
花生油	一、六四六	三、八八五	四、八三三	△	一、六四六
牛 脂	三三三	三三六	四六三	△	三三五

民 船 貿 易 (五月中)

本月中の民船貿易を見るに追々閑散期に入れるにも拘らず移出共前月に比すれば著しく活氣を呈し豆粕、高粱、玉蜀黍、小麥、鹽乾魚、花生油等何れも移入の激增を示せしが米は產地相場の暴騰と共に細民不穩の狀態を呈し移出不可能となり花生實は奧地在荷薄と共に閑散時期に入りたる爲何れも減退を現すに至り移出は氈帽、石灰、各種蓆、豆油等稍盛況を示せしも其他何れも不振の商狀を呈せり

△移入品

品 目	四 月 中	五 月 中	比 較
棉 絲	八〇六	九五〇	一〇二七
淄 川 炭	一〇三三七	一〇九〇〇	〇 九八五
博 山 炭	一五八	二四二九	△六、六三二
鐵 (古)	二六九	九二七	〇 九四七
桐 材	一五九九	一、五五九	〇 八九八
麥稈真田	三二〇	二〇八九	〇 五五五
豆 粕	二七六七	九四七七	△三、五三三
鐵 鑛	六五〇〇	一九〇〇〇	〇 二九〇〇〇
△移出品			
品 目	四 月 中	五 月 中	比 較
豆 粕	一、八四	五三六	〇 三、五五
高 粱	四三三	一四九三	〇 一〇、六二
玉 蜀 黍	二〇、五五	三七七三	〇 一七、二七
小 麥	四六三	三、五〇三	〇 三、〇四〇
鮮 蛋	二、九四〇個	一、三三〇個	△ 一、六一〇個
鹽 乾 魚	五、七〇	一、三三七	〇 八、〇七
花 生 仁	三、三三五	二、八六六	〇 九七二
花 生 油	一、八三	七二七五	〇 五、四四三
竹 桿	二、〇二	一、三〇	△ 〇、七二

支那紙二等	一八元	二二五二	〇	二二五二
同 三等	四〇四五	二二八五	△	二二九〇
米	六〇九元	六四六	△	六四六
△移出品				
花生油	五〇五元	二八六〇	△	二二〇八
蠟 帽	一	二二四〇	〇	二二四〇
石 炭	一四〇〇	一七九元	〇	三九元
各 種 席	五七〇	三三〇〇	〇	二八八〇
豆 油	二七五〇	三三〇〇	△	六五〇〇
備考	※印を附せるは海内運輸に係る數量を示す	二八七三	〇	五八

貿易割合順調

最近當港に於ける輸出入貿易は殆んど見るべきものなく甚だ閑散の模様なるが之に就て森埠頭事務所長は語りて曰く例年五月末より六七月の交は所謂夏枯時として輸出入俱に一服の状態を呈する習ひにて昨年は世間の好況に伴ひて土産物の輸出も旺盛に綿絲布其他の輸入貿易も亦悔る可からざるものありしが現在の狀態を一昨年に比する時は些の遜色を見ず或は不景氣を傳ふる割合に活況ありと請ふを得可し當地の原鹽も九月中に積出すべき契約にある爲め鹽業者としても可成速かに積出さざる可からず銀暴落の際遷延日を経る時は甚だ敷き不便の立場に陥る虞れあるが爲めなり則ち九月迄に積出すべき原鹽は銀二百二十三十圓頃の爲替取組のものにして九月以後契約の分は復た多少の買價價格を引下げらるゝ見込あるが爲めなり取引所も近々の中には開市の運びに至るべきも取引物件としての生實生油の混合保管制度も亦相當研究の價值あるべく現在の如く神戸シーフの契約は往々にして産地の不利を醸成する恐れあるが爲めに早晚當

港渡の制度に改正せらるべく改正の曉は買手の安全を期する爲めに是非保管法の萬全を期せざる可からず各爲替銀行も昨今は從來の如き對人信用を捨て、倉荷證券を以つて資金の融通を計る意思にありと云へば埠頭倉庫の利用も亦漸次に増大すべく輸出入貿易も從て隆盛に向ふべし云々

青 島 要 覽

鹽業水產一班

鹽田保證金取扱變更

從來大口鹽田開設着手期限及び竣工期限を經過するに拘はらず工事に着手せざるもの甚だ多く延期に延期を重ね誠意の疑はしきものなきに非ざりしが斯くては軍の獎勵方針と背反するのみならず國家の鹽政上にも遺憾尠からざるを以て當局にては已むを得ず昨年八月規定期限を延長して確實に之が竣成を期し外堤のみに對して速成命令を發し同時に保證金を徴する事とし會計規則第六十九號により保管せしめ居れるも近時一般金融硬塞の結果鹽田開設資金に不足を生じ之を緩和する必要生じたれば其保證金取扱方法を左の通り變更せりと

一、保證金は有價證券及青島内に於ける銀行の持參人拂預金證書を以て代用する事を得

二、有價證券に會計法規に於て認めたるものゝ外内地取引市場に於ける著名なる會社の株券租借地管内に於て營業所を有する確實なる會社の株券を加ふ

三、前項會社株券の擔保價格は官に於て認定したる時價の百

分の八十とし爾後毎月一回改算し當該株式下落の場合には其不足を追徴するものとす

四、現在納入せる保證金は會計規則第六十九條及保管物取扱規程に準據せるものなるを以て更に之を第一項の銀行預金證書又は第二項の會社株券に變更せむとする者は新規納入手續を終了したる後に於て前納の分を返還す

五、鹽田外堤は豫定の工事を了へざるも官に於て認めたる波浪の侵害を防止する丈の締切工事完了の上は保證金納入の義務を免除す

輸出鹽許可方針變更

本年度内地輸出鹽既定數量は再製鹽二〇、〇〇〇斤(單位千斤以下同じ)粉碎鹽二〇、〇〇〇斤並に次位原鹽三六、九六〇斤洗滌鹽三〇、〇〇〇斤工業鹽一二五、一三八斤日本人自己鹽田生產原鹽六五、九〇二斤合計二億九千八百萬斤にして其内再製鹽粉碎並次位の全部及び洗滌の全部は前年度生產鹽洗滌鹽の半部工業鹽日本人自己鹽田生產原鹽の全部は本年度生產鹽なるが右に依れば前年度生產鹽に倚るもの九千九百九十六萬斤本年度生產鹽に待つもの二億六百四萬斤にして此中化學工業の現狀より推察して工業用鹽の輸出不能額と認めらるゝ三千萬斤を控除すれば本年度生產鹽の内地輸出額は僅かに一億七千六百四萬斤に過ぎずして之れ以上の輸出は今後臺灣關東州又は内地に於て凶作個所を生ぜざる限り大藏省に於ける前年度持越鹽及び本年度の輸入計畫に徴して殆んど望み難きが如し而して他の一方に於ける朝鮮仕向豫定額七千萬斤を盡く本年度生產鹽に依ると假定するも其合計總數量は二億四千六百四萬斤に過ぎざるなり然かも朝鮮仕向鹽中約三百萬斤内外は釜山に於ける再製鹽原料として前年度

生産等外鹽の輸出可能なるべき見込なるを以て結局本年度生産鹽の既定及び豫定輸出量は二億四千百萬斤内外なりと認むるに至當とす然るに本年生産の狀況を査するに現在に於て一副斗子十五萬斤平均を生産せり之を以て鹽田の總面積三千町歩に稽算すれば總量二億二千五百萬斤なり而して春鹽時期は假りに之を以て終期と見做し秋鹽の生産一副斗子十萬斤と假定すれば此總量一億五千萬斤にして其春秋を通じたる總生産額は實に三億七千五百萬斤の大量に達す此外灣外鹽の移入を假りに前年同様四千萬斤と見て之に加算すれば通計四億一千五百萬斤を算す此中前記内地及朝鮮輸出豫定額二億四千一百萬斤を控除するも一億七千四百萬斤の大過剩を生ずる理なり更に先頃來鹽業者間の問題となれるは等外鹽處分方法なるか現在の貯鹽總量四萬噸中内地輸出既定額二萬二千七百七十噸再製鹽原料約五千噸朝鮮輸出豫想額三千噸合計三萬百七十噸を控除すれば剩す所九千八百三十噸に過ぎず之に對しては近く中村組に於て第三埠頭より第四埠頭に至るの破損棧橋空地を利用し短期間に洗鹽工業開始の筈なるにより消化容易なるものと思はる故に本問題は強て顧慮を要せざるなり却說以上の數字の示す所に基き過剩鹽を成べく尠なからしむると同時に販路擴張の手段として當分の間を限り輸出を解放し併せて青島鹽を恢復し且つ需要者の注意を集注せしむる爲め一般に最も嫌厭せられたる等外鹽の輸出を禁止する必要を認め十五日市民會に於て日本人輸出業者の協議會を催はしたるに大體に於て等外鹽の輸出を禁止し已むを得ざるものに限り特別除外例を設くべしとの説出でたるも今後に於ける等外鹽の產出力極めて少量なべきは何人も疑はざる所にして是等は天日再製又は煎熬再製に依りて容易に處分するを得べく又全然之

を産出せざる事も決して不可能に非ざるを以て將來の鹽業政策上斷じて之を斥け飽く迄鹽質改善に努力せしむる事と爲さざるべからず右に對しては本年三月鹽業組合に諮問ありたる際絶對輸出禁止希望の答申もあり且つ前記協議會の場合に於ても多數必ずしも等外鹽輸出を希望したるに非ず只私利を圖る便宜上附話したものにして公益上禁止の必要あらば之を承認すとして何も承認せるなり以上の理由により左の通り輸出許可方針決定せられ青島民政署長に通牒し更に鹽業組合をして其周知方を取計はせられし次第なり云々と樋口技師は語れり

一、當分の間を限り各等を通じて仕向地を解放す

一、右解放の爲め内地輸出に支障を來す虞ありと認めたる時は十日間以上豫告を以て之を取消す此場合に於ても已に輸出許可を得たるものに累を及ぼす事なし

一、等外鹽の輸出を禁止す但し既許可の分及び來る八月末日を最終期限として數量五百斤の範圍内に於ける朝鮮輸出を除外す

鹽業水産概況

鹽業

(イ) 膠州灣奥は水深淺く干満の差大に干潟面積廣く土は粘土にして降雨少なく空氣常に乾燥し天日製鹽の最好適地たり故に獨治時代に在りては何等の保護獎勵を加ふる所なきに拘はらず數年にして二千町歩に近き鹽田開設せられ一箇年一億五千萬斤を超ゆる製鹽を見るに至れり而して此地日獨戰爭の結果我守備軍治下に屬し諸般の施設事業着々進捗し殊に近時内地に於ける產鹽不足の爲め鹽田開設を出願するもの簇出したるを以て確實に事業に着手經營し得べしと認めたる者に對し開設許可を與へら

れたり其の氏名許可面積及び已に竣工目下採鹽しつつある面積を擧ぐれば左の如し

氏名	許可竣工	面積面積
大日本鹽業株式會社	二七九	一〇二
青島鹽業株式會社	三五三	四六
東洋鹽業株式會社	三八三一	三五一
平田鹽業株式會社	一一七	五六
化學鹽業株式會社	一一三	一
膠州鹽業公司	七〇一	三二
南昌洋行	一〇七	一
青島洋行	二一四	一
馬場清止	一〇一	一
中村清七郎	三一七	一
東洋鹽業株式會社	一三〇	一
桑邱幾	九九	四〇
渡邊陽吉	一九六	一
關川平三	五六四	二二一
飯田哲雄	三〇〇	一
濱口吉右衛門	四二三	一
鹽川貞夫	三九三	一
中島勇一	一三	一二
清水清七	六八	一〇
計	八、三二一	八七八

前述の如く膠州灣の鹽業が内地人に囑望經營さるゝ一面に於て管内支那人に於ても從來廢鹽田として顧みざりしものは勿論魚地又は草地として使用されたる箇所も續々として開設許可を出

願せり之等小區域の出願に對しては支那人保護の方針に依り直ちに許可を與へたり目下採鹽に従事しつゝある鹽田面積は支那人鹽田約二千二百町步邦人鹽田九百七十一町步にして此の產鹽高四億斤に及び數年後邦人鹽田全部完成の曉には其の產額優に八億斤以上に達する見込みなり而して前記の產額約四億斤に達すれば其管内消費量は全產額の約百分の三内外にして殘額は本邦内地及朝鮮に輸出されつゝあり

(ロ)膠州灣内に於ける採鹽の方法は干潟地に外堤を築造し其の内部を貯水池結晶地に區劃し此所に海水を導入し天日に晒し水分を蒸發せしめ鹽分を結晶せしめ之を搔集するに過ぎざるを以て採鹽中に砂土混入し或は陸地より吹來せる塵芥附著し爲めに食鹽自然の色澤を損じ褐色を帶び外觀不良にして且つ結晶粒大なるにより内地に於ては主として工業用及び漁業鹽として需用され一般家庭に於ては再製又は粉碎して初めて使用さるゝ状態なり而して青島鹽は其の成分に於ては内地一等鹽を凌駕するに拘らず斯の如き現狀に在るを以て將來之等の缺點を除き安價にして且つ優良鹽として其の特長を發揮せしむる方針に基き鹽業者を督勵指導し鹽田の築造方法の改善採鹽方法の改良に關し専心努力しつゝあり

(ハ)大正七年十月軍々令第三十八號を以て青島鹽業規則を發布し之に基き十一月其の組織成り日支鹽業者全部を網羅する公益機關を得るに至れり組合事業としては軍令の定むる處に従ひ多岐に亘れるものなるも創立日尙淺きため尙は充分の活動を期待する事能はず茲に組合員代表機關として將た官民相互連絡機關として願書進達諮問答申或は建議請願等をなし又は紛議の仲裁を試むる等に過ぎざれば共漸次組合設立の趣旨に副ふべく努力し

つゝあり

一、漁業

膠州灣沿海は管内而積三十六方里なるに比し海岸線の出入屈曲多く延長約百六十餘哩に達し内灣と外海とを併有し内灣は魚介の蕃殖に適し外海は十數箇の島嶼漁場の間に羅布して自から漁利の天恵に浴せり尙ほ沿海は遠淺にして岸を距る事五十哩に及ぶも水深二十五尋を出でず冬季に至れば溫帶水族の滯留に適せずと雖春秋二季に在りては牽卵求餌の爲め沿海に殺到する魚屬多く誠に好漁場たり此の好漁場を有する漁業も獨治時代に在りては殆んど放任せられ一に土人の舊慣に委し何等の保護を加へざりしも我守備軍治下に入りてより保護指導獎勵を加へ其の面目は一新されし爲め日本人漁業の創始は大正二年大日本トロール汽船會社浦島丸を廻航操業せしめしを嚆矢とし後我軍政施行後は本邦漁業者接踵出漁し漸次永住的漁業の基礎確立し其の漁場の如きも以前は小區域なりしも大正六年海州沖に鯛の一大漁場發見さるゝに至りしと昨年度官の補助獎勵の下に新に七隻の大型漁船の活動と相待て忽ち一大發展を遂げ目下海州より山東角に至る三百五十哩の海域は全然我が漁業者の活動範圍に入り現今鯛延縄漁業を主とし鱈延縄鰹延縄漁業之に次ぎ流網打網網柵網建于網地曳網漁業其の主なるものにして潜水器漁業海藻採取業も亦相當利益を收めつゝあり支那人漁業は半農半漁的にして春夏の候僅かに三四箇月從漁するに過ぎず且漁具漁法は或二三種のものを除く外頗る幼稚にして徒らに舊慣を墨守し未だ改良進歩の域に達せずと雖も軍に於て支那人漁業獎勵の爲め鱈延縄漁業柵網漁業の指導補助により追て開發の曙光を認め漁獲高の如きも著しく増加を示せり左に日支漁業者漁獲高比較表を以

て其の發達の跡を示さん

區分	年次	單位	大正四年	大正五年	大正六年	大正七年	大正八年
水産業者數(日本人)	人		四七五	五六一	四九六	四四〇	四八〇
同 (支那人)	同		四九〇	七二一	八七四	八二五	五、三三八
漁船數(日本人)	隻		一〇八	一二五	一二一	九三	一一一
同 (支那人)	同		一、三四〇	二、六〇〇	二、三三〇	二、〇五二	一、八八三
漁獲 高(日本人)	銀圓		八、五八九	一、二七六	一〇、九〇〇	一二、〇〇〇	〇三、三四四
同 (支那人)	同		二、七八五	四、五二〇	五、三九〇	四、三〇〇	〇四、六三三〇

二 製造、養殖

當地に於ける支那人水産製造は極めて幼稚の域にあり其の製法の如きも甚だ粗雑にして見るべき製品なしと雖太刀魚鱈水母等は鹽藏し其の産額少からず其他黃花魚鱈の鹽乾魚あるも未だ注意を惹くに足らず本邦人の製造者は沙子口に於て寒天製造所の外特筆すべきものなく他には鱈延繩漁業に伴ふ鱈鰭の製造及び海參製造をなす者あり尙ほ青島罐詰製造株式會社あり牛肉及び水産物の製造をなしつゝ有るも目下不振の状態なり

養殖業としては本邦人の出願に對し女姑口沖に四十八町歩の蛭養殖地を貸下たるものあるのみなり灣内は魚介類の發育に適當するを以て目下補助金を交附し試験的に獎勵しつゝあり

三 水産組合

(イ)青島に軍政を施行せらるゝや踵を接して本邦出漁者の渡來するあり加ふるに土著支那人の漁業者亦多く爲めに共同利益と營利上の弊害を矯正する目的に依り水産組合設立の必要を認め大正五年三月八日軍々令第十一號を以て青島水産組合規則を發布し同月十日青島水産組合の設立を認可せり著々として水産業の改良發達水産動植物の蕃殖保護組合員營業上の弊害を矯正し其の共同利益に向つて銳意開發を圖り組合亦力を斯業の發達に

傾注し没す可からざる功績を擧げたり今左に最近に於ける組合員數を示せば次の如し

漁業		製造業		販賣業		計	
日	支	日	支	日	支		
五年	五六一	七、二七〇	三	〇	三四	二九	七、八九七
六年	四六九	八、七二四	一	同	二六	二二	九、二四二
七年	四四〇	八、一一五	二	同	二一	二八	八、六〇六
八年	五三〇	七、四八三	一	同	二三	一四七	八、一八四

備考 大正八年に於て減少せるは鹽田業に轉業するもの多きに依る

(ロ)青島水産株式會社 山東水産株式會社の事業たりし魚市場は漁業者及び仲買人の反感を買ひ紛擾絶へざるに依り民政署に於て根本的の釐革を企て數次折衝の結果會社を解散せしめ水産組合をして魚市場を繼承の上組合員の共同販賣所とし圓滿なる解決及び取引を終了したり以來組合の附帶事業として改善を圖り手數料の輕減等著々需給兩者の便宜を圖り良好なる成績を收め其の取引高は左の如くにして益々増額の見込なり

大正五年	一七七、三六九	銀圓
大正六年	一八九、八六四	
大正七年	一六五、七〇七	
大正八年	四三五、一九五	

(ハ)附屬金融組合 水産組合は營利行爲をなすを得ざるを以て附屬金融組合を設けて水産業者及其の關係者より金四萬圓(全額拂込)の資金を募集し魚市場に於て競賣したる魚代金の立替拂及び漁業者に漁業資金の貸付けを行ふ等此の金融機關は間接に當地水産發達の一助たり以上換言すれば當地水産業は天與の好漁場を控へ我管下に入りてより直接保護指導獎勵を加へ其他組合の設立魚市場の改革等間接水産業の啓發に勉めしこと甚だ大なりしを以て今日異數の發達を爲し來れり

將來に於ても背後に海味に餓へたる支那國民を有するを以て適當なる保護の下に於て取引の關係を求むれば必ず販路に窮することなく漁業製造を問はず益々發展の境に達するは疑ひを容れず

主要貿易品概況

◎綿糸布

△綿絲 米國財界の不安とマンチエスター綿業界の恐慌は引續き綿絲布界の惡材料として阪地市況を惡化せしめ下押の度を高からしめたる觀あり過般來銀塊の暴落と財界の不況とは華商間に大々的恐怖心を惹起せしめ上海、天津の如きは既に窮狀を暴露せる者さへあり商館筋も金融難及先行懸念等にて投賣物續出し十五日の如きは二十手物一俵に對し二十兩方の大暴落と演じ市場大混亂を極めたるが安値には實需筋の買氣を促し一日三四百俵の賣行あり又阪地も還元問題並に先物總解合說等漸次具體化せんとして稍人氣を恢復し當地も其影響を受けて下旬頃より幾分相場騰貴の傾向を示したり

銀	紅	雙	扇	水	福
月十六手	鳳十六手	虎十六手	面十六手	月二十手	島二十手
一六六兩	一六六兩	一四四兩	一四四兩	一七五兩	一七九兩
一六三兩	一六二兩	一四五兩	一四五兩	一六三兩	一六六兩
一五六兩	一五四兩	一五五兩	一五五兩	一六五兩	一七〇兩

十日 二十日 三十日

□綿布 依然として取引薄なれども中旬頃上海市場より丹鳳雙驢水月粗布等の入荷あり三四十俵の手合出來たるも概して不振の商狀を辿れり

九龍	月	龍	粗布	同	同	同	同	同	同
六、五〇	六、二六	四、八〇	二、七〇	二、七〇	二、七〇	二、七〇	二、七〇	二、七〇	二、七〇
六、三〇	六、三〇	五、〇〇	三、二〇	三、二〇	三、二〇	三、二〇	三、二〇	三、二〇	三、二〇
六、六〇	六、六〇	五、一〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇

◎砂糖

歐洲方面大手筋の乗出しあり產地爪哇に於ける原糖氣頗る強調を示せる爲め當市場に於ける香港日本兩糖其何れも高値を現はすのみなる一方日本糖は銀の暴落と共に益々強調を示すに至れる爲め華商筋全然買氣なく輸入不能の狀態に陥り市中僅かに香港糖の在荷を有するも荷動き皆無の有様にして前月以來引續き閑散を極めたり

◎燐寸

銀の暴落に従ひ金建の原料を使用せる當地三工場が生産不引合の理由の下に賣價の協定引上を斷行せるは前號記載の如くなるが金融逼迫と世界的不景氣の爲めさらだに氣配軟弱なる燐寸界は尙更ら商内なく本邦斯界に於ても弗々製造家方面投賣物現はれたるに怖れを爲し先物手持を爲すものなく三工場共一齊に休業を斷行するに至れり爾來銀價の漸落は益々製品をして不利の商狀に陥らしめたるを以て本月初旬更に三社協定の上一箱五十三元と八元方の値上げを爲せるあり幾分夏枯時期の關係もありて益々市況を惡化せしめしが氣敏なる華商筋は此機に乗じ輸入安物の買占に着手したれば相場も一箱二十五兩見當より遽かに二十九兩と反撥せるも之とて一時的反響に過ぎずして僅かにストツク物の荷捌を見せたるのみ市況頗る閑散を呈せり

◎米

内地物價暴落の影響を受けて先高を豫想せし產地手持筋は遽かに狼狽し賣急ぎたる爲め現米潤澤となり相場は連日漸落の步調

を辿りしが月末に近く期米の引戻しと共に稍持直し鮮米も石三圓高を呼び氣配強調引締りを見せ當地も回赤一呎十六圓五十錢青十六圓と強保合ひしが江蘇米は產地在荷薄に伴れ漸次強調を現はして中旬上海市場一袋十四弗五十錢と暴騰せしが忽ち十五弗臺を突破し從來の記録を破るに至りたる勢に同地方官憲並に商務總會は暴動蜂起を怖れて一袋十四弗と公定相場を發表せるも其甲斐なく月末十六弗と益々狂騰相場を實現するに至れり上海市場は既に斯の如くなるを以て當地も漸次相場を吊上げ且つ輸入不能による前途の品薄を見越し益々強調に傾きつゝあるが各商店共相當安値時代のストックを有せる事とて上海市場程の狂騰を演ずるに至らず月末上一袋金二十五圓(百三十八圓替)見當を唱へ居れるが上海市況の惡化と共に目先の變動豫測し難きものあり

◎木材

金融硬塞貸出警戒等の爲め建築界の不況は依然繼續せられ大小の工事は悉く作業休止の状態なるを以て木材の需要激減し市況沈衰の極に達せり内地も殆んど同様の窮狀を呈し投賣物續出し相場は二三割見當の暴落を見たるも當地は組合協定相場あるが爲め北海材小割類は需要激減に對し賣値の動搖を見せざるも杣角物は内地の商況に伴れ白松才金十五錢と下押し鴨綠江物は銀安の爲め幾分下濫りの氣味にて米突銀二十八元見當を唱へ頗る目先の軟調を現はせり

◎花生實

既に期節經過せる事とて活潑なる商内に望まれべくもあらず日本向商談は先づ一段落の有様にして僅かに華商間上海向荷物の取引行はれたるのみ相場は上旬六弗二三十錢見當を唱へしが月

末二十九日頃邦商華商間に旗賣買埋の爲め約四千袋程の商内出來相場も六弗五十錢と昂騰せり

◎花生油

米市況不味の爲め始終不振の商狀を辿れる本年生油界も月始頃神戸商館筋の米國方面積出しに引立てられ先物シフ神戸三十五圓を唱へ其に伴れ當地も四五月物十八元六十錢の高値を出したるも續かず爾來漸落の歩調を辿り居れる矢先銀爲替の漸落に遇ひ刻々不利の商狀に推移し十七日遂に十六元を割りて十五元九十五錢と激落十八日頃は愈底入相場を現はして十四元九十五錢(シフ神戸二十四圓)迄落込み此底値に對しては幾分買氣を誘ひたるものゝ如く二十二日十五元三四十錢迄持直し邦商筋の買進みあり氣配稍強調を示せしが此間或は仕手關係により或は神戸手持筋の逆玉に遇ひ多少の騰落あり二十六日四五月物十五元五十五錢六月物十六元と落付風情を示し却て邦商賣華商買にて九十八車の契約を見たり然れど月末に近く神戸市場氣配引立たずシフ二十六圓五十錢見當を唱へ當地も全然活氣なく目先頗る軟調を示せり

◎原鹽

當地に於ける本年の製鹽作柄良好なりしに拘らず内地に於ける政府貯藏鹽は漸く豊富を告げ從來の如く植民地鹽に向つて買進ます殊に經濟界の變調に遇ひ金融益々硬塞し朝鮮方面製鹽業者も亦買見送りの態度に出でたるを以て本月中旬頃仕向の開放ありたるも何等商狀活氣を添ふるに至らず當地輸出業者は益々仕向先の不況を考へて買控相場は始終漸落歩調を辿り白上四元九十錢乙種三元二十錢と底値を現はせしも月中旬より稍持直し相場も白上四元六十錢乙種三元四十錢と小戻しせしが市中買氣

薄く相場仲間みの姿にて徒らに埠頭堆貨を増加せしめつゝあり

◎麥稈眞田

安値待の形勢にて一時買控たる歐洲向細巾物は同方面よりの注文入込みたるものゝ如く聊か氣配を持直したるが相場は前途益々強氣一方にして上り勾配中之等一時的現象あるも大勢如何とも動かし難く前途の悲觀は免かれざるべし

◎牛 肉

本月中の日本輸出は暖氣の加はりたる爲め二百十二頭に減じマニラ九百五十八頭浦鹽九十四頭計千二百六十四頭を輸出せしが日本行の仕向先は大坂四十三頭門司九頭下之關四十頭横濱三十頭東京九十頭にして漸く夏期閑散狀態に入れり

◎桐 材

前年來盛況を持續し來りし桐材界も財界不況の影響を受け大阪滯貨不消化の爲め當地組合と協定一時輸出を中止するに至りしが其後益々不味の商狀を續け堆貨は依然不消化の有様にして何時恢復を見るや豫測し難き情勢に在るを以て現在の窮狀に鑑み今後尙一二箇月間位は現狀維持の外なかるべく相場は才銀十錢より上物十七錢見當を唱ふるも全然商内なし

◎石 炭

撫順出炭順調の爲め相當剩炭を生じ當地への出廻潤澤を告ぐるに至りたると共に夫に押されて一般炭況は著しく惡化し輸入日本炭は内地高と銀の暴落に遇ひて頓挫し博山炭は過般來銀安に乗じ上海若くは内地輸出を企つるもの多けれ共未だ實現の運に至らず只上海に向け大口引合に對する見本として僅かに三荷の積出しありたる以外何等見るべき商狀なし

内外經濟要報

本部輸出貿易減退

我對外貿易は昨年より輸入超過の現象を呈し本年の如きは五月末迄に四億四千餘萬圓の入超を示したるが農商務當局は是れ主として財界の好況に伴ひ國民消費の増加したるが爲めなりとの觀測を下しつゝあり大正八年の輸出額の如き金額に於ては前年より一億餘萬圓の増加を來し居るも數量的に計算すれば減少を來したるもの多く殊に本年の輸出品の如きは農産物に於ては豌豆、隱元、澱粉類、工産物に於ては綿絲、綿布類の重要品を始めとして窓硝子、鐵、銅、絶緣電線、ゴムタイヤ、印刷料紙、石鹼等何れも前年に比して其數量を減じ居れり就中北米合衆國に次で輸出の額を占むる對支那貿易の如き本年の輸出の著るしく減少し居れるは最も注目すべき事なり今試みに本年三月迄の對支重要輸出品數量を前年同期と比較すれば左の如し(單位千圓)

品 種	九 年	八 年
精 糖	二二、一七七斤	三三、九六七斤
石 炭	一九二噸	一二〇噸
綿 織 絲	八、五二〇斤	一六、八〇七斤
鐵	六、七二三斤	八、五六三斤
銅	六、七七〇斤	九、六二三斤
燐 寸	一、三〇一哥	一、八六二哥
綿 織 浴 巾	一五一打	二一六打
メリヤス製品	一一九打	二九五打
セメント	二、四八五斤	二、八六七斤

絶縁電線	七三二斤	三八八斤
ゴムタイヤ	一七八斤	二七六斤
洋傘	三五五斤	八八七斤

即ち石炭及絶縁電線の外は皆何れも數量の減少せるを見るべし其他價格を以て計算せる重要輸出品中にも減額を來せるもの少なからず尤も對支輸出の激減は彼の排日運動の影響も與つて大ならんが而も一般に輸出減少輸入増加の傾向あるは主として消費増加の結果なりとし曩に綿絲輸出制限論の起れる時も農商務省内には我對外貿易の趨勢に鑑みて之に反對するもの少からざりしが所謂脊に腹は換へられず輸出制限を斷行したる次第なり去れば最近財界の反動來と共に農商務省は俄に輸出の獎勵を爲し爲替銀行をして輸出爲替資金の融通を計らしむるなど力め居れるが一方當業者は其市價を維持する爲め操短等を實行し其生産の制限に努めつゝあれば當分輸出増加は困難なるべく殊に支那印度方面への輸出の如きは銀價の下落に伴ひ今後益々不振を來すべしと當局側に觀測せられつゝあり

日華實業協會設立

全國商業會議所聯合會に於て日支兩國親善の實を擧ぐべく決し會議所代表者發起人となり兼て日支貿易に關係ある全國有力實業家の賛同を求めて設立計畫中なりし日華實業協會は準備大體完了せるを以て十八日午後五時四十分帝國ホテルに其創立總會を開きたるが出席者四十餘名にて濫澤會長病氣のため缺席せるを以て藤山東京商業會議所會頭座長席に就き杉原副會頭より設立の動機より設立に至る迄の過程に就き報告あり次で副會長評議員幹事の選舉は座長指名と決し藤山氏は左記諸氏を指名せり

- ▲會長 男爵濫澤榮一
 - ▲副會長 男爵藤田平太郎 和田豐治
 - ▲名譽顧問 三井八郎右衛門 岩崎小彌太 大倉喜八郎 近藤廉平 古河虎之助 住友吉左衛門の各男爵久原房之助 井上準之助
 - ▲評議員 藤山雷太 山岡順太郎 濱岡光哲 鈴木總兵衛 大谷嘉兵衛 橋本辰次郎 岡本忠藏 山本厚二 稻畑勝太郎 岩井勝次郎 服部金太郎 堀啓次郎 星野錫 大橋新太郎 大澤德太郎 添田壽一 內藤久寛 武藤山治 島定次郎 杉原榮三郎 増田増藏 喜多又藏 今西林三郎 伊藤忠兵衛 田村新吉(以上會議所側) 藤瀬政治郎 奥村政雄・伊東半治郎 鈴木島吉 荻野元太郎 小池張造 白岩龍平 土佐孝太郎 中川小十郎 門野重九郎 須田利信 持田巽 龍居久吉 永瀧久吉 高杉晋 伊澤良立 武智直道 尾崎敬義 夏秋十郎 小倉正恒 小野英二郎 木村雄次(以上懇話會側)
 - ▲幹事 藤瀬政次郎 鈴木島吉 土佐孝太郎 小池張造 奥村政雄 白岩龍平 伊東米次郎 中川小十郎 荻野元太郎 門野重九郎(以上懇話會) 杉原榮三郎 増田増藏 喜多又藏 今西林三郎 伊藤忠兵衛 田村新吉(以上商業會議所)
- 終て食堂に移り藤山氏の挨拶に次て近藤男は第三次桂内閣時代の日支親善より上海に同胞會を組織せる事竝に現在に至る迄の道程に就て述べ併せて眞の日支親善は兩國の利害一致てふ點にあり故に相互に於て相據り相援けて與に益する抱負なかるべからず殊に兩國の交渉は凡て國民的外交に依りて決定せざるべからずとて巴里に於ける講和會議より各國視察の結果に基く日支親善を説きて發起者の勞を謝して乾杯し各自歡談を交へ同九時

散會せるが幹事長は追つて幹事互選の上決定すべく又事務所は有樂町日清汽船會社内に置く事となれり

造船界の現在及將來

金融界の硬塞は殆ど世界的に及ぼし之が爲め一般財界の動搖を來すに至り歐羅巴に於ては各自國産業恢復の爲外國品輸入の制限を爲し日米兩國は共に金融界硬塞の爲物價低落し物資は徒らに停滯して荷動き少くなつた故に一時旺盛を極めた海運界は今や貨物の移動減退の結果閑散を極め傭船料は近海七圓、印度濠洲北米七圓五十錢、歐洲片道九圓、歐洲往復八圓、世界一週航路八圓五十錢と僅に船員給料會費其他の諸經費を償ふに過ぎず然も動もすれば經費を償ふに過ぎず然も動もすれば經費額に達せざるものあれば船主側に於ては最早手離し度き希望を有するもの多あり既に本年一月より五月迄に賣船したる船舶は千噸以上十五隻總噸三萬八千八百九十五噸にして船價は帝國汽船が和蘭人に賣船したロツキ丸の噸當り三百七十五圓を最高とし山下汽船が白耳義に賣船した旭丸の百七十圓が最低であるが右の船價は本年一月以後毎月噸當り船價は低落し現在にては中古二百七八十圓新造二百九十圓乃至三百圓見當にて戰時の八百圓臺當時賣船したるもの或は新造したるものは數年後の今日にては未だ船價を償却し得べき稼業を爲し居らず此際賣船せば船主の缺損を招くは火を見るより瞭々たるもの彼等は機會ある毎に賣離さん希望を抱いてゐる米國の勞働問題及歐米の戰後恢復の爲め鐵需要は造船鋼板產地の米國當業者の強氣材料となり我造船業者が今後新規注文を爲すに於ては他物價低落割合同様にて米國より鋼板を輸入する能はず現在の新造船價三百圓にては到底引合はず殊に目下官民合同の財政經濟調查會に於ける製鐵保護

協會の結果外國產鐵の輸入稅率は今日より約四倍となるのであれば造船界の現在及將來は甚だ難事と云はねばならぬ目下全國造船所にて造船中のものは十九箇所建造數三十六隻之れが總噸數十六萬五百三十噸なるが之を詳細に示せば左の如くである（△印は注文者なく在荷を以て造船しつゝあるもの）

▲函館造船 ▲一、七〇〇噸（起工年月九、二）

▲石川島造船 ▲三、二〇〇噸（八、一〇）

▲三菱神戸 三、八〇〇噸（九、五）

▲同長崎 九、五〇〇器（九、一）九、五〇〇噸（九、二）

▲淺野造船 五、四五〇噸（九、二）五、四五〇噸（九、二）△五、四五〇噸（九、三）五、四五〇噸（八、一一）

▲橫濱船渠 七、二八〇噸（九、五）

▲内田造船 △二、二〇〇噸（九、一）

▲浦賀船渠 四、六三〇噸（九、四）

▲帝國汽船 △六七五〇噸（九、二）△六七五噸（九、三）△六、七五〇噸（九、五）

▲大阪鐵工 △六、三〇〇噸（九、一）△七、三〇〇噸（九、四）△六、三〇〇噸（九、五）

▲同因島 四、五〇〇噸（九、二）六、五〇〇噸（八、一一）

▲岡本造船 一、三〇〇噸（八、一一）

▲藤永田造船 二、二六〇噸（八、一一）二、五〇〇噸（八、一〇）一、七〇〇噸（八、一一）

▲相澤造船 △一、二〇〇噸（八、一〇）△一、二〇〇噸（八、一一）

▲新田造船 一、七〇〇噸（八、九）

▲原田造船 △二、〇〇〇噸（八、一一）

▲川崎造船 五、八〇〇噸(九、四)△五、八六〇噸(九、九)△五、八六〇噸(九、四)△五、八六〇噸(九、六)

▲三井物産 △五、八〇〇(九、五)△二、二〇〇噸(九、四)

▲松尾鐵工 三、〇三〇噸(八、一二)

右に依れば建造船三十六隻中二十隻は注文者無きものにして是等は何れ遠からず竣工と同時に賣船するものなるが前記海運界の事情と財界の現状と相俟つて大いに考慮を要すべき問題である

銀行手許厚薄の増大

社會生活上の不安除去と財界救済との相反對せる二大目的に立脚せる金融業者が極力通貨の膨脹を抑制しつゝ所謂救済資金貸出に努め居れること既報の如くなるが此大方針は金融業者間にありては日銀對市中銀行は愚か市中銀行同志及對地方銀行間の共助方針となり一般財界に對しては團體的救済策を本旨として手形振出の形式に由る長期融通となりて彌が上に金融變態の狀勢を濃厚ならしめ未曾有の現象を捲起して前途觀測を益面倒ならしめつゝあり是等の事情は最近の各銀行貸出狀況即ち貸付、當座貸越並に割引手形の變態的增加及手形交換所に於ける各行貸借殘高の經緯を查察すれば明瞭なるべく今貸出項目に屬する分は毎週の報告書に讓るとして五月末現在當市手形交換所各行貸借殘高に就て批判せんに貸借差擴大五月末在に於ける交換貸借成績は銀行數四十三行(內本店銀行十五、支店銀行二十八)交換校數六十一萬三千二百二十四枚金額二十一億六千九百九十六萬六千七百八十五圓餘殘高二億八千八百五十六萬六千九百九十三圓餘にして之を四月分及前年同期分に比較すれば前年同期分に比し各項目共に激増し四月分に比し減額し居りて必ずしも特記する程

の事なきかの觀あるも交換額の減少は取も直さず銀行警戒の結果に外ならず茲に注目すべきは各行貸借殘高計數が從來になき複雑の關係を示し其間各行が所謂共助精神を遺憾なく發揮し居れること及手許薄關係より貸借兩字に甚だしき懸隔あること等を概示し居れる事なり這は金融界推移を卜すべき好材料なると共に現下金融界が如何に四苦八苦の態にあるかを想像し得べし内容の詳細は他日發表するとして其概略を舉示せんに上記四十三行中借方超過銀二十行あり內本店銀行七行、支店銀行十三行、更に貸方超過銀行は二十三行ありて內本店銀行八行、支店銀行十五行あり而して從來貸借超過額は大した懸隔を有せざりしに今次の其差額は殆ど悉く桁違の計數を示し最高とも目すべき貸借差額某本店銀行の貸殘高二百五十餘萬圓に對し借殘高二千餘萬圓及び同じく某本店銀行の貸殘高百八十餘萬圓に對し借殘高一千五百餘萬圓を示せる等なり從つて之に對立すべき貸方超過銀行の貸借差額の如きも勢ひ大懸隔を有し某支店銀行の如き借方殘高三百二十餘萬圓に對し貸方殘高二千九百餘萬圓を示せり之に依るも銀行により其手許資金關係に非常の厚薄差異あるを感知し得べく又現下金融界に對する樂悲兩觀測の極端に走り居る所以を納得し得べきなり

一般勞銀の漸落

財界好況に連れ諸事業一時に勃興し從つて勞銀の如き昂騰に亞ぐに昂騰を以てし一時は勞働者の天下なりとまで云はれたるが一旦財界變調に向ひ諸事業相亞いで頓挫を來し失業者續出する今日さしも強調を續けたる勞銀も俄然下落傾向を示し來り内地滿鮮を通じ失業者の續出と相俟ちて甚しく勞働者を脅威するに至れり我が京城に於ては特種事業の少き丈け固定勞働の失業者

少く從つて内地及滿洲に比し勞銀比較的強調を續くるの形勢なりしが昨今に至りては四圍の大勢に押され軟調に向ひつゝあり朝鮮土木建築協會調査に依る六月上旬現在に於ては五月同期に比し平均一割弱の下落にして最高當時に比し下落の甚だしきものは約二割の下落を來すに至れり六月上旬京城賃銀表左の如し

種別		内地人	鮮人
大工	家作	四・〇〇	三・〇〇
指物		四・〇〇	二・七〇
左官		四・五〇	三・三〇
石工		五・五〇	三・三〇
木挽		四・五〇	三・二〇
瓦葺		五・五〇	三・五〇
煉瓦職		四・〇〇	三・三〇
ペンキ塗		四・二〇	三・五〇
壘職		三・五〇	—
井戸堀		三・〇〇	二・二〇
表具師		五・〇〇	三・五〇
双五		三・二〇	—
車製造職		三・二〇	二・〇〇
鍛冶職		三・六〇	二・三〇
鉦丹鉞力職		四・〇〇	二・七〇
鳶職		二・五〇	二・〇〇
平人夫		二・〇〇	一・三〇
土方仕		二・〇〇	—
仲仕		二・五〇	—

鮮人モクト人夫	二・〇〇
擔軍	二・〇〇
支那人大工	三・二〇
支那人石工	三・六〇

綿業界益紛糾懸念

棉業界の徹底的救済策たる差損分擔に據る先約還元問題に對し紡績會社は九日の委員會に於て還元反對、個別的交渉に應ずることに見解一致せり是れ要するに紡績會社が先約還元法の斷行が契約の本義を破壊し又商業道德を無視するものなりとの正面論を固執し且つ夫れに因つて十分解決の望みありと斷定せし結果に外ならず同時に個別的交渉に對し今後如何なる態度に出づべきかは大に見物なるが現在の棉業界頽廢が會社側希望の如き手溫き方法を以て能く早急に目的を達し得べきや否や長期に互りて回復を待ち又は棉業關係者の自然淘汰に待つものとするれば開は無論先約還元の如き非常策を用ふるの必要なく又實際上に於て需給の過不足を見定め難き今日に於て操短救済を實行するの要もなく所謂救済問題を論議提唱するの必要を見ざるべし此の點に於て多數棉業者は紡績側の態度に對し何等注意を拂はざるのみか五、六月物のシンデケート處分と其の差損金支拂の爲め今や融通資金の吐き出しを餘儀なくせらるゝ向少からず殊に六月物先約殘品の引取りに就ては多大の苦惱を生ずべき情勢にあり之が決濟如何は七、八、九月物の決濟に先づ一難問題として目せらるゝ一方に於て對地方先約關係は綿布の受渡不能、差損金支拂不能、機業休止、金融梗塞等の事情より益決濟難に陥れるが如く從來尙ほ先約關係より機業を繼續せし向すら今や休機の外なき悲運に落ち泉州方面に於ける泉州織物、貝塚綿布、

湊織布など大機業家も亦休機を考慮するの餘儀なき場合に際會せるやに傳へらるゝほどにして地方的綿絲の消化機關は愈益頽廢の度を加重し來れるやの傾向あり而して對外事情に在つては銀塊の激落と爲替關係の惡化、米棉の軟調印棉の不勢など昨今惡材料頻發し同時に棉業品の輸出は目前、南洋方面への積出し衰へざるのみ他は逐日注文減少を告げつゝあるが如く内外總ての事情は需給的に悲觀すべきもの多く樂觀材料非常に少きより多數棉業者は紡績の態度上の如きに鑑み此の際には唯だ成行任せの外なしと目前却つて救済問題を口にするを回避するの色あるが如し従つて問題の結着如何は今の處全く不明なるがそれだけ絲界全般の形勢は根底的に益不安の度を加へ來れるやの振合あり三品市場の如きは期米の崩落と相俟ち今後の不景氣來を憂慮するもの多く人氣は戻り賣りに偏し商内一層寂れ行かんとするの狀あり尤も紡績會社が個別交渉に應ずべき意嚮となれることは從來頑強に先約品の引取りを請求し操短以外の問題に手を觸れざりし會社としては少くとも棉業界の頽勢に態度改善を促されしものと云ふべくそれだけ個別的交渉に於て存外果斷の態度に出づべきやも測られざると共に或意味に於ては棉業救済に對し一步を進め來りしものと見ても差支へなかるべし、唯其の態度が現下の棉業界救済に對し手溫るき感あるだけ之れに依りて人氣の安定を圖り問題展開を促進し難き節あるは當然にして殊に棉業者の資力は七九月物乃至それ以上長期の先約に對し現狀決済の望みなきこと瞭然たれば所謂徹底的救済問題は其の結論に到達するまでには尙は多少の日子を要すべく紡績側の非公式的還元反對、個別交渉の意嚮表明は救済進行の道程とも見るべきものならんが殊に綿絲以上に關係複雑且つ決済難の懸念多き

綿布總解合及び之れが決済問題の前途混沌たる今日に於ては何れ棉業界は今後一層の不安と紛糾を生じ來るべき懸念多しと

世界の砂糖需給觀

戰前世界の砂糖總產額は約一千八百萬米噸にして其内國際間に移動すべきもの約七八百萬米噸なりしが露國の革命戰後の混亂等の爲め貿易系統に著るしき變化を生じたり殊に戰前獨、塊、露、佛、白、蘭は歐洲に於ける產糖國として英國其他に輸出し居たりしも戰後は全く輸入國と變じ

(一)獨塊は其大部分を輸入に仰ぎ(二)露は國內產糖にて十分なる上外國より輸入する事すら不能となり(三)佛は不足額を米、玖馬、瓜哇等より輸入し(四)英も米玖馬瓜哇より供給を受け(五)米は玖馬其他より粗糖を輸入し其一部を精製して英佛に供給す

等の現象を呈するに至れり更に戰前に於る世界產糖國の五箇年間平均と戰後千九百十九年度の產糖を示せば大凡左の如し(單位千米噸)

國別	一九〇九—一三年 五箇年間平均	一九一九年	種類
英國印度	二、五二〇	二、六一七	甘蔗
獨逸	二〇、三八五	二八一	甜菜
玖馬	二、〇五〇	四、四八〇	甘蔗
塊甸	一、五八六	二八四	甜菜
露	一、五七二	一八二	同
瓜哇	一、四五四	一、八七〇	甘蔗
米	八八一	七〇〇	甜菜
佛	七五一	一二二	甘蔗

布	哇	五五四	六〇〇	甜
ぼうとりこ		三四八	四二〇	蔗
其	他	三、六三四	四、〇七八	
合	計	一七、七四〇		

即ち獨逸の産糖は戦前の三十五分の一に過ぎざるを以て戦前供給したりし英本國、諾威、瑞西、丁抹、和蘭、智利等合計六十九萬九千米噸（一九一三年度）は悉く之を瓜哇糖に依りて補填せざるべからず、其他埃甸國にても千九百十三年度英本國に三十六萬噸土耳其に十九萬四千噸英領印度に十七萬三千噸其他希臘瑞西、葡萄牙等合計九十七萬七千噸を供給したるも今や漸く自給し得る事さへ覺束なき状態に在り翻つて世界に於て尤も消費額多く且つ輸入國たる英本國の戦前戦後に於ける數量を擧ぐれば（單位英一千噸）

▲精糖

輸	入	元	一九一三年	一九一九年
露	西	亞	三	十一月迄
獨	逸		四六五	一
和	蘭		一七九	一三
白	耳	義	五〇	四
佛	蘭	西	二七	
埃	甸		一九八	
米	國		一八五	
モーリシヤス			一八	
瓜	哇		一一二	
其	他		六一	
合	計		九二三	三九七

▲粗糖

輸	入	元	一九一三年	一九一九年
獨	逸		四七二	十一月迄
丁	抹		三一	
和	蘭		一一	
埃	甸		一六一	
玖	馬		二二四	
英	領	西	四八	五三四
同	ギ	ア	二七	一一〇
祕	露	ナ	二七	七〇
瓜	哇		一	一六九
モーリシヤス			二〇	一二九
其	他		一六	二六
合	計		一、〇四七	一、〇四一

右の外英國は葡萄酒七萬噸を米國より糖密十五萬噸を米國及玖馬より輸入し居れるを以て砂糖消費制限法の實施せらるゝ昨年度に於て既に戦前よりも消費額超過せり尙米國の狀態を見るに同國への輸入は主として玖馬中米、比律賓の外南米、祕露の少量にして千九百十三年度は合計二百三十六萬八千米噸（内玖馬よりは二百十五萬六千噸）に對し千九百十九年一月より十月迄十箇月間の輸入は三百十九萬八千米噸に増加し尙十一、十二の二箇月を加算する時は四百萬噸以上に達するに拘らず輸出は千九百十三年度二萬二千噸同十六年度八十一萬五千噸の増加を見たるも昨年度は再び減少し六十二萬三千噸内外を算し同國の輸入は年々著るしき増加をなすに反し輸出は減少傾向を示せるより考ふると禁酒令實施以來砂糖の需要激増し尙砂糖消費制限局が早晚廢止さるべき模様なれば之れが廢止に伴ひ使用量は更に

一段の増加を見るに至るべし尙世界の糖價を左右する玖馬及瓜哇糖の輸出額を示せば左の如し(千米噸)

玖 馬		瓜 哇	
一九一三年	二、四四八	一、四七一	
一九一四年	二、八三六	一、四八八	
一九一五年	二、六四九	一、三七八	
一九一六年	三、二三六	一、五五九	
一九一七年	三、一六七	一、二六一	
一九一八年	三、五八六	一、五〇四	
一九一九年	一	一、八三〇	

(二月より二月迄)

以上の如く玖馬及瓜哇糖の生産輸出戦後者るしく増加せるに拘らず歐洲方面の秩序恢復尙容易ならず殊に獨逸の如きは今後數箇年は僅に自給自足の方法すらつかざる有様なるに引換へ歐洲各國は今や戦時中の使用制限を撤廢し又はせんとする現狀なるを以て砂糖の需要は大潮の寄するが如く瓜哇、玖馬の輸出を逼るに至り茲に世界的糖量の不足を感ずるに至り倫敦市場の如きは熱狂的暴騰を來し七日日本内地入電の如きは瓜哇六十八盾を稱ふるに至りたるが最近迄戦後獨逸の産糖少くも一箇年百萬噸を下らざるべしと豫想したりしも昨年度は僅かに二十八萬七千噸に過ぎざるを以て砂糖缺乏は今後尙甚だしからん殊に獨逸、佛等の諸國は今や砂糖耕地をして其大部分は小麥、芋其他主食物の栽培に換へたるを以て是等の諸國が戦後の生産をなし得る迄には少くも今後十年以後ならんと云ふものあり

銀價の漸落歩調

銀價の前途不勢なることは既報せる所なるが其後の入電は益低

落せる數字を示し十三日附倫敦銀塊同日紐育銀塊の暴落して一弗丁度を報せると相俟ち更に一片安の五十八片四分の三を示し昨年八月二十八日の相場を再現するに至りたるが一方米英爲替は十三日二仙八分の一暴落して三弗八十一仙八分の一を報せるを見れば倫敦銀塊の低落主因は全く紐育銀塊の暴落にありと認め得べく而も右紐育銀塊相場を倫敦銀價に換算すれば倫敦銀價のバリタイーは約五十八片を示すわけなり一昨年来米國に於て彼のビットマン法案の提出當時に於ける米英間輸送費用は倫敦サミュエル・モンタギュー商會の發表する所によれば、七分見當と算せられしも現時に於ては正に半減せるべく今試に之を以てすれば倫敦銀塊は正に六十片見當を唱ふべき振合にあるべき筈なるに之が實際相場は前記の如く五十八片四分の三を示し倫敦相場は寧ろ安きに失するが如き有様にして既報の如く銀塊に對する投機思惑が全く姿を沒し過去に於て銀價昂進の助長に與つて力ありたる貨幣鑄造上の需要絶無なるに反し銀高氣配は歐洲各地に於て停滯せる鑄潰銀價の賣物が動ともすれば銀塊市場に殺到し來りて實際上の需給關係を離れて相場の高低を決定するの勢力が今や存せざるに至りたる證左には非ざるか殊に某所に達せる情報によれば上海市場に於ても銀價の前途が全く樂觀を許さずして銀安を見越せる傾向著るしき由なれば時に反動高を示すことあらんも銀價が漸く低落を告げ來りたるは争ふべからざるが如きのみならず往年米國政府が英國の懇願を容れ制定せるビットマン條例に基く一弗一仙二分の一なる最高價格制度は既に昨年五月五日を以て撤廢され且銀の輸出に就て何等の制限を設けざることをしたりしが故銀の世界的相場が決定さるゝ狀態は既に當時に於てビットマン條例制定以前の狀態に復歸し米

英爲替の變動如何は固より其影響する所大なりと雖も紐育三月銀價の世界的支配力は曩に同條例制定の當時米國の有力なる銀鑛業者及銀精煉業者により盛んに高唱されしも終に實行せられざりし事實に鑒みれば既に此當時より漸く其權威を失墜し來りたるは識者の共に認むる所にして銀價の支配權は今や正しく倫敦に復歸し倫敦銀價は世界の銀塊相場を支配すべき大勢にあるものと解するも大過なかるべし

青島雜錄

◎青島管内戸口 本年五月民政部警務部調査に依る青島及び其附近に於ける日本人々口戸數左の如し

戸數	人	口
青島	五、〇一五	一七、六九二
臺東鎮	四二八	一、三〇四
李村	九六	三四四
滄口	四二	一二二
沙子口	六	一七
四方	二六八	七九八
其他	六四	二一三

にして合計五千九百十九戸二萬四百九十人（男一萬八百七十三女九千六百十七）なるが之を昨年五月の五千二百七十八戸二萬二百人（男一萬一千三十七、女九千六百十七）に比して戸數に於て五百四十一戸人口に於て二百八十六人を増加せるも單に青島市内に於ては四千四百五十八戸一萬七千八百十四人にして五百五十七戸を増加しながら反對に百二十二人を減少せり尙ほ李村

沙子口は著しき増減無きも臺東鎮、滄口、四方に在りては戸數人口共漸次増加の傾向あるは將來の大青島市が此方面に擴張せられんとする證左として最も注目に値すべし
◎沿線邦人戸口 山東鐵道沿線主要地於ける邦人々口戸數（本年五月調査）左の如し

戸數	人	口
高密	一二五	二六一
坊子	三七三	一〇三六
濰縣	三九	九一
青州	三七	八八
金嶺鎮	五〇	一一七
張店	二三九	六一一
淄川炭礦	一七四	五六七
博山	一四〇	三一七
周村	二六	六一
濟南附屬地内	二〇七	四四六
同外	六三四	一九七一

其他を合して二千三百六十四戸六千二百八十一人にして之を昨年同期の二千三百七戸六千三百一人に比するに戸數に於ては五十七戸を増加せるも人口は却て二十人を減少せり尙ほ細別すれば濰縣青州博山周村等は減少せるも坊子金嶺鎮淄川炭礦等は増加し濟南に在ては附屬地内在住者の増加に反して同外の人口は減少の傾向あり此等は諸種の事情あるを以て一概に判斷を下し難きも山東處分問題に關して沿線各地は殊に其打撃大なるべきを豫想されたるに拘らず今日に於ては著しき影響を蒙らざるのみならず青島に於ては漸次發展の徵あるを見る

◎林署長記者招待 既報林民政署長の新聞雜誌記者招待宴は過般天津町東華旅社樓上に開會參會者三十餘名にして十餘名の紅裙酒間を斡旋し餘興として第一樓鶴吉の義太夫は支那料理との對照面白く興を添へたるが一同何れも歡を盡して辭したるは十時過なりき

牛一、ヘレナ號（ホルスタインフリーシアン種乳用牝生後九ヶ月父ホルスタイン種ビクトリ號母同種第三ウオチエー號價格一千二百圓）二、第二ウラニア號（ホルスタインフリーシアン

種乳用牝生後十一ヶ月父ホルスタイン種ヨキムエス號母同種
ウラニア號價格八百五十圓)三、第四アンナー號(ホルスタイ
ンフリーシアン種乳用牝生後十二ヶ月父ホルスタイン種ヨキ
エス號母同種アンナー價格九百五十圓)羊、綿羊(メヅノ一
種一頭牝二頭合計三頭價格一頭百五十圓)

因に前記乳牛の母系統は一日一斗五升乃至二斗の泌乳量を有す
る良種なりと

◎山東牛假置場 門司市役所は食糧政策上山東省牛を輸入し之
れを屠殺して門司入港の船舶其他一般の食用に供すべく市營屠
牛場設置の計畫を立てたり然るに牛肉の輸入は免稅品なるも生
牛には從價一割の關係ある爲め一頭に付十圓又は十五圓以上の
關稅を納附せざれば山東牛を輸入して屠殺する事能はず斯の如
く生牛と牛肉とは法律上の取扱ひ異なり居る爲め屠牛場を經營
して青島より生牛を輸入せんとするよりも牛肉を持ち來る方安
價にして利益あるが故に夏期を除く外は山東牛肉を輸入する方
生牛よりも經濟なれど食糧の調節は四季を通じて行ふべき必要
あるを以て門司市は種々研究を重ね年中山東牛肉を市場に上
せる良策なきやに就き適當なる方法を講究の結果遂に假置場
を門司市に於て經營する事となり高岡市長は其筋に向つて田の
浦海岸藤ヶ鼻に假置場設置の出願を爲したり古田稅關長は此計
畫に賛成し時宜に適當の施設として復申の結果過般大藏大臣の
決裁を経て幸ひにも特許されたる由而して市の如き公共團體か
假置場の經營をなすは未だ他に類なく我國にての嚆矢なりと云
ふ

◎損害調査委員 日獨戰當時青島に居住せる本邦人の蒙れる損
害は久しく調査中に屬するも中には證明困難のもの尠なからざ

るより今回調査委員を設け其手に依て實證する事となり之等の
人々は過般市民會に會合調査委員を選擧したり其氏名左の如し

▲會長 峰村正三 ▲調査委員 山本伊孝 鈴木友次郎 ▲宇田
川賢次郎 ▲多戸權太郎 ▲飯塚重五郎 ▲小林乃 ▲一宮晃 ▲小西
平次郎 ▲大塚威規 ▲田邊郁太郎

◎桐材現狀悲觀 當地の桐材組合が數名の上阪陳情委員を選定
して既に出發せしめたるは既報の如くなるか阪神桐材同業者も
極度の金融硬塞に支配せられ此上の購買力は有せざるものゝ如
く當地より各地組合へ希望したる大阪陸揚濟桐材の引取り方を
快諾せられし曉は當地に在る桐材は彼地にて指定する時日迄積
出を差控ゆべしとの一條は今尙ほ行惱みの狀態にあり桐材界も
京都に二三の倒産者ありしも之れが影響は僅少なる見込なるも
夫々相當の打撃を蒙り居るは事實なり目下大阪に堆積し居る桐
材は價格約二十萬圓なるも當地邦商筋にて約三十萬圓の手持ち
ある見込に付豫て儲け少なき桐材業者としては甚敷き苦痛と云
ふべく華商筋にては目下銀二十萬圓見當の手持を有し居るも靜
かに貯へて賣急く傾向なく一才銀十六錢を固持し容易に賣放た
ざる模様なり

◎先月屠殺狀況 五月中青島屠獸場に於ける屠殺獸は牛二千七
百九十八頭、犢五頭、綿羊三十九頭、羊三十八頭、豚千二十三
頭合計三千九百三頭なるが輸出に於ては屠殺牛日本内地八百六
頭麻尻刺千四百八十六頭、浦鹽三百二十七頭、大連六頭合計二
千六百二十六頭外に屠殺豚二百七十二頭の麻尻刺輸出あり之を
前月に比すれば牛百六十二頭、綿羊六頭を減じ豚二十二頭、羊
三十八頭を増加し輸出に於ては牛日本八百七十四頭を増し麻尻
刺七百五十六頭を減じ居れるも豚は百七十二頭を増加し浦鹽は

入りし爲め倒の山東苦力の移動激しく出航者は僅々五百七十六名なるに歸來者は一萬二千百十五名の多きに達したり

◎魚市場水揚高 五月中に於ける魚市場總水揚高は數量十萬六

千九百四十二貫此金額九萬二千五百五十八圓九十八錢にして内日本漁船にて獲たる地物は九萬九千二百八十四貫金額八萬二千七百四十一圓(錢位切捨)支那漁船同七千五百五十八貫金額九千九十八圓内地物一百貫金額二百十五圓なるか魚類の主なるものは鯛の八萬五千貫金額六萬九千四百三十五圓を筆頭にグチ、鯖、チヌ鰒、鯖、甲烏賊、カレイ、アワビ等なり之を前月に比較すれば數量に於て八萬二千貫金額三萬六千餘圓を増加し昨年同期に比し數量に於て實に二倍半金額約三倍の異常なる増加を示せり之れ五月は一年中を通じて盛漁期に屬し且つ本年は出漁隻數又多數に上りたる爲めにして魚價頗る低落せるも支那人間に販路開拓せられて斯く増加を見たる譯にて魚市場開設以來未だ曾て類例なき最高水揚高なりと尙ほ六月に入れば漁場の關係上關東洲方面に去る漁船あれば漁獲高の漸減と共に漁價又多少の昂騰を免れざるべしと觀測せらる

◎製油界の革新 當省重要物産の一なる花生油は其計產額大約六千萬斤内外なるが從來の製品は品質頗る粗惡にして單に沈澱又は瀝過の製造に依りて英米に輸出せられしと雖も彼地に於ては再製するか又は工業用として使用するか何れにしても從來當省より輸出せられたるものは常に多大の批難を受け従つて價格の如きも次第に低下し最近に至りては輸入拒絶に遭ひたりとの報ありて今や製油界は不振の極に達し居れり之等は畢竟粗製濫造品質不良に起因するものに外ならずして識者の當然豫期すべき現象なるが、其缺點とする處は稠度の増加不味及び色澤なき事且つ惡臭ある等にして之等除去して眞に優良品の製出に努力せんとするには是非共製油機の改良に俟たざる可らず而して精製搾油に當りては鐵釜にては金屬の惡作用を油脂に及ぼし又

現在の如く高熱を以てするは食品の風味を減損し且つ稠度を増加して著しく品質を損傷するを以て眞空低壓に依りて酸素の影響を除去せざる可らず斯くて品質に改良を加へんか目下の如き不振を招き惡評を蒙むるが如きは絶対になく當省産品をして益々輸出を促進すべきは火を賭るよりも明かなりと某氏は語れり

◎最近營業件數 五月中青島民政署營業課に於て許可したる營業件數は合計百九十二件にして内日本人八十四支那人百〇五歐米人三件なるが廢業數は十四件内日支人各七件總營業件數は七千三百七十九件前月末現在に比し百七十八件を増加し更に之を本月末現在の六千七百八十七件に比すれば六百十二件の増加を示せり

◎電話二千圓臺 當地の電話は昨年貿易殷賑の節惡ブローカーの跋扈に依つて不自然の騰貴をなし一時は三千五百圓の高値にて盛んに賣買せられしが其後財界の不況と同時に新設電話の發表あり目下は二千圓臺を割込み而も買手なき模様なりと因に新設電話にして未架設の者は二流筋に普く均霑せしめたき當局の苦心は水泡に歸し二流者間の轉賣行はれ法網をくゞつて盛んに不正行爲行はれつゝありと云ふが新設の分全部架設せられ取引所開市の曉は目下の相場よりは幾分高値を唱ふるならんと期待せられつゝあり

◎臺東鎮再貸下 過般市街計畫の必要上返納を命ぜられたる臺東鎮附近の官有地約二十萬坪は舊借地人が該地域内に於て工場若くは家を建設する目的を以て貸下を出願したる場合は當局に於て詮議の上其必要と認めたる範圍内に於て便宜取扱はるゝ由なり而して舊借地人に貸付けを爲したる後尙餘裕あるに於て

は爾餘の一般借地人に對しても貸下げらるべく貸下希望者は六月中に民政署土地係に願出すべく尙該返納地にして再出願を爲さざるものに對しては當局に於て適當と認めたる金額を補償するを以て右借地返納者は其金額を明記して願出すべしと因に貸下出願を爲さんとする者は速かに手續を履行すべしと

◎土地貸與禁止 濰縣知事陳氏は數日前管下の社長（村長の上位にありて數ヶ村を管轄す）七十二名を濰縣公署に集め山東鐵道附屬地以外は支那の領土にして自己の行はんと欲する所を行ふ事を得毫も日本の摯肘を受くべき理なし故に余は茲に爾今日本國民に土地を買却するは勿論貸與する事をも禁止す若し斯かる行爲をなす者ある時は直ちに公署に密報すべく之を寛假するに於ては自ら重大なる責に任せざるべからず云々と布令したる由なるが之に關して某煙草會社が目下蝦蟆屯驛に建築中の邦人經營煙草會社を壓倒せんが爲めに知事を買収し斯かる命令を發せしめたるに非ずやと解する者多しと

◎家屋建築許可の改善 家屋の建築に關する許可即ち新築、増築、改築、大變更、大修繕に關する許可などが非常に遲延して困るといふことは從來屢々耳にする所である之に關して一概に攻撃す其責任が民政署にあるものと考へて一も二も無く民政署を非難する者もあるが之は實際の取扱ひを知らぬが爲めの誤解である一體家屋の建築に關する願書は青島家屋建築規則にもある通り第一に民政署の土地係に提出になる民政署では其の願書を受附けた上、技術上除き總ての點を審査して其が差支無いと認めた時は署長の決裁を得た上それを民政部の土木部に廻すのである是は民政部には建築に關する技術員が居ないから已むを得ず技術上の審査を土木部へ廻す譯である所が之は法理の上からも

事務簡捷の上からも極めて拙いことである、土木部は監督官廳であつて執行官廳では無い少くも民政部直營の工事以外のこと然も民政署長所管の事項を直接にやることは法理上あり得べきことでは無い然も之は法理上のみならず實際上欽陥が更に甚しい土木部の方にも夫々自分の仕事の仕事が有り且つ建築の設計書などは至極煩瑣なものであるので兎角審査に手間取れ若くは不備な點などありて照復などする中々大變な時日を経過する要するに之は民政署に建築に關する専門家の居無いたことが百弊の源になつて居る此の點を改善せんが爲めに今回監督官廳とも協議の結果民政署に建築に關する技術員を置くことになつて遠からず任命になることゝ信ずる其曉は家屋建築に關する事務は名實共に民政署長の監督の下に屬するから充分に督勵を嚴にし書類の審査を圖り得ることゝ思ふ従つて行政法理上の不備の點は勿論無く許可指令も數日を出でずして下ることになる筈である尙ほ此専門家の配屬と同時に從來は空名のみであつた建築規則の或る個條即ち建築敷地線の檢査やら建築工事の檢査竣工檢査等も嚴重に勵行するから宜い加減なことをして工事の改修や中止罰金などを課せられないやうにして貰ひたいと民政署某當局は語る

協會錄事

定例總會（七月）

七月分定例總會は十日午後七時グラントホテルに於て開會出席會員左の如し

出席會員（順序不定）

東和公司支店 南昌洋行

日本綿花出張所	朝鮮銀行支店	伊藤忠商事會社支店	鈴木商店出張所	吉澤洋行	大連汽船會社	三菱商事會社出張所	南滿洲鐵道會社	和盛公司	峯村洋行	日本郵船會社	東洋鹽業會社	神戸棧橋會社	大連製氷會社	久原商事出張所	青島鹽業會社	内外綿會社支店	青島糸廠	東洋製油會社支店	田中商事會社
東省實業會社	山田出張所	原田汽船會社支店	江商會社支店	橫濱正金銀行支店	中村組支店	青島銀行	大日本紡績會社	大阪商船會社出張員	湯淺貿易會社	山東運輸會社	大倉商事會社	青島製粉會社	泰利商會	大星公司支店	大日本麥酒會社	山東化學工業所	山東葉煙草會社	山東起業會社	

以上四十一名例に依り晚餐を共にしたる後ち議事を開き近澤副會頭議長席に着き開會を宣告

○附屬運動部規則改正の件

右は倉田運動部長より過日運動部總會に於て役員の一部を改正し部長理事幹事の委員及び書記の各役員を置き事務を處理することなりたるに付御承認を乞ふ旨述べ異議なく承認

○大正九年上半年會務報告並に會計承認の件

右は吉見書記長より協會の發展に従ひ事務も亦頗る繁忙を極めつゝあるが其の概要は今夕諸君に配付したる印刷物に記載の通りなり就中其取引所信託會社創立關する件及び東京商業會議所に於ける對支問題善後策協議會に關する件を最も顯著なるものとす而して今後起るべき問題としては例の山鐵延長線促成問題津浦線連絡實施問題青島海關制度存續問題官有地に關する將來の研究並に市街擴張問題或は日支親善促進具體案實施方等幾多重要問題の潜めるあり協會として益々考慮を要すべきものあらむ希くは御指導を乞ふ旨一言し次で會計報告に就て該報告は毎月會頭又は副會頭の會計帳簿檢閲を経たるものを集計表示したるに過ぎず其半期間一定の豫算あり款項目に従ひ支出決算したるにあらずして極めて單純なる毎月決算に依る集計なりとて要點を説明し猶ほ協會費の月額目算に就き項目收支額を擧げて説述し異議なく承認次で議長より

○大平商事會社退會の件

大平商事會社支店(代表者飯田啓三郎氏)は六月限退會せり

○調查部長互選の件

調查部長は互選未決の處今回原長治氏(中村組)當選せり

右は遲滞なく全部拂込を終了したる旨報告以上報告後主題たる
○飯塚會頭辭任善後策に關する件

に移り先つ近澤副會頭より飯塚氏辭任の事由は其の本店より都合上會頭を辭する様電命あり協會として誠に遺憾に堪わざる旨一言し之に就て各位御意見を承りたしと圖り協議の結果一先づ協會の名を以て三井本社宛留任方照會するを可とするの説多數

にて之に決定次に

○協會員休日一定に關する申合の件

右三菱の濱氏より提議あり當地に於ける「ローカル、ホーリデー」か區々にして一定せざるは種々なる點に於て不便多きを以て何とか大體一定し置きては如何と云ふに在り協議の結果本件は會で議題となりたることあるも更に調査研究再議のことゝなれり之にて議事は終り午後十時散會せり

因に當夜出席會員に「大正九年上半期(自一月至六月)事務報告書」を配付せり

大正九年 自一月至六月 執務日記 錄

一月

七日 ○重要物產部會及新年會 午後六時三浦屋ニ於テ開會

盛況裡ニ同十時散會

○取引所問題協議會 午後二時協會内ニ開會同四時散會

九日 ○決議違反者制裁ノ件通知 重要物產部會ニ於テ決議

サレタル正味取引貨物ノ受渡場所決議違反者ニ對スル部内制裁ノ件通知發送

○支那商宛通知書 重要物產部會ニ於テ決定セル正味取引貨物ノ受渡場所ニ關シ支那商宛通告書ヲ發ス

十日 ○交互計算日 重要物產部交互計算午後一時開始午後四時退散

十二日 ○新年宴會 運動部會同恒例新年宴會午後六時大辰ニ於テ開催頗ル盛況ヲ呈シ午後十時半散會

十七日 ○重要物產部會 午後三時協會内ニ開會午後五時散會

○月報寄贈 港務所有野主任ヨリ大正七年分ヨリ最近ニ至ル分取纏メ寄贈方申越ニ付發送ス

○工業部新年會 午後六時糸乃家ニ於テ開會午後十時散會

十九日 ○支那商宛通告 正味取引貨物ノ受渡場所一定ニ關スル實施期ヲ次期ヨリスルコトニ通告書ヲ發ス

廿一日 ○淵出太郎氏送別會 午後六時糸乃家ニ於テ開催午後十時散會

廿二日 ○東京商業會議所ヨリ來電 在支實業團體代表者ノ協議會ニ關シ來電ニ付直ニ返電ヲ發ス

○工業部員宛通知 工業用炭ノ件ニ付通知狀ヲ發ス

廿五日 ○重要物產部交互計算日

廿七日 ○神戸油脂貿易組合宛發信 重要物產部ヨリ同組合取引規定ニ一致シ難キ旨回答書發送

○出版物寄贈 工場一覽表三十葉、月報第貳拾參號五部、三井物產宛寄贈

廿八日 ○部長會議 東京商業會議所ヨリノ照會ニ基キ在支實業團體代表者協議會へ出席者ノ件及提出議案ニ付午後四時正金銀行支店樓上ニ開會午後六時散會

廿九日 ○會員宛通知 對支問題排日排貨善後策等ニ付協會員全部ノ意見ヲ徵スル爲メ記入用紙ヲ封入全會員ニ通知ス

二月

二日 ○部長會議 東商協議會ニ關スル協會提出意見書ノ件ニ付午後四時協會内ニ開會午後六時散會

四日 ○部長會議 午後四時正金銀行支店樓上ニ於テ開會東

商協議會へ提出意見書ノ件ニ付再度凝議太田會頭及吉見書記長午後十時迄調書

六日

○一宮支店長披露宴 午後六時久乃家ニ開催一宮江南支店長ノ挨拶アリ太田會頭ノ祝辭アリテ盛會ヲ極メ午後九時散會

七日

○部長會議 午後正金銀行支店樓上ニ於テ開會意見書草案ニ付協議午後八時散會

八日

○鈴木格三郎氏宛書類發送 部長會議ニ於テ決定サレタル協會ノ意見書及參考書類本日正午發ニテ鈴木代表宛發送

○重要物產部會 午後六時グランドホテルニ於テ開會午後九時散會

九日

○協會代表者民政部行 取引所問題ニ付總務部長ヨリノ通知ニヨリ午後二時太田、飯塚、金子、石橋、近澤、峯村、河原、小林、常世ノ諸代表者及吉見書記長一行午後二時民政部訪問

十日

○重要物產部交互計算日
○二月定例總會 午後六時グランドホテルニ開會午後十時散會

十一日

○取引所信託會社創立世話人會 日本人側世話人トシテ協會及商業組會ヨリ選出サレタル信託會社創立世話人一同午後一時協會内ニ參集午後六時退散

十二日

○取引所信託會社創立世話人會前日ニ引續キ午後七時協會内ニ參集午後十一時散會

○事務多忙中夜業 取引所問題發生及東商協議會問題ニ付事務多忙ヲ極メ先般來日曜無休通常夜業ヲ行ヘ

十三日

○重要物產部理事宛回覽 神戸油脂貿易組合ヨリ定款送附ニ付重要物產部理事宛回覽ニ附ス

○重要物產部會 午後七時協會内ニ開會午後九時散會
○定例總會報告書提出 二月定例總會報告書青島民政署宛提出

十四日

○取引所信託會社世話人會 午後一時協會内ニ開會午後六時散會

十五日

○貸室 寶生流謠曲會ニ大廣間貸與

十七日

○意見書印刷 東京商業會議所ニ於テ開會ノ對支問題及排日排貨問題善後策協議會ニ提出シタル協會意見書印刷ニ附シ關係者宛送附ノコトナル

二十日

○鈴木格三郎氏ヨリ來電 協議會終了ノ旨來電ニ付直ニ其盡力ヲ感謝スル旨發電

廿一日

○信託會社創立世話人會午後二時半協會内ニ集合信託會社定款草案ニ付金子峯村河原三氏協議セリ

廿三日

○統計材料提出青島民政署ヨリノ照會ニヨリ提出
○月報寄贈 北京駐劄海外財務官公森氏ヨリ申越ニ付爾今每號寄贈ノコトニ取計フ

廿四日

○信託會社創立世話人會 午後七時協會内ニ開會午後九時半散會

廿五日

○重要物產部交互計算日

廿八日

○信託會社創立世話人會午後一時協會内ニ開會午後四時散會

四日

○意見書配附 前月十七日印刷ニ附シタル意見書印刷

完成ニ付關係者ヘ配附ス

六日 ○重要物產部會 午後六時グランドホテルニ開會午後九時散會

○信託會社創立世話人會 日支兩國側一同午前十時協會大廣間ニ開會正午散會

七日 ○小谷節支氏歸青 東京商業會議所ニ於テ開カレタル對支問題及排日排貨善後策協議會ニ當協會ヲ代表シテ出席シタル鈴木格三郎氏ト共ニ多大ノ功勞アル小谷節支氏歸青ニ付吉見書記長埠頭ニ出迎フ

九日 ○信託會社創立世話人會 日支兩國側一同午後二時協會內ニ參集午後五時半散會

十日 ○三月定例總會 午後六時グランドホテルニ開會小谷節支氏ヲ招待東商協議會ニ於ケル顛末ヲ聽取シ午後十一時散會

○辻本書記辭職

○魚住書記採用

○信託會社創立世話人會 午後三時協會內ニ開會午後五時散會

○信託會社創立世話人會 午後二時日支兩國側一同協會內ニ參集午後四時散會

十六日 ○司令官以下招待宴會 市民會評議員ト共ニ午後六時衆ノ家ニ開催主客實ニ七十名午後十一時散會

十七日 ○東洋鹽業會社支店長交迭披露宴會 秋元氏本店詰ニ具原收藏氏新ニ支店長トナリ午後六時大辰ニ於テ開會午後十時散會

○信託會社創立世話人會 午後三時協會內ニ開會午後

六時散會

十八日 ○秋元定恭氏送別會 市民會有志合同午後六時三浦屋ニ開催午後九時散會

○信託會社創立世話人會 午前十時協會內ニ開會晝食後引續キ開議午後四時散會

二十日 ○信託會社創立世話人會 午後一時協會內ニ開會午後三時散會

○椅子五十脚貸與 外人主催慈善演藝會ヨリノ申越ニ付椅子五十脚貸與ス

廿一日 ○信託會社創立世話人會 午前十時協會內ニ開會午後五時散會

廿五日 ○重要物產交互計算日

廿九日 ○信託會社創立世話人會 午後四時協會內ニ開會午後六時散會

四月

六日 ○大連商業會議所宛送金 東京商業會議所ニ於ケル代表者協議會ノ際在支實業團ヨリ招待シタル費用割當金八拾九圓八拾壹錢也大連商業會議所ヨリ申越シニ付送金ス

七日 ○重要物產部會 午後六時グランドホテルニ開會取引所足立相談役ヲ招ク午後十一時半散會

九日 ○神社神輿調進世話人選定ノ件 協會側ヨリ松崎翠松本文三郎兩氏ヲ推選セリ

十日 ○重要物產部交互計算日

○四月定例總會 午後六時半協會內開會午後十時半散會

十三日 ○專屬仲立人制裁ノ件通知 專屬仲立人富永山田兩名

ニ係ル仲立行為停止ノ件重要物產部員宛通知

廿一日 ○部長會議職員臨時增俸ニ付午後二時三井物產樓上ニ開會

廿二日 ○重要物產部觀櫻會 午後一時櫻公園ニ於テ開催非常ノ盛況ニテ午後五時散會

廿四日 ○貸室市民會ヨリノ申越ニ付大連中學校生徒宿泊用トシテ大廣間貸與ス

廿六日 ○工業部觀櫻會 正午十二時旭公園天定ニ於テ開催午後四時散會

廿七日 ○重要物產部交互計算日
○重要物產部交互計算日(前日ノ續)

五 月 ○工業部會 午後五時協會內ニ開催午後七時散會

一日 ○會員青島鹽業會社代表者三好光三郎氏紹介ニ依リ松尾松濤氏洋畫展覽會ノ爲メ大廣間貸與

四 日 ○重要物產部會 午後七時グラントホテルニ開會同拾時半散會

五 日 ○中村榮次郎氏宛通知 重要物產部專屬仲立人申込中ナリシカ部會ニ於テ否決サレタルヲ以テ其旨通知ス

十日 ○重要物產部交互計算日
○五月定例總會 午後六時グラントホテルニ於テ開會

十一日 ○太田會頭告別ノ辭及其ノ内地最近經濟事情報告演說アリ午後十時散會

十二日 ○重物產部相談會 交互計算ニ依ル金錢ノ授受及荷物受渡シ件ニ付午前九時協會內ニ參集同十一時散會

十三日 ○定例總會報告書提出 五月分民政署宛提出

廿一日 ○工業部理事會 工業用炭價ニ割引及工場地拂下ニ關スル請願ノ爲午後二時協會內ニ開會午後三時閉會後

鐵道部ニ秋山長官ヲ訪問セリ

廿五日 ○工場地拂下請願書捺印ノ件 該請願書ニ捺印ヲ要スル爲工業部員一同宛回訪

廿六日 ○海關統計書購讀方通知 本年度海關統計書購讀者(協會員中ノ分)申出方ニ付通知ス

廿七日 ○林民政署長新任挨拶來訪 新ニ青島民政署長ニ任セラレタル林恒郎氏挨拶ノ爲來訪

○工業部會 午後五時半三浦屋ニ於テ開會午後七時閉會

○太田會頭送別會 工業部主催午後七時三浦屋ニ開催午後十時散會

廿九日 ○工場地拂下請願書提出 石橋工業部長河原熊太郎氏及吉見書記長同道民政署長民政長官ヲ訪ヒ該請願書提出ス

○海關統計書購讀者ノ件名簿發送 協會員中ノ分出揃ヒニ付膠海關秘書課宛發送ス

六 月

一日 ○電話機本日ヨリ共電式ニ變更
二 日 ○特別電話通話區域追加ノ件 遞信部長ヨリ通知ニ付

會員一般ニ移牒ス
三 日 ○臨時總會並ニ重要物產部會 取引所信託會社株式協會宛割當ノ分ニ付臨時總會ヲ開キ一會員ノ引受株數ヲ協議ス

八日 ○役員會 午後四時協會内ニ開會午後六時半散會
九日 ○月報寄贈 内外商工時報ノ武井氏宛及獨逸ノ Paul
Buchanan 氏宛協會月報ヲ寄贈ス

十日 ○重要物產部交互計算日

○六月定例總會 午後六時協會内ニ開會正副會頭以下
各部長理事ノ改選ヲ行ヒ午後十時散會

十四日 ○定例總會報告書 青島民政署宛提出

十五日 ○月報綴寄贈 軍經理部ヨリ申越來青中ノ大津留主計
正ニ贈呈シ度ク大正八年分協會月報綴送附方照會ア
リ寄贈ス

十六日 ○參考書配附 大正八年中上海金銀輸出入額調查報告
書參考ノ爲會員一般ニ配附ス

十七日 ○協議會 取引所信託會社株式協會員中都合ニ依リ不
用ニ歸シタル處分方協議會午後二時協會内ニ開會午
後五時散會

○司令官招待懇談會 午後七時余ノ家ニ於テ開催午後
十一時散會

十八日 信託株引受證送附 協會員ノ分整理ノ上一括會社創
立事務所宛送附ス

○執務時間繰上ケ申合ノ件

十九日 ○參考書類寄贈 神戸竹田合名會社松居久吉氏來訪申
出ニ依リ協會月報其他參考書類ヲ寄贈ス

廿一日 ○在郷將校ノ就職ニ關スル件 民政署ヨリ通知ニ付更
ニ會員一般ニ移轉ス

廿二日 ○商業視察來訪者 東京白木屋吳服店芭蕉豐作片山光
次郎兩氏及大連近商組山本義一氏來訪ニ付協會月報

等ヲ寄贈ス

大正九年 自一月至六月 調查回答件名

一、山東、山西、河南、陝西、甘肅ノ人口及面積ニ關スル件

青 島 川 畑 竹 馬 氏 宛

一、青島ニ於ケルセメント需給狀態

大 阪 日本ポルトランド同業會宛

一、青島商工人名錄

大 阪 高 松 清 光 商 店 宛

一、青島ニ於ケル精米機商ノ件

大 阪 仁科ベルト株式會社宛

一、同上

廣 島 柑 橘 商 ノ 件 天 津 重 太 郎 氏 宛

一、同上

廣 島 鷄 卵 商 ノ 件 吉 野 萬 之 助 氏 宛

一、同上

名 古 屋 建 築 用 陶 器 商 ノ 件 増 田 信 太 郎 氏 宛

一、同上

廣 島 電 機 器 商 ノ 件 吉 野 萬 之 助 氏 宛

一、自大正四年至同八年青島市内三驛發著貨物數量ノ件

軍 司 令 部 中 尾 通 譯 宛

一、青島ニ於ケル皮革及雜骨商ノ件

大 阪 ヤ マ サ 商 會 宛

一、同上

名 古 屋 轉 寫 畫 ノ 件 田 中 石 版 部 宛

一、同上

朝 鮮 牛 肉 及 鷄 卵 商 ノ 件 山 内 森 太 郎 氏 宛

醬油輸出入狀態ノ件

一、同上	熊 本	高 田 太 次 郎 氏 宛
一、同上	ゲートル販賣店ノ件	
一、同上	神 戸	宮 本 光 藏 商 店 宛
一、同上	紙商ノ件	
一、同上	福 岡	笹 淵 竹 次 郎 氏 宛
一、同上	蕤繩以商ノ件	
一、同上	廣 島	久 保 茂 三 郎 氏 宛
一、同上	建築請負業者ノ件	
一、同上	大 連	三 信 洋 行 宛
一、同上	豆粕狀況ノ件	
一、同上	東 京	日 本 工 業 會 社 出 張 所 宛
一、同上	現株業者ノ件	
一、同上	大 阪	萬 屋 調 査 部 宛
一、同上	特産物取扱業者ノ件	
一、同上	大 阪	高 島 屋 支 店 宛
一、同上	ブック商ノ件	
一、同上	神 戸	西 尾 商 店 出 張 所 宛
一、同上	梱包材料商ノ件	
一、同上	廣 島	久 保 茂 三 郎 氏 宛
一、同上	古新聞紙商ノ件	
一、同上	神 戸	日 華 工 業 材 料 會 社 宛
一、同上	三味線商ノ件	
一、同上	京 城	土 出 松 音 堂 宛
一、同上	セラチン器商ノ件	
一、同上	廣 島	上 下 卯 一 郎 氏 宛

一、同上	芒硝ニ就テ	
一、同上	京 城	天 野 國 一 氏 宛
一、同上	車輛ノ件	
一、同上	東 京	辻 村 甚 助 氏 宛
一、同上	紙商ノ件	
一、同上	京 城	京 城 紙 店 宛
一、同上	白豆及製餡業者雜穀業者ノ件	
一、同上	朝 鮮	淵 上 嘉 作 氏 宛
一、同上	金物商ノ件	
一、同上	天 津	往 友 洋 行 湊 才 次 郎 氏 宛
一、同上	海產物商ノ件	
一、同上	神 戸	竹 國 商 店 宛
一、同上	蕤業者ノ件	
一、同上	岡山縣	大 日 本 蕤 業 會 社 宛
一、同上	乘用馬車ノ件	
一、同上	東 京	辻 村 甚 助 氏 宛
一、同上	紙商ノ件	
一、同上	長崎縣	田 中 丸 芳 太 郎 氏 宛
一、同上	京 城	天 野 國 一 氏 宛
一、同上	鹽田一副斗子ニ關スル件	
一、同上	青島ニ於ケル人力車及三輪車製作所ノ件	
一、同上	大 阪	日 本 リ ム 工 業 株 式 會 社 宛
一、同上	文房具商ノ件	
一、同上	廣 島	梶 谷 商 會 宛
一、同上	阿波共同汽船取扱店ノ件	
一、同上	京 城	天 野 國 一 氏 宛
一、同上	青島鎮南浦ジャンク航走ニ關スル件	
一、同上	京 城	天 野 國 一 氏 宛

付テハ一「キロワット」時毎ニ 金五錢五厘

八千「キロワット」時ヲ超ユルモノニ付テハ一「キロワット」時毎ニ 金五錢

第三十條 計量器ハ發電所ヨリ貸付シ取附手数料トシテ一箇ニ付金一圓ヲ徵收スルノ外一箇月ニ付左記ノ損料ヲ徵收ス

三十「アムペア」未滿ニ用ウルモノ 一箇ニ付 金五十錢

三十「アムペア」以上ニ用ウルモノ 一箇ニ付 金一圓

第三十一條 發電所ハ需要者ノ希望ニ應シ電燈以外ノ電氣機械器具類ノ試驗ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ左ノ料金ヲ徵收ス

倫敦銀塊相場

(大正九年六月)

一日	五十七片八分五	十一日	四十八片八分三
二日	同	十二日	五十一片四分一
三日	五十七片	十三日	日曜
四日	五十六片四分三	十四日	五十片八分一
五日	同	十五日	四十四片四分一
六日	日曜	十六日	四十四片
七日	五十六片二分一	十七日	四十四片四分三
八日	五十四片八分三	十八日	四十九片八分一
九日	四十八片八分三	十九日	同
十日	四十五片八分五	二十日	日曜

寄贈書類

(六月分)

報 第一二〇號 仁川商業會議所

馬力數 一臺ニ付試驗料 馬力數 一臺ニ付試驗料
半馬力 金二圓 五馬力 金七圓
一馬力 金三圓 七馬力半 金九圓
二馬力 金四圓 十馬力 金十二圓
三馬力 金五圓 十五馬力 金十五圓
一變壓器 一基ニ付 五「キロ」以下 金二圓
二 前號以外ノ電氣機械器具一箇ニ付金一圓
附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
前月分料金調定後連續スル給電ニ付テハ該調定後ノ分ヨリ本令ヲ適用ス

○月	報 第二八三號	橫濱商業會議所
○月	報 第一〇八號	福井商業會議所
○月	報 第一五五號	名古屋商業會議所
○月	報 第三三三號	上海日本人雜穀肥料同業組合
○月	報 第一二二號	大日本聯合紡績會
○月	報 第四六號	富山商業會議所
○月	報 第五一號	熊本商業會議所
○月	報 第五九號	安東商業會議所
○月	大正九年三月分	鐵道部埠頭事務所
○月	報 第三三八〇號	春申社
○月	報 第三八四號	大嶺陸社
○大	報 第一一六號	長崎商業會議所
○半	報 第一四六號	岡山商業會議所
○南	報 第一九七號	保險銀行時報社
○時	報 第二〇〇號	日本綿花株式會社
○週	報 第二〇八號	

○年	報第一六號	橫濱商業會議所
○週	報自第一四三二號	上海日本商業會議所
○會	報第一九號	日本ホルランドセメント同業會事務所
○週	報自第二九〇號	漢口日本人商業會議所
○週	報自第一八七號	天津商業會議所
○商	報第二〇三號	大阪富永商報社
○鐵	報第八號	鐵工時報社
○大	會九年五月會報	大亞義會本部
○貿	計九年四月分	青島軍司令部
○貿	計七年九月分	上海日本商業會議所
○週	報第四三〇號	上海日本商業會議所
○所	報第一七〇號	函館商業會議所
○彙	報第三號	大阪府立商品陳列館
○公	報第八七號	山東公論社
○時	報第十二號	南滿鐵道株式會社調查係
○工	業之大日本	工業之大日本社
○文	藝報第一六號	山東文藝社
○時	藝報第一一六號	神戶商業會議所
○所	報第二六號	東京商業會議所
○經	料報第六六號	東亞經濟調查局
○會	報第五七號	遼陽實業會
○彙	報九年六月號	滿蒙實業彙報社
○經	誌第五三號	京城商業會議所
○時	報第三六號	山東經濟時報社
○月	報第三二號	青島興信所
○經	報第一一八號	濟南經濟報社

○Pacificports. (July 1920) Frank Waterhouse & Company's
○Westinghouse. (June 1920) Westinghouse Electric Company's

品名	建物	單位	本月ノ價格	前月ノ價格	比較增減
麻 石 鹽 礬	袋	新 大小 一 枚	銀 320	銀 350	△ 30
		" " "	" 300	" 310	△ 10
		舊 大小 " "	" 250	" 320	△ 70
	炭	撫順塊炭 一 噸	" 17,500	" 17,000	○ 500
		博山塊炭 "	" 11,000	" 10,000	○ 1,000
		淄川塊炭 "	" 10,000	" 10,000	×
鹽 礬	寸	原雙喜 一 大 箱	" 4,500	" 4,900	△ 400
		三喜星 一 大 箱	" 38,800	" 39,000	△ 200
		" " "	" 39,000	" 40,000	△ 1,000

品名		建物		單位		本月ノ價格		前月ノ價格		比較増減	
胡石	粉材	普通花崗石 三才下ノ平 三才オノ六 迄白三才ノ 三才オノ平 迄	平均才均 平均才均 平均才均 平均才均 平均才均	十一	貫才	金	3,000	金	3,000	×	—
						銀	460	銀	490	△	30
							500		550	△	50
							640		710	△	70
							750		820	△	70
煉瓦	類	獨逸型機械赤 日本型機械赤 鱗瓦屋根瓦 中葺屋根瓦 黑煉瓦	千	個		8,500		9,400	△	900	
						8,000		8,800	△	800	
						35,000		38,500	△	3,500	
						65,000		71,500	△	6,500	
						7,600		8,300	△	700	
木	材	手押煉瓦 (支那型) 鴨綠紅白松 同 同 同	一	立方	米		7,500		8,200	△	700
							25,000		25,000	×	—
							28,000		28,000	×	—
							29,000		29,000	×	—
							31,000		31,000	×	—
馬薩牛人大葱林梨蜜蓮 (雜貨)	齡摩薯芋芡蔞根檣柑根絲	鴨綠江赤松 同 同	一	連	斤	金	44,000		44,000	×	—
							34,000		32,000	○	2,000
							35,000		34,000	○	1,000
							5,600	金	8,000	△	2,400
							8,900		9,600	△	700
綿	絲	雙虎十六手 紅團龍 丹鳳 銀月 紅月 水月二十手	一	俵	銀兩	150,000	銀兩	163,000	△	13,000	
						147,000		160,000	△	13,000	
						152,000		163,000	△	11,000	
						166,000		169,000	△	3,000	
						165,000		168,000	△	3,000	
	177,000		187,000	△	10,000						

名	品	建	物	單	位	本月ノ價格	前月ノ價格	比	較	增	減						
割	木	對	寸	州	物	桎	木	十	貫	一	把						
(支那品)																	
上	海	米	一	等	品	百	五	十	斤	入	銀	13,800	銀	12,000	○	1,800	
			二	等	品	"	"	"	10,500	"	9,000	○	1,500				
高	梁	三	滿	洲	一	等	品	百	斤	"	"	9,000	"	8,500	○	500	
																	滿
大	麥	同	三	等	品	"	"	"	"	"	"	3,550	"	3,400	○	150	
																	等
小	麥	豆	生	無	殼	一	等	品	一	袋	"	"	4,500	"	4,500	×	—
大	落	花	生	無	殼	一	等	品	一	袋	"	"	7,700	"	8,500	△	800
麥	粉	同	三	等	品	鹿	鹿	鹿	"	"	"	1,900	"	2,100	△	200	
																	鹿
棉	花	一	二	三	鹿	鹿	鹿	"	"	"	"	2,700	"	2,750	△	50	
																	鹿
落	花	生	油	油	粕	肉	上	百	斤	銀兩	27,500	銀兩	25,200	○	2,300		
																落	花
豆	油	油	粕	肉	上	百	斤	銀兩	27,500	銀兩	25,200	○	2,300				
														落	花	生	油
豆	油	油	粕	肉	上	百	斤	銀兩	27,500	銀兩	25,200	○	2,300				
														落	花	生	油
羊	肉	上	百	斤	銀兩	27,500	銀兩	25,200	○	2,300							
											落	花	生	油	油	粕	肉
牛	肉	上	百	斤	銀兩	27,500	銀兩	25,200	○	2,300							
											落	花	生	油	油	粕	肉
豚	肉	上	百	斤	銀兩	27,500	銀兩	25,200	○	2,300							
											落	花	生	油	油	粕	肉
鷄	肉	上	百	斤	銀兩	27,500	銀兩	25,200	○	2,300							
											落	花	生	油	油	粕	肉
鷄	肉	上	百	斤	銀兩	27,500	銀兩	25,200	○	2,300							
											落	花	生	油	油	粕	肉
牛	皮	大	中	小	百	斤	銀兩	21,000	銀兩	26,000	△	5,000					
													中	小	"	"	20,500
牛	骨	大	中	小	百	斤	銀兩	21,000	銀兩	26,000	△	5,000					
													中	小	"	"	20,500
牛	油	大	中	小	百	斤	銀兩	21,000	銀兩	26,000	△	5,000					
													中	小	"	"	20,500
牛	油	大	中	小	百	斤	銀兩	21,000	銀兩	26,000	△	5,000					
													中	小	"	"	20,500
石	灰	大	中	小	百	斤	銀兩	21,000	銀兩	26,000	△	5,000					
													中	小	"	"	20,500

名 品		建 物	單 位	本月ノ價格		前月ノ價格		比 較 增 減	
木	材	同 正 六 分 板	一 坪	金	4,800	金	4,300	○	500
		同 正 一 寸 板	"	"	7,800	"	6,360	○	1,440
		同 一 寸 五 分 角	一 本	"	600	"	480	○	120
		同 二 寸 角	"	"	1,050	"	820	○	236
		同 二 寸ノ三寸	"	"	1,200	"	1,230	△	30
		同 三 寸 角	"	"	2,000	"	1,850	○	150
		同 四 寸 角	"	"	3,800	"	3,260	○	540
		中橫三寸四分ノ五分	一 枚	"	480	"	350	○	130
		大橫三寸七分ノ七分	"	"	650	"	560	○	90
		木 摺	一 坪	"	2,300	"	1,890	○	410
		鹽 地 柚 角	一 才	"	220	"	200	○	20
		桧 柚 角	"	"	220	"	200	○	20
		檜 柚 角	"	"	220	"	220	×	—
		清 津 紅 松 柚 角	"	"	250	"	240	○	10
		北 海 松 角	"	"	180	"	150	○	30
棉	(雜 貨)	菊 花 四 十 二 手 燃 絲	一 俵	銀兩	280,000	銀兩	300,000	△	20,000
		美 人 三 十 二 手	"	"	270,000	"	280,000	△	10,000
		扇 面 十 六 手	"	"	166,000	"	170,000	△	4,000
		福 助 龍	"	"	179,000	"	200,000	△	19,000
		九	一 疋	"	6,100	"	6,400	△	300
	布	龍 C	"	"	6,000	"	6,300	△	300
		太 鼓 天 竺	"	"	3,100	"	3,400	△	300
		天 竺	"	"	2,900	"	3,100	△	200
	油	青 天 金 勝	一 箱	銀	5,100	銀	5,100	×	—
		赤 金 勝	"	"	5,000	"	5,000	×	—
石	油	美 孚	"	"	5,500	"	5,750	△	250
		美 虎	"	"	5,400	"	5,700	△	300
		亞 細 亞 僧 帽	"	"	5,400	"	5,400	×	—
		幸 福 印	"	"	5,400	"	5,450	△	50
	炭	星 印	"	"	5,300	"	5,400	△	10
		人 吉 小 丸	六 貫 俵	金	4,200	金	4,200	×	—
		同 角	"	"	3,900	"	3,900	×	—
		同 上	"	"	3,700	"	3,700	×	—
		丸 角 淺	"	"	3,300	"	3,500	△	200
		淺	"	"	2,900	"	3,200	△	300

品名	建物	單位	本月ノ價格	前月ノ價格	比較増減
錫	劍二	先番	百目	金 1,800	金 2,000 △ 200
	上	"	"	" 900	" 1,000 △ 100
	中	"	"	" 1,700	" 1,900 △ 200
	下	"	"	" 1,500	" 1,700 △ 200
鯉	節	"	"	" 1,300	" 1,500 △ 200
	龜	印	"	" 1,500	" 1,700 △ 200
	松	茸	罐	" 1,000	" 1,100 △ 100
	筍	"	"	" 600	" 680 △ 80
罐詰類	鯉	"	"	" 500	" 500 × 一
	赤	貝	"	" 450	" 450 × 一
	サ	ザ	エ	" 500	" 500 × 一
大小隱	豆	一	升	" 450	" 450 × 一
元	豆	"	"	" 600	" 600 × 一
割	角	"	"	" 450	" 450 × 一
挽	割	"	"	" 500	" 500 × 一
櫻	花	"	"	" 450	" 450 × 一
譽	麥	"	"	" 400	" 400 × 一
片	麥	"	"	" 500	" 500 × 一
へ	栗	一	袋	" 120	" 120 × 一
ツ	ト	三	磅	" 1,500	" 1,500 × 一
ラ	一	"	"	" 1,500	" 1,500 × 一
(建築材料)					
丸	鐵	5/8"—3/4"	十	貫	" 12,000 " 14,000 △ 2,000
鐵	板	十 三 入 3'×6'	一	枚	" 2,400 " 2,800 △ 400
		五 入 二 厘 3'×6'	"	"	" 6,800 " 6,900 △ 100
		平 板 #30—3'×6'	"	"	" 3,250 " 3,400 △ 150
亞	鉛	同 上 #26—3'×6'	"	"	" 4,250 " 4,100 ○ 150
		浪 板 #30—3'×6'	"	"	" 3,400 " 3,200 ○ 200
		同 上 #26—3'×6'	"	"	" 4,200 " 4,100 ○ 100
洋	釘	///—5//	百斤入一樽	銀	17,000 銀 17,000 × 一
		鎔色A 二十八磅入	一	樽	金 5,400 金 5,400 × 一
阿部	ハ イ ン ト	白鉛	同	"	" 10,200 " 10,200 × 一
		淺	野	"	" 15,200 " 15,200 × 一
セ	メ ン ト	小	野	"	" 一 " 一 一
		並 四 分 板	一	坪	" 2,400 " 2,060 ○ 380
		二 間 正 四 分 板	"	"	" 3,800 " 3,090 ○ 710

青島物價表 (大正九年五月末日)

(○印ハ増△印ハ減×印ハ保合)

品名	建	物	單位	本月ノ價格	前月ノ價格	比較増減
白糯米	米	回印特撰赤	一石	金 63,000	金 65,000	△ 2,000
		"	"	" 61,500	" 63,000	△ 1,500
		"	"	" 60,500	" 62,000	△ 1,500
		特撰一	"	" 61,000	" 65,000	△ 4,000
糯米	米	特撰二	"	" 59,000	" 63,000	△ 4,000
		キリシ	四打入一箱	" 22,560	" 22,560	×
		アサ	"	" 22,000	" 22,000	×
		サツ	"	" 21,500	" 22,000	△ 500
麥酒	酒	サツボ	"	" 23,000	" 23,000	×
		青島	"	" 22,000	" 22,000	×
		白真東	四斗五升入一樽	" 93,000	" 93,000	×
		正	"	" 89,000	" 89,000	×
飲料	水	シトロ	"	" 89,000	" 89,000	×
		三ツ矢	四打入一箱	" 13,000	" 13,000	×
		リボン	"	" 13,000	" 13,000	×
		シトロ	"	" 12,000	" 12,000	×
茶	油	正喜撰	一斤	" 1,300	" 1,300	×
		青川	"	" 750	" 750	×
		龜甲	"	" 600	" 650	△ 50
		萬寶	一斗入一樽	" 10,500	" 12,000	△ 1,500
醬油	糖	龜甲	"	" 10,300	" 11,500	△ 1,200
		白中	一斤	" 380	" 350	○ 30
		白庵	"	" 350	" 320	○ 30
		梅干	百目	" 150	" 150	×
漬物	類	奈樂干	"	" 220	" 220	×
		其京	"	" 500	" 500	×
		漬漬	"	" 180	" 180	×
		瓢葺布	"	" 460	" 460	×
乾物	類	干椎昆	"	" 3,000	" 3,500	△ 500
		凍凍	"	" 500	" 500	×
		豆	"	" 280	" 350	△ 70
		腐莢	"	" 150	" 250	△ 100

國	籍	男女別	大連	大神戶	門司他	朝鮮	上海	芝罘	香港	福州	安東縣	マニラ	石臼所	海州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計
獨逸 和蘭 波斯	人	男	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
		女	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	人	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合	計	"	5,916	203	535	17	200	44	34	1	533	2	261	130	237	129	281	143	7,816
		"	609	102	271	4	20	7	2	—	54	1	—	5	84	48	102	73	1,382
	計	男	5,925	305	806	21	220	51	36	1	587	3	251	135	371	177	383	216	9,198
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

青島入港船舶旅客 (大正九年四月中) (●印ハ帆船出
入旅客ヲ示ス)

國 籍	男女別	大連	大神戶	門司 其ノ他	朝鮮	上海	芝罘	天津	營口	福州	安東縣	マニラ	バンタール	ハブール	リアール	アブ サウゼン	孟買	石臼所	海州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計
日 本 人	男	377	391	717	12	41	2			1								1	6					1,548
	女	120	267	512	12	14												1						926
支 那 人	"	3,469	34	13	60	316	160	19	22		618		1,399	1,458	1,498		4506	147	528	416	201	287		11,185
	"	437			5	75	19	1			109							43		274	125	100	128	1,316
英 國 人	"	3		1		13								19	18	12								63
	"					3																		3
露 國 人	"	11				10																		21
	"	35				9																		44
米 國 人	"	1		2		7																		10
	"	1		1		1						3												6
和 蘭 人	"					1																		1
	"																							
獨 逸 人	"																							
	"					1																		1
波 蘭 人	"	3				1																		4
	"	6				1																		7
伊 太 利 人	"					1																		1
	"																							
葡 萄 牙 人	"					1																		1
	"																							
合 計	"	3,864	425	733	72	391	162	19	22	1	648		1,399	1,477	1,516	12	4507	153	528	416	201	287		12,837
	"	599	267	513	17	104	19	1			109	3						44		274	125	100	128	2,303
	計	4,463	692	1,246	89	495	181	20	22	1	757	3	1,399	1,477	1,516	12	4551	153	802	541	301	415		15,140

青島出港船舶旅客 (大正九年五月中) (●印ハ帆船出
入旅客ヲ示ス)

國 籍	男女別	大連	大神戶	門司 其ノ他	朝鮮	上海	芝罘	香港	福州	安東縣	マニラ	石臼所	海州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計
日 本 人	男	308	178	508	15	38	—	2	1	—	—	—	5	—	—	—	—	1,055
	女	93	98	271	3	2	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	469
支 那 人	"	4,696	23	26	2	133	44	—	—	533	—	261	125	287	129	281	143	6,683
	"	507	—	—	1	12	7	—	—	54	—	—	5	84	48	102	73	893
英 國 人	"	2	1	1	—	22	—	32	—	—	—	—	—	—	—	—	—	58
	"	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
露 國 人	"	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
	"	6	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9
米 國 人	"	3	—	—	—	5	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	10
	"	2	—	—	—	5	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	8

出港月日	國籍	船名	登簿噸數	積荷噸數	積荷主要貨物名	本船仕出地
二十日	日本	龍平丸	428	95.1	麥酒, 藥品, 桐材	大連
同日	同	扶桑丸	580	140.0	麥酒, 坊子炭	同上
同日	同	寶山丸	836	399.7	砂糖, 葉煙草	同上
同日	同	神戶丸	1,536	84.4	麥酒, 葉煙草	同上
同日	同	第二十相澤丸	827	1,950.0	鹽	三田尻
同日	同	香取丸	1,528	2,524.6	生牛, 鹽	神戶
二十一日	同	秩父丸	1,061	1,456.1	生牛, 花生實, 骨粉, 牛脂, コークス, 金屬製品, 豆粕,	門司
同日	同	江原丸	426	154.5	葉煙草, 家具, 果實	仁川
二十二日	同	櫛丸	1,345	100.1	葉煙草, 家具	上海
二十三日	同	高洋丸	281	289.6	牛肉紙	門司
同日	米國	ハナメット號	2,073	182.8	牛肉, 卵, 牛脂	浦鹽
同日	日本	新和歌丸	495	850.0	鹽	中ノ關
同日	同	第十六共同丸	917	510.4	生牛, 卷煙草, 綿絲, 木材	大連
同日	同	西京丸	1,511	1,240.6	落花實, 卵, 卵製品, 葉煙草, 花生油	大阪
二十三日	英國	合生號	1,359	1,259.2	花生實, 豆油, 硝子製品	大上
二十四日	同	德安號	1,351	591.4	花生實, 海產物, 金屬製品	同
二十六日	日本	辦天丸	2,612	4,000.0	溜川炭	德山
同日	同	龍平丸	427	173.9	麥酒, 綿絲布	大連
同日	同	第六萬盛丸	770	1,323.2	鹽	函館
同日	同	第五丸	73	20.0	牛肉	下ノ關
同日	同	武德丸	557	72.4	生牛, 金屬	門司
二十七日	同	櫛丸	1,345	143.9	麥酒, 葉煙草	大連
同日	英國	財生號	1,424	456.0	花生實, 穀類及種子	上海
二十八日	日本	永仁丸	402	688.7	生牛, 花生油, 博山炭, コークス	大阪
二十九日	同	第十六共同丸	917	173.7	麥酒, 卷煙草, 綿絲, 麻袋	大仁川
同日	同	寶山丸	836	1,103.7	博山炭	上海
同日	同	益進丸	558	1,027.1	葉煙草, 溜川炭	同上
同日	同	臺北丸	1,522	536.1	花生實, 卵, 葉煙草, 花生油	大阪
三十日	同	江原丸	426	54.9	果實, 葉煙草	大仁川
三十一日	同	櫛丸	1,345	1.5	博山炭	上海
同日	同	平榮丸	664	1,663.0	鹽	新瀉
同日	同	第三大信丸	1,266	3,270.0	鐵礦	八幡

出港月日	國籍	船名	登簿噸數	積荷噸數	積荷主要貨物名	本船仕向地
八日	日本	龍平丸	427	89.6	麥酒, 紙類, 海產物	大連
同	米國	ワレン號	2,510	205.2	牛肉	マニラ
同	英國	廣生號	1,248	834.2	其他ノ動物, 花生油, 繭, 硝子製品	上海
同	日本	第二十一共同丸	705	128.3	果實, 木材	大連
九日	同	東榮丸	465	1,118.0	牛肉, 鹽	若松
同	同	西京丸	1,511	1,138.7	花生實, 卵, 牛皮, 花生油, 桐材	大阪
同	英國	怡生號	1,127	391.7	花生實, 果實, 花生油, 染塗料	香港
十日	日本	福井丸	686	1,045.0	鹽	函館
同	同	神戶丸	1,536	101.9	果實, 麥酒	大連
十一日	英國	穎州號	1,216	428.6	花生實, 絹屑絲, 木材	上海
十二日	日本	玄海丸	784	1,300.0	鹽	中ノ關
同	同	松島丸	253	145.3	牛肉, 獸骨, 牛脂	長崎
同	同	江陽丸	839	1,400.0	溜川炭	德山
同	同	扶桑丸	580	1,190.2	卵製品, 葉煙草, 花生油	上海
同	同	江原丸	426	75.0	食料品, 葉煙草	仁川
同	同	寶山丸	836	1,244.8	葉煙草, 博山炭	上海
十三日	同	辨天丸	2,612	4,200.9	溜川炭	德山
同	同	燧洋丸	654	1,300.0	鹽	若松
同	同	第十六共同丸	917	14.6	牛肉, 紙類	大連
十四日	同	第五丸	73	25.4	牛肉, 鮮魚界	下ノ關
同	同	龍平丸	427	154.3	麥酒, 綿絲	大連
同	同	第二御崎丸	543	592.0	溜川炭	上海
同	同	神戶丸	1,536	89.2	卷煙草	同
十五日	同	第九萬盛丸	276	500.0	鹽	函館
同	同	臺北丸	1,522	1,545.1	生實, 牛肉, 卵, 花生油, 牛脂, 桐材	門司
同	同	神福丸	1,298	3,350.0	鐵礦	八幡
同	英國	鎮安號	3,620	1,106.2	花生油, 同實, 海產物	上海
十六日	日本	關東丸	879	2,300.0	鐵礦	八幡
同	同	彌榮丸	355	950.0	溜川炭	德山
十七日	同	湖北丸	1,610	25.8	綿布	天津
十八日	同	惠山丸	2,294	4,160.0	溜川炭	八幡
同	同	大保丸	453	980.0	鹽	若松
同	同	第十六共同丸	917	425.7	食料品, 花生油, 車輛	大連
十九日	同	薩摩丸	1,122	1,035.7	花生實, 牛肉, 卵, 花生油, 桐材	大阪
同	英國	鎮安號	1,354	412.3	花生實	上海
二十日	日本	第三大信丸	1,266	3,266.0	鐵礦	八幡

入港月日	國籍	船名	登簿噸數	揚荷噸數	揚荷主要貨物名	本船仕出地
二十四日	日本	龍平丸	427	85.9	卷煙草, 綿絲, 木材, 硝子製品	大連
二十五日	同	海州丸	75	60.7	食料品, 油類	海州
二十六日	英國	財生號	1,424	77.0	茶, 食料品, 綿絲, 鐵	上海
同日	日本	永仁丸	402	312.4	麥酒, 麻袋, 鐵, 燐寸材料, 車輛	神戶
同日	同	辨天丸	2,612	562.0	木材	德島
同日	同	臺北丸	1,522	557.8	食料品, 綿絲布, 陶磁器, 金屬製品, 機械	大阪
二十七日	同	第十六共同丸	917	150.3	麥粉, 綿絲, 木材	大連
同日	同	寶山丸	836	694.3	綿絲布, 棉花, 支那紙, 金屬品, 竹材	上海
同日	同	楠進丸	1,345	54.3	茶, 石鹼, 洋雜貨, 金屬製品, 箱材	同上
同日	同	益進丸	558	270.0	食料品, 綿絲, 石油空罐	同上
同日	同	第三萬盛丸	397	201.2	硝子製品, 木材, 木炭, 蕨類	門司
二十九日	同	第五萬盛丸	857	742.8	燐寸, 鐵, 金屬製品, 機械, 燐寸材料, 蕨	大阪
同日	同	江原丸	426	51.0	醬油, 味噌, 卷煙草, 染塗料, 硝子製品	大仁
三十日	同	海州丸	75	54.8	食料品	海州
同日	同	龍平丸	427	56.8	日本酒, 綿布, 鐵, 硝子製品	大連
三十一日	同	金昇丸	501	315.6	木材	仁川
同日	同	薩摩丸	1,122	369.7	日本酒, 食料品, 藥品, 綿絲布, 洋雜貨, 金屬製品	大阪
同日	同	楠進丸	1,345	11.3	機械, 電氣用品	大連
同日	英國	穎州號	1,216	838.7	綿布, 卷煙草, 家具, 砂糖, 卷煙草, 藥品, 綿絲布, 洋雜貨, 支那紙, 鐵, 電氣用品	上海

◁ 入 港 之 部 ▷

出港月日	國籍	船名	登簿噸數	積荷噸數	積荷主要貨物名	本船仕向地
五月二日	日本	龍平丸	427	141.6	綿絲, 紙類	大連
同日	同	神戶丸	1,536	81.5	葉煙草, 家具	大同
三日	同	神福丸	1,298	3,300.0	鐵礦	八幡
同日	支那	得利號	646	382.7	牛皮, 明水炭	安東縣
同日	英國	德安號	5,780	648.9	花生實, 同油, 絹屑絲, 硝子製品	長崎
四日	日本	扶桑丸	580	1,138.3	葉煙草, 淄川炭, 坊子炭	上海
同日	同	扶海丸	784	162.8	麥酒, 藥品, 麻袋, 金屬製品	大連
同日	同	關東丸	879	2,200.0	鐵礦	八幡
同日	同	寶山丸	836	1,122.0	卵製品, 葉煙草, 博山炭, コーコス	上海
五日	同	薩摩丸	1,122	788.2	花生油, 同實, 卵, 牛皮, 桐材, 麥稈真田	大阪
同日	同	神戶丸	1,536	278.2	卵製品, 葉煙草, 綿絲	上海
六日	同	惠山丸	2,294	4,140.0	鐵礦	八幡
八日	同	海和丸	649	287.9	麥酒, 綿絲	天津

入港月日	國籍	船名	登噸數	揚噸數	揚荷主要貨物名	本船仕向地
十一日	日本	寶山丸	836	616.3	麥粉, 染塗料, 支那紙, 機械, 竹材, 蔴	上海
同日	同	第九萬盛丸	276	358.9	藥品, 染塗料, 蔴袋, 鐵, 燐寸材料, 箱材	大阪
十二日	同	潮州丸	1,134	637.1	食料品, 金屬製品, 車輛, 家具	橫濱
同日	同	臺北丸	1,522	369.1	石鹼, 綿絲布, 洋雜貨, 金屬製品, 家具	大阪
同日	同	龍平丸	427	138.0	高粱, 醬油, 棉花, 硝子及同製品	大連
十三日	同	第二御崎丸	543	520.3	藥品, 綿絲, 木材, 燐寸材料	大阪
十四日	同	秩父丸	1,061	1,482.1	木材	釧路
同日	同	彌榮丸	455	524.5	竹材, 木材, 蔴類, 箱材	下關
同日	同	神戶丸	1,536	84.3	卷煙草, 綿絲布	大連
同日	同	海州丸	75	100.0	食料品	海州
十六日	同	タスカルサ號	4,052	3,792.8	石油	"
同日	同	陽和丸	820	1,240.5	木材	小樽
同日	同	第二十二相澤丸	827	31.9	硝子及同製品	長崎
同日	同	薩摩丸	1,122	545.9	藥品, 綿布, 硝子製品, 金屬製品, 蔴類, 箱材	大阪
同日	同	大寶丸	453	430.5	硝子及同製品, 木材, 木炭, 蔴類, 箱材	門司
同日	支那	新利號	720	421.4	木材	安東縣
十七日	英國	鎮安號	1,354	1,640.5	麥粉, 砂糖, 卷煙草, 綿絲, 洋雜貨, 支那紙, 鐵	上海
同日	日本	湖北丸	1,610	111.6	麥粉	高雄
同日	同	第十六共同丸	917	213.1	高粱, 燐寸, 綿絲, 木材	大連
十八日	同	龍平丸	427	144.3	清涼飲料, 綿絲	同
十九日	英國	昌陞號	1,256	2.1	卷煙草	芝罘
同日	日本	扶桑丸	580	268.1	石油, 棉花, 車輛, 竹材, 木材	上海
同日	同	寶山丸	836	750.1	麥粉, 油類, 竹材, 木材	同
二十日	同	海州丸	75	45.2	食料品	海州
同日	同	神戶丸	1,536	30.3	食料品, 石鹼, 車輛, 家具	上海
同日	同	江原丸	426	41.9	醬油, 硝子及同製品, 卷煙草	仁川
同日	同	高洋丸	281	73.8	染塗料, 硝子及同製品, 木炭	門司
二十二日	同	ハナメット號	2,073	107.5	海產物	浦鹽
二十二日	同	第五丸	73	1.0	蔴	下關
二十一日	同	新和歌丸	495	701.3	藥品, 硝子, 鐵, 燐寸材料, 木炭, 蔴類	神戶
同日	同	西京丸	1,511	596.1	食料品, 藥品, 綿絲布, 金屬製品, 機械	大阪
二十二日	同	楠丸	1,345	40.9	日本酒, 硝子製品	大連
同日	英國	合生號	1,359	565.6	麥粉, 卷煙草, 藥品, 綿絲, 竹材	上海
同日	日本	第十六共同丸	917	55.2	麥粉, 藥品, 硝子製品	芝罘
二十三日	英國	德安號	1,351	733.3	麥粉, 砂糖, 卷煙草, 藥品, 蔴袋, 洋雜貨, 支那紙, 鐵	上海
同日	日本	第六萬盛丸	770	206.6	箱材, 蔴類, 箱材	門司

青島港出入船舶細別表

大正九年五月中 空船ヲ除ク

◁ 入 港 之 部 ▷

入港月日	國籍	船名	登簿噸數	揚荷噸數	揚荷主要貨物名	本船仕出地
五月一日	日本	惠山丸	2,294	1,325.0	金屬製品	八幡松
同日	同	神福丸	1,208	3,300.0	鹽	若松
二日	同	神戶丸	1,536	94.0	茶, 麥酒, 鐵, 染塗料, 竹材	上海
同日	同	玄海丸	784	119.5	高粱, 石鹼, 染塗料	連大
同日	同	薩摩丸	1,122	904.9	食料品, 洋雜貨, 硝子製品, 金屬製品, 蔴	大阪
同日	支那	得利號	329	197.2	清涼飲料, 食料品, 藥品, 箱材	連大
同日	同	宏利號	646	1,000.0	木材	安東縣
同日	日本	龍平丸	427	141.6	綿絲	連大
三日	英國	浙江號	1,313	1,071.3	セメント	天津
同日	日本	寶山丸	836	722.5	麥粉, 石油, 支那紙, 竹材	上海
同日	英國	德安號	1,351	933.9	砂糖, 卷煙草, 綿絲布, 麻袋, 支那紙, 鐵, 木材	同天津
四日	日本	基隆丸	962	20.6	棉花	連大
五日	同	神戶丸	1,536	63.7	藥品, 家具	大阪
六日	同	海和丸	649	960.6	食料品, 藥品, 燐寸, 硝子製品, 鐵, 木材, 燐寸材料	同大阪
同日	同	西京丸	1,511	695.7	食料品, 綿絲布, 洋雜貨, 金屬製品, 家具	同
同日	同	龍平丸	427	263.4	高粱, 清涼飲料, 卷煙草, 淄川炭	連大
七日	同	第三福井丸	686	1,260.0	日本炭	同
七日	米國	ワーレン號	2,510	9.5	車輛	マニラ
八日	同	玄海丸	784	239.3	撫順炭, 木材	連大
同日	同	第二十一共同丸	705	10.1	蔴類, 家具	牛莊
同日	英國	廣生號	1,127	451.4	米, 麥粉, 卷煙草, 綿絲, 支那紙	上海
九日	同	穎州號	1,216	892.6	麥粉, 砂糖, 綿絲, 洋雜貨, 支那紙, 鐵	同
同日	日本	松島丸	253	180.4	石鹼, 硝子及同製品	長崎
同日	同	海州丸	75	38.0	食料品, 豆粕	海州
十日	同	辨天丸	2,612	452.0	木材	德山
同日	同	神戶丸	1,536	20.3	鐵, 金屬製品, 電氣用品	上海
同日	同	江陽丸	839	523.0	木材	門司
同日	同	扶桑丸	580	555.0	茶石油, 染塗料, 金屬製品, 竹材	上海
同日	露國	アストラハン號	1,511	43.6	卷煙草, 金屬製品	同
十一日	支那	萬利號	653	203.4	卷煙草, 支那紙	同
同日	日本	江原丸	426	80.1	卷煙草, 硝子及同製品	仁川

青島屠獸場屠殺數 (六月中)

日次		牛	犢	豚	羊	山羊	計
一	日	49	—	27	1	—	77
二	日	50	—	27	2	—	79
三	日	218	—	29	—	—	247
四	日	9	—	30	2	—	41
五	日	171	2	53	2	—	228
七	日	221	—	30	—	—	251
八	日	10	1	24	2	—	37
九	日	5	—	28	1	—	34
十	日	46	2	33	2	—	83
十一	日	28	—	31	2	—	61
十二	日	263	2	54	2	—	321
十三	日	6	2	29	1	—	38
十四	日	27	1	32	2	—	62
十五	日	250	1	39	2	—	292
十六	日	11	—	59	2	—	72
十七	日	12	1	143	2	—	158
十八	日	17	1	131	3	—	152
十九	日	15	1	16	1	—	33
二十	日	31	2	27	4	—	64
二十一	日	50	1	29	1	—	81
二十二	日	24	—	32	2	—	58
二十三	日	11	1	35	2	—	49
二十四	日	30	1	58	3	—	92
二十五	日	19	—	33	2	—	54
二十六	日	10	—	36	1	—	47
二十七	日	10	—	31	2	—	43
合計		1,593	19	1,096	46	—	2,754
前年六月中		376	11	623	45	—	1,055

出港汽船積荷噸數仕向地別 (大正九年四月中)

汽船國籍別	日本 內地	仁川	釜 山	其ノ他 朝鮮	臺灣	大連	上 海	芝罘	天津	其ノ他 支那港	香港	浦 鹽	マ ニ ラ	其ノ他 外 國	計
日 本 船	44,345.1	761.0	1,930.0	243.4	381.5	2,198.2	8,750.7	12.0	1,391.0	207.5	151.6	—	—	127.5	60,499.5
英 國 船	—	—	—	—	—	—	2,101.5	—	—	3,288.8	603.8	—	—	—	5,994.1
米 國 船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	162.9	—	162.9
露 國 船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
支 那 船	—	—	—	—	—	—	1,002.8	249.3	—	—	—	—	—	—	1,252.1
合 計	44,345.1	761.0	1,930.0	243.4	381.5	2,198.2	11,855.0	261.3	1,391.0	3,496.3	755.4	—	162.9	127.5	67,908.6

青島大港兩驛乘降客人員 (大正九年五月中)

驛 別	一 等 車		二 等 車		三 等 車		計	
	乘	降	乘	降	乘	降	乘	降
青 島 驛	232	242	827	1,177	29,926	40,443	30,985	41,862
大 港 驛	30	9	523	98	15,423	445	15,976	552
合 計	262	251	1,350	1,275	45,349	40,888	46,961	42,414
昨 年 五 月 中	186	217	651	600	28,935	28,367	29,772	29,184

仕出地	日本船			英國船			米國船			支那船			計		
	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數
天津	—	—	—	2	2,569	—	—	—	—	—	—	—	2	2,569	—
其他支那諸港	18	3,253	—	—	—	—	—	—	—	1	1,071	—	19	4,324	—
香港	—	—	—	1	5,853	—	—	—	—	—	—	—	1	5,853	—
鹽刺灣	1	336	—	—	—	—	—	—	—	1	554	—	2	890	—
麻臺	—	—	—	—	—	—	1	2,510	—	1	859	—	2	3,369	—
其他外國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	85	64,930	—	11	3,2626	—	1	2,510	—	6	3,471	—	103	133,597	—

出港汽船仕向地及國籍別 (大正九年四月中)

仕向地	日本船			英國船			米國船			支那船			計		
	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數
日本內地	27	29,909	—	2	12,373	—	—	—	—	—	—	—	29	42,282	—
仁川	3	1,557	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1,557	—
釜山	3	2,084	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	2,084	—
其他朝鮮	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大連	22	18,401	—	—	—	—	—	—	—	4	1,846	—	26	20,247	—
上海	12	10,222	—	7	17,855	—	1	4,351	—	2	1,629	—	22	34,957	—
芝罘	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	883	—	2	883	—
天津	3	3,105	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3,105	—
其他支那諸港	18	1,480	—	—	—	—	1	2,510	—	—	—	—	19	3,990	—
香港	1	1,473	—	2	2,398	—	—	—	—	—	—	—	3	7,871	—
鹽刺灣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
麻臺	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他外國	1	4,235	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	4,235	—
合計	90	72,466	—	11	32,626	—	2	6,861	—	8	4,353	—	111	116,311	—

入港汽船揚荷噸數仕出地別 (大正九年四月中)

汽船國籍別	日本內地	仁川	釜山	其 他 朝鮮	臺灣	大連	上海	芝罘	天津	其 他 支那港	香港	浦鹽	マニラ	其 他 外國	計
日本船	13,914.8	254.9	—	—	7.2	1,541.5	3,997.7	72.6	—	220.6	—	598.1	—	—	20,607.4
英國船	—	—	—	—	—	—	4,139.9	2,225.7	2,107.2	62.2	1,605.3	—	—	53.5	10,193.8
米國船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.0	6,415.0	6,422.0
露國船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
支那船	—	—	—	—	—	136.4	—	—	—	—	251.3	269.0	—	—	656.7
合計	13,914.8	254.9	—	—	7.2	1,677.9	8,137.6	2,298.3	2,107.2	282.8	1,856.6	867.1	7.0	6,468.5	37,879.9

品 目	單位	日本内地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
石 炭 (日本)	噸	—	—	—	—	—	—
石 炭 (開平)	"	—	—	—	—	—	—
石 炭 (大崑崙)	"	—	—	—	—	—	—
コ ー ク ス	"	265.4	0.2	—	0.2	—	265.8
陶 磁 器	"	—	—	—	—	—	—
硝子及同製品	"	—	6.1	—	19.3	—	25.4
鐵 (古鐵ヲ含ム)	"	802.8	—	—	158.9	—	961.7
銅 (真 餘) 塊	"	—	—	—	—	—	—
其ノ他金屬	"	88.0	—	—	0.4	—	88.4
金屬製品	"	81.4	—	—	17.0	—	98.4
機 械	"	0.3	—	—	—	—	0.3
車 輛	"	0.1	—	—	—	—	0.1
桐 材	"	1,547.5	6.0	—	2.9	—	1,556.4
其ノ他木材	"	5.8	43.6	—	40.5	—	89.9
麥 稈 眞 田	"	184.8	11.9	—	12.2	—	208.9
家 具	"	6.8	7.1	—	54.6	—	68.5
豆 粕	"	945.7	—	—	—	—	945.7
燐 寸	"	—	—	—	—	—	—
セ メ ン ト	"	—	—	—	—	—	—
石 油	"	—	—	—	—	—	—
鐵 鑛	"	19,900.0	—	—	—	—	19,900.0
鐵 石	"	—	—	—	—	—	—
金銀銅貨紙幣	"	0.1	—	—	7.4	—	7.5
其ノ他	"	51.4	6.4	—	85.3	0.7	143.8
合 計	"	44,345.1	2,934.4	381.5	19,201.8	1,045.8	67,908.6

入港汽船仕出地及國籍別 (大正九年四月中)

仕 出 地	日 本 船			英 國 船			米 國 船			支 那 船			計		
	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數
日 本 内 地	26	24,573	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	26	24,573	—
仁 川	7	4,585	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	4,585	—
釜 山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其 他 朝 鮮	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大 連	17	13,246	1	1,142	—	—	—	—	3	987	21	15,375	—	—	—
上 海	16	18,997	4	5,277	—	—	—	—	—	—	20	24,274	—	—	—
芝 罘	—	—	1	4,346	—	—	—	—	—	—	1	4,436	—	—	—

品 目			單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
豆	素	麵	噸	—	—	—	—	—	—
雞		卵	"	338.6	5.7	—	—	—	344.3
卵	製	品	"	15.8	—	—	116.8	—	132.6
麥		酒	"	0.2	20.0	—	812.0	—	832.2
其ノ他		酒類	"	16.7	3.8	—	6.0	—	26.5
鹽			"	7,870.0	1,930.0	—	—	—	6,800.0
其ノ他	食料	品	"	15.7	156.1	—	—	—	171.8
卷	(刻ミ)	煙草	"	—	—	—	—	—	—
葉	煙	草	"	70.4	637.0	381.5	5,891.1	—	6,980.0
獸		骨	"	536.5	—	—	—	—	536.5
骨		粉	"	151.7	—	—	—	—	151.7
牛		皮	"	103.1	—	—	1.8	—	104.4
其ノ他	獸	皮	"	—	—	—	13.2	—	13.2
羊		毛	"	106.3	—	—	14.7	—	121.0
豚		毛	"	—	—	—	15.7	—	15.7
落	花	生	"	1,265.1	—	—	1,711.8	211.6	3,188.5
豆		油	"	—	—	—	—	—	—
牛		脂	"	385.0	—	—	8.8	—	393.8
豚		脂	"	—	—	—	—	—	—
蓖	麻	子	"	—	—	—	—	—	—
其ノ他	油	類	"	0.2	—	—	—	—	0.2
藥		品	"	3.0	7.3	—	7.5	3.0	20.8
染	料	及	"	0.5	—	—	9.5	17.1	27.1
綿		絲	"	—	—	—	895.0	—	895.0
絹		絲	"	—	—	—	35.0	—	35.0
絹	屑	絲	"	—	—	—	94.8	—	94.8
麻			"	0.8	—	—	—	—	0.8
棉		花	"	—	45.0	—	62.5	—	107.5
繭	(屑ヲ含ム)		"	—	—	—	27.9	—	27.9
繭		布	"	—	—	—	3.6	—	3.6
絹		布	"	—	—	—	—	—	—
麻		袋	"	—	—	—	37.5	—	37.5
紙		類	"	—	—	—	12.1	—	12.1
石	炭	(淄川)	"	6,600.0	0.1	—	4,300.0	—	10,900.1
石	炭	(博山)	"	1.3	—	—	240.6	—	241.9
石	炭	(撫順)	"	—	—	—	—	—	—

品 目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支 那	其ノ他外國	計
車 輛	噸	87.3	—	—	489.2	7.0	583.5
竹 材	"	29.5	—	—	1,637.7	—	1,667.2
木 材 (板ヲ含ム)	"	4,319.0	—	—	309.6	53.5	4,682.1
燐 寸 材 料	"	458.7	—	—	—	—	458.7
木 炭	"	379.3	—	—	—	—	379.3
庭 類	"	997.5	67.0	—	4.5	9.7	1,078.7
家 具	"	91.6	15.3	6.8	41.3	4.4	159.4
豆 粕	"	—	—	—	47.5	—	47.5
阿 片	"	—	—	—	—	—	—
石 油 空 罐	"	—	—	—	—	—	—
箱 材	"	170.3	—	—	73.1	—	243.4
金 銀 銅 貨 紙 幣	"	0.2	—	—	1.2	—	1.4
其 ノ 他	"	670.3	1.9	0.4	211.7	103.1	987.4
合 計	"	13,914.8	254.9	7.2	14,503.8	9,199.2	37,879.9

埠頭船積貨物噸數仕向地別 (大正九年四月中)

品 目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支 那	其ノ他外國	計
生 牛	噸	157.0	—	—	16.0	—	173.0
其 ノ 他 動 物	"	—	—	—	—	—	—
落 花 生 實	"	1,442.1	2.7	—	4,388.3	591.7	6,424.8
豆 類	"	—	—	—	—	—	—
小 麥	"	90.0	—	—	—	—	90.0
其ノ他穀類及種子	"	408.2	0.9	—	—	—	409.1
麥 粉	"	—	—	—	—	—	—
蔬 菜	"	—	—	—	—	—	—
果 實	"	—	44.5	—	36.2	50.3	131.0
核 子	"	—	—	—	—	9.2	9.2
白 砂 糖	"	83.3	—	—	20.0	—	103.3
赤 砂 糖	"	—	—	—	—	—	—
冰 砂 糖	"	—	—	—	—	—	—
鮮 魚 介	"	—	—	—	—	—	—
其ノ他海產物	"	0.2	—	—	—	—	0.2
牛 肉	"	803.3	—	—	24.7	162.2	990.2
鹽 豚 肉	"	—	—	—	—	—	—
其 他 獸 肉	"	—	—	—	—	—	—

品 目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
醬油	噸	18.7	10.0	—	13.0	—	41.7
味噌	〃	4.7	3.9	—	8.0	—	16.6
其ノ他食料品	〃	190.3	17.5	—	156.9	77.1	441.8
卷(刻ミ)煙草	〃	174.8	25.3	—	1,281.9	—	1,482.0
皮革類	〃	12.1	—	—	3.0	15.8	30.9
石 油	〃	0.6	—	—	1,819.0	6,317.1	8,136.7
桐 油	〃	—	—	—	50.1	—	50.1
其ノ他油類	〃	51.5	—	—	42.4	—	93.9
蠟 燭	〃	0.3	—	—	0.2	—	0.5
石 鹼	〃	101.4	—	—	18.4	—	119.8
藥 品	〃	327.7	—	—	199.2	171.0	697.9
磷 寸	〃	305.1	—	—	83.1	—	388.2
染料及塗料	〃	207.3	9.6	—	232.6	158.1	607.6
綿 絲	〃	272.5	—	—	721.2	—	993.7
絹 絲	〃	—	—	—	—	—	—
麻	〃	8.6	—	—	8.0	—	16.6
棉 花	〃	4.9	—	—	126.3	—	131.2
綿 布	〃	691.4	30.3	—	389.7	—	1,111.4
絹 布	〃	—	—	—	4.5	—	4.5
麻 袋	〃	52.6	—	—	—	96.2	148.8
洋 物 雜 貨	〃	287.7	1.4	—	248.5	113.3	650.9
日 本 紙	〃	58.6	—	—	10.3	—	68.9
洋 紙	〃	186.6	—	—	65.4	—	252.0
支 那 紙	〃	—	—	—	1,483.5	1.8	1,485.3
石 炭 (撫順)	〃	—	—	—	130.3	—	130.3
石 炭 (日本)	〃	100.1	—	—	—	—	100.1
石 炭 (開平)	〃	—	—	—	—	—	—
セメント	〃	713.0	—	—	2,463.1	—	3,176.1
煉 瓦 及 瓦	〃	57.4	—	—	3.0	—	60.4
陶 磁 器	〃	95.9	—	—	3.8	—	99.7
硝子及同製品	〃	302.4	16.3	—	16.2	—	334.9
鐵 (古鐵ヲ含ム)	〃	760.9	—	—	410.6	541.9	1,713.4
其ノ他金屬	〃	115.0	—	—	4.0	—	119.0
金屬製品	〃	560.7	0.1	—	148.1	6.9	715.8
機 械	〃	87.3	—	—	140.6	—	227.9
電 氣 用 品	〃	147.1	—	—	8.1	11.2	166.4

品 目	發 著	青 島 驛		大 港 驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
其 他	發 著	49.0 183.5	48.4 21.5	27.3 146.4	3.1	44.3 231.2	3.7 0.8	172.7 586.5
豚	"	62	—	—	—	—	—	62
羊	"	—	—	—	—	—	—	—
騾 及 驢 馬	"	—	—	—	—	—	—	—
馬	"	—	—	—	—	—	—	—
牛	"	25 1,951	—	—	—	—	—	25 1,952
合 計	"	7,272.2 7,314.8	720.4 173.8	2,040.4 6,946.5	8.0	3,340.7 7,550.6	18.0 0.9	13,391.7 21,994.6

埠頭陸揚貨物噸數仕出地別 (大正九年四月中)

品 目	單 位	日 本 內 地	朝 鮮	臺 灣	支 那	其ノ他外國	計
白 豆	米 噸	—	39.6	—	83.0	26.8	149.4
高 玉	"	4.7	3.1	—	9.5	—	17.3
蜀 梁 黍 麥	"	—	—	—	295.3	—	295.3
小 麥	"	—	—	—	—	—	—
其ノ他穀類及種子	"	7.6	—	—	99.3	—	106.9
麥 粉	"	220.7	—	—	268.2	—	488.9
蔬 菜	"	162.3	—	—	0.3	—	162.6
果 實	"	127.0	—	—	19.5	19.0	165.5
茶	"	7.0	—	—	125.4	—	132.4
白 砂 糖	"	—	—	—	17.0	297.5	314.5
赤 砂 糖	"	—	—	—	5.0	197.9	202.9
冰 砂 糖	"	—	—	—	40.7	93.0	133.7
鮮 魚 介 殼	"	28.3	—	—	12.6	—	40.9
昆 布 及 海 草	"	65.2	—	—	—	—	65.2
其ノ他海產物	"	58.2	7.6	—	309.8	876.9	1,252.5
日 本 酒	"	61.5	6.0	—	14.4	—	81.9
洋 酒	"	29.9	—	—	22.4	—	52.3
支 那 酒	"	—	—	—	15.2	—	15.2
麥 酒	"	22.9	—	—	—	—	22.9
清 涼 飲 料	"	18.6	—	—	57.4	—	76.0

品目	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
藥品及藥材	發著	53.2	13.0	—	—	—	4.9	71.1
		3.7	1.4	5.0	0.1	—	—	10.2
曹達	"	40.5	0.6	—	—	—	1.9	43.0
	"	—	—	—	—	—	—	—
石鹼	"	—	7.7	—	—	—	—	7.7
	"	—	—	—	—	—	—	—
煙草	"	3.9	24.7	—	—	187.4	—	216.0
	"	8.0	0.9	—	—	—	—	8.9
葉煙草	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
	"	22.6	2.3	43.2	0.1	904.8	—	973.0
茶	"	10.5	0.7	—	—	—	—	11.2
	"	13.0	0.2	3.4	—	—	—	16.6
豚毛	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	35.2	2.0	—	—	—	—	37.2
羊毛	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
獸骨	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	313.0	0.2	25.5	—	21.3	—	360.0
牛皮	"	3.1	0.5	—	—	—	—	3.6
	"	15.1	1.2	0.8	—	17.6	—	34.7
豚皮	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	52.0	1.0	—	—	—	—	53.0
魚類	"	2,069.9	51.2	33.6	—	30.0	—	2,184.7
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
昆布其ノ他海草	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
	"	—	—	—	—	—	—	—
筴	"	—	—	29.9	—	466.6	0.1	496.6
	"	—	—	—	—	—	—	—
木粉	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	14.7	—	—	—	—	—	14.7
雜貨(表中記載ノモノヲ除ク)	"	575.2	8.8	18.9	—	—	0.2	603.1
	"	57.2	15.8	0.6	0.1	8.0	—	81.7
燐寸	"	42.1	2.6	331.6	—	—	—	376.3
	"	—	—	—	—	—	—	—
燐寸材料	"	—	—	22.9	—	168.1	—	191.0
	"	2.5	—	—	—	—	—	2.5
火藥類	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
銅貨	"	—	4.5	40.7	—	—	—	45.2
	"	6.4	11.9	—	—	—	—	18.3
青銅錢	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
銅	"	—	1.1	—	—	—	—	1.1
	"	3.1	0.2	—	—	—	—	3.3
家具	"	—	2.1	4.2	—	—	0.6	6.9
	"	6.2	6.5	0.8	0.2	—	—	7.7
麻袋及布袋	"	50.9	36.4	5.0	—	65.3	—	157.6
	"	4.0	30.6	1.9	—	—	—	36.5

品目	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
瓜及西瓜	發著	—	—	—	—	—	—	—
瓜子	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	9.6	0.8	—	—	—	—	10.4
果實(表中記載ノモノヲ除ク)	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
石油	"	—	—	693.0	—	636.3	—	1,329.3
	"	—	0.3	—	—	—	—	0.3
落花生油	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	87.2	—	3,388.4	0.4	—	—	3,476.0
豆油	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	238.9	—	257.0	—	—	—	495.9
牛油	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	4.6	0.3	7.1	—	—	—	12.0
油類(表中記載ノモノヲ除ク)	"	3.8	4.7	—	—	7.6	—	16.1
	"	7.8	4.3	3.0	0.8	—	—	15.9
油粕	"	430.9	0.2	—	—	117.7	0.5	549.3
	"	15.0	—	37.9	—	74.9	—	127.8
肥料各種	"	—	0.9	74.6	—	1.0	—	76.5
	"	—	—	—	—	—	—	—
麥稈眞田	"	—	2.0	—	—	—	—	2.0
	"	202.1	0.7	8.0	—	—	—	210.8
安平	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	201.6	0.2	10.1	—	—	—	211.9
藁及粟稈	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	83.9	—	25.0	—	—	—	108.9
鹽	"	—	0.9	—	—	—	—	0.9
	"	—	—	—	—	—	—	—
砂糖	"	434.3	3.1	61.3	—	27.0	—	526.7
	"	—	—	—	—	—	—	—
日本酒	"	—	8.8	—	—	—	—	8.8
	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
ビール	"	8.8	10.2	19.8	—	—	—	38.8
	"	—	0.3	—	—	—	—	0.3
支那酒	"	—	1.1	—	—	—	—	1.1
	"	1.6	8.5	—	0.2	—	—	10.3
食料品(表中記載ノモノヲ除ク)	"	280.3	29.0	—	—	—	1.2	310.5
	"	1.8	5.7	23.3	0.2	—	0.1	31.1
乾物	"	2.1	2.4	26.3	—	—	—	30.8
	"	3.8	0.3	—	—	15.0	—	19.1
野菜	"	1.8	2.2	2.8	—	—	—	6.8
	"	4.1	1.7	—	—	—	—	5.8
鷄卵	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	5.6	39.8	146.1	0.4	7.1	—	195.0
藍	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
染塗料	"	30.8	5.6	—	—	—	1.0	37.4
	"	65.2	1.8	—	0.2	—	—	67.2

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
大 豆	發 著	12.6	—	—	—	—	—	12.6
		240.0	—	—	—	—	—	240.0
豆 類(大豆ヲ除ク)	"	25.3	0.4	12.2	—	—	—	37.9
	"	215.5	0.3	—	—	—	—	215.8
高 粱	"	502.5	0.4	72.8	—	150.0	—	726.0
	"	—	—	28.8	0.7	—	—	29.5
小 麥	"	134.1	—	—	—	13.0	—	147.1
	"	—	—	—	—	—	—	—
米	"	37.2	20.7	9.4	—	—	—	67.3
	"	704.0	—	59.7	—	—	—	763.7
穀 類(表中記載ノモノヲ除ク)	"	460.2	1.5	78.1	—	—	—	539.8
	"	172.6	0.1	—	—	—	—	172.7
落 花 生	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	151.7	—	209.2	—	2,218.4	—	2,579.3
麥 粉	"	7.4	0.5	—	—	15.0	—	22.9
	"	289.1	0.9	—	—	—	—	290.0
陶 磁 器 及 土 器	"	—	1.3	—	—	—	—	1.3
	"	109.5	0.4	49.0	—	—	—	158.9
支 那 紙	"	223.3	2.6	—	—	62.2	—	298.1
	"	—	1.5	8.6	0.1	—	—	10.2
紙 (支那紙ヲ除ク)	"	14.6	0.7	35.5	—	28.5	0.3	79.6
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
麻	"	—	0.4	—	—	—	—	0.4
	"	9.4	—	—	—	—	—	9.4
綿	"	3.6	0.1	0.7	—	267.0	—	271.4
	"	17.8	—	31.4	—	—	—	49.2
綿 布	"	71.4	53.6	18.5	—	—	—	143.5
	"	0.1	6.0	—	—	—	—	6.1
綿 絲	"	585.1	314.3	8.1	—	—	—	907.5
	"	—	—	273.6	—	—	—	273.6
綿 製 品	"	1.7	4.1	—	—	—	—	5.8
	"	—	2.9	—	—	—	—	2.9
絹 絲 (屑ヲ含ム)	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	1.6	0.5	—	—	2.5	—	4.6
絹 布 類	"	—	0.4	—	—	—	—	0.4
	"	—	2.7	—	—	0.5	—	3.2
繭 (屑繭ヲ含ム)	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	12.8	0.2	63.0	—	—	—	76.0
棗	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	"	11.2	0.1	—	—	—	—	11.3
梨	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	"	—	—	—	—	—	—	—
乾 柿	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	5.1	—	—	—	—	—	5.1
胡 桃	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	1.5	0.2	—	—	—	—	1.7
蜜 柑	"	—	2.1	—	—	—	—	2.1
	"	—	—	—	—	—	—	—

品 目	單位	上 海	芝 罘	大 連	其 ノ 他	合 計
石 鹼 條 形 担		34	—	—	—	34
麥 稈 眞 田 〃		—	—	—	—	—
砂 糖 (赤) 〃		—	—	—	—	—
同 (白) 〃		—	—	—	—	—
茶 〃		384	4	—	—	388
煙 草 刻 ミ 〃		3	—	—	—	3
木 製 品 〃		174	—	—	—	174

青島三驛發著貨物主要品 (大正九年五月中)

(單位噸以下一位獸類ハ頭數ヲ示ス)

品 目	發 著	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
石 炭 {	發 著	390.0	—	120.0	—	270.0	—	780.0
コ ー ク ス {	〃	2,177.0	1.5	165.0	0.1	3,372.0	—	5,715.6
石 灰 {	〃	—	—	—	—	—	—	—
	〃	333.1	—	110.0	0.3	318.0	—	761.4
煉 瓦 (瓦ヲ含ム) {	〃	—	—	—	—	—	—	—
	〃	653.0	—	444.0	—	—	—	1,097.0
セ メ ン ト {	〃	28.9	0.2	10.3	—	—	—	39.4
	〃	15.0	—	30.0	—	—	—	45.0
硝 子 板 {	〃	86.5	2.4	—	—	297.0	—	385.9
	〃	15.0	—	390.0	—	180.0	—	585.0
硝 子 製 品 {	〃	—	—	—	—	—	0.5	0.5
	〃	—	—	—	—	—	—	—
桐 〃 {	〃	—	1.6	—	—	—	—	1.6
	〃	25.8	0.7	—	—	—	—	26.5
木 材 (板ヲ含ム) {	〃	—	—	—	—	—	—	—
	〃	332.8	—	891.9	—	—	—	1,224.7
竹 及 割 竹 {	〃	319.4	10.9	235.1	—	254.1	—	819.5
	〃	38.4	0.5	20.0	0.9	5.2	—	65.0
石 臼 {	〃	—	0.5	29.9	—	38.2	—	68.6
	〃	—	—	—	—	—	—	—
石 材 及 同 製 品 {	〃	—	—	—	—	—	—	—
	〃	—	0.3	—	—	—	—	0.3
鐵 板 鐵 製 品 {	〃	40.3	26.4	16.9	—	194.0	3.1	280.7
	〃	38.3	3.3	5.0	0.1	10.0	—	56.7
鐵 鍋 {	〃	—	—	1.0	—	—	—	1.0
	〃	57.5	0.2	0.3	—	—	—	58.0
古 鐵 {	〃	226.7	1.2	—	—	0.4	—	228.3
	〃	14.0	0.4	33.5	—	164.1	—	212.0

輸入支那品仕出地別 (大正九年五月中)

品 目	單位	上 海	芝 罘	大 連	其 ノ 他	合 計
(綿 製 品 類)						
シーチング(上海)	疋	4,300	—	—	—	4,300
雲 齋 布(同)	"	—	—	15	—	15
土 布	担	24	—	1	—	25
花 色 土 布	"	85	—	72	—	157
綿 織 絲	"	8,614	—	615	—	9,229
(雜 貨)						
砒 石	"	414	—	—	125	539
竹 簾	箇	174,408	—	—	—	174,408
竹 篾	担	1,319	—	—	—	1,319
筍	"	48	—	—	—	48
書 籍	"	35	1	—	—	36
蠟 燭	"	—	—	141	—	141
磁 石	"	2,248	—	—	—	2,248
紙 卷 煙 草	"	5	—	—	—	5
石 炭(撫順開平)	噸	1,937	—	168	—	2,105
		—	—	210	—	210
紙 扇	箇	210,987	—	—	—	210,987
小 麥 粉 機 械 製	担	12,314	—	1,875	—	14,189
夏 布 粗 製	"	91	—	—	—	91
同 精 製	"	96	—	—	1	97
藥	"	186	40	11	12	249
桐 油	"	92	—	—	—	92
紙 一 等 品	"	654	—	—	—	654
同 二 等 品	"	5,326	—	—	—	5,326
同 錫 箔	"	1,391	14	56	28	1,489
同 其 ノ 他	"	15	—	—	—	15
糖 菓	"	93	—	—	22	115
三 蒸 酒	"	175	—	—	—	175
靴 綿 及 絹 製 白 黃 品	双 担	1,480	—	—	—	1,480
生 絲	"	—	—	—	—	—
同 精	斤	1,209	—	—	—	1,209

[illegible]

品目	單位	日本	英國	米國	香港	其ノ他	上海	大連	其ノ他	計	合
日本酒	担	260	—	—	—	—	—	279	—	—	539
石鹼	〃	274	—	—	—	—	18	81	—	—	373
同 化粧用	海關兩	4,313	—	—	—	—	1,105	859	—	—	6,277
曹達油	担	129	—	—	700	—	1,662	40	—	—	2,531
醬油	〃	277	—	—	—	—	—	167	—	—	444
砂糖 (赤)	〃	—	—	—	2,745	—	—	—	—	—	2,745
同 (白)	〃	—	—	—	—	—	—	135	—	—	135
同 精製	〃	—	—	—	5,460	—	3	84	—	—	5,547
同 冰	〃	—	—	—	250	—	—	—	—	—	250
木材 (堅)	立方呎	57,376	—	—	—	—	25,092	—	—	—	82,468
同 (軟)	〃	842,199	—	71,614	—	—	—	—	—	—	913,813

輸出支那品仕向地別 (大正九年五月中)

品目	單位	日本	露國	英國	香港	其ノ他	大連	上海	其ノ他	合	計
生豆	頭担	534	—	—	—	—	132	—	—	—	666
黃柏	担	566	—	—	—	—	—	3	—	—	569
牛 肉	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
牛 骨	クォーター担	2,077	3,036	—	—	—	20	—	3,532	—	7,995
銅 塊	担	4,676	—	—	—	—	—	—	—	—	4,676
豚 毛	〃	—	—	—	—	—	—	108	—	—	108
氈 帽	個	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山 炭	噸	50	—	—	—	—	190	4,257	380	—	4,877
棉 花	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
錫 塊	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
黑 蛋	〃	—	—	—	—	—	—	—	16	—	16
蛋 乾	〃	—	—	—	—	—	—	191	—	—	191
黃 蛋	〃	486	—	—	—	—	—	360	—	—	846
乾 蛋	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鷄 卵	個	3,767,480	144,000	—	—	—	—	—	—	—	3,911,480
麻 担	担	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2
鹽 魚	〃	41	—	—	—	—	—	—	769	—	810
果 鮮	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
硝 子	〃	—	—	—	43	—	—	206	161	—	410
落 花	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 仁	〃	20,768	—	—	730	—	—	3,039	83,742	—	108,279

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
銅 鈕 釦 花 鈕 釦	哥 担	922	—	—	—	—	—	—	—	922
蠟 燭	担	5	—	—	—	—	14	—	—	19
ヒ メ ソ ト	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	担	2,630	—	—	—	—	—	2,946	—	5,576
磁 石 瓦 器	海關兩	5,334	—	—	—	—	48	3	—	5,385
紙 卷 煙 草	千 本	—	—	6,000	—	—	7,357	—	300	13,657
同 (日本品)	〃	2,300	—	—	—	—	—	18	—	2,318
掛 置 時 計	個	326	—	—	—	—	428	60	—	814
石 炭	噸	1,983	—	—	—	—	62	—	—	2,045
(染料顏料塗料)										
ア ニ リ ン	海關兩	—	—	—	—	—	811	—	—	811
人 造 藍	担	—	—	—	—	—	44	—	—	44
天 然 藍 液 狀	〃	—	—	—	38	—	—	—	—	38
白 鉛 粉	〃	2	—	—	70	—	—	—	—	72
越 幾 斯	〃	—	—	—	—	—	8	—	—	8
電 氣 材 料	海關兩	5,881	—	188	—	—	1,039	532	—	7,690
珞 瑯 洗 面 器	打	420	—	—	—	—	—	50	—	470
麥 粉	担	41	—	—	—	—	—	—	—	41
窓 硝 子	箱	7	—	—	—	—	150	50	—	207
洋 燈 及 洋 燈 器	海關兩	1,385	—	—	—	—	645	22	—	2,052
燐 寸 (黃 燐)	哥	17,133	—	—	—	—	—	8,517	—	25,650
同 (安 全)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
疊 及 莫 座	枚	14,313	—	—	1,600	—	1,000	10	—	16,923
コンデンスミルク	打	6	—	—	—	—	39	—	—	45
針	千 本	24,165	—	—	—	—	—	—	—	24,165
石 油 (米品箱入)	ガロン	—	—	39,990	—	—	—	—	—	39,990
同 (裸)	〃	—	—	1,134,893	—	—	—	—	—	1,134,893
同 (露國箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ス マ ト ラ (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
紙 胡	担	452	—	—	19	—	141	11	—	623
胡 椒	〃	—	—	—	157	—	—	—	—	157
米	〃	561	—	—	356	—	—	—	—	917
昆 布	〃	27	—	—	442	—	—	—	—	469

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
タ オ ル	打	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	"	8	—	—	—	—	—	—	—	8
綿織絲 (印 度)	担	—	—	—	—	12,12	39	—	—	1,251
同 (日 本)	"	2,016	—	—	—	—	—	162	—	2,178
綿 縫 絲(絲卷)	哥	5,070	580	—	—	—	—	—	—	5,650
(毛綿交織類) ユニオン及ボンチ ヨークロス (毛製品類)	碼	—	—	—	—	—	—	—	—	—
綾 吳 呂	疋	—	—	—	—	—	—	—	—	—
羅 世 伊 多	"	—	—	—	—	—	—	1	—	1
伯林ウール及毛絲 (雜質織物類)	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
絹 製 品 交 織 (金 屬 品)	斤	3,321	—	—	—	—	420	—	—	3,741
片	担	48	—	—	—	—	—	—	—	48
線	"	55	—	—	—	—	—	—	—	55
銅 板	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵及軟鐵 (新)	"	795	—	—	66	—	921	—	—	1,782
條	"	—	—	—	—	—	555	—	—	555
屑 鐵 及 屑 鐵 線	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
篋	"	546	—	—	—	—	56	—	—	602
橡	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
釘 用 竿 鐵	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ネール(ワイヤー)	"	322	—	—	—	—	42	80	—	449
片 及 板	"	214	—	—	—	—	92	34	—	340
線	"	1	—	—	25	—	—	2	—	28
鐵 及 軟 鐵(古)	"	1,572	—	—	3,729	—	1,369	315	—	6,985
鍍 金 鐵 片	"	45	—	—	—	—	371	29	—	445
鉛 塊	"	—	—	—	—	—	74	1	—	75
鋼 鐵	"	2	—	—	—	—	214	7	—	223
葉 鐵	"	604	—	—	—	—	51	—	—	655
白 銅 片 及 線 (雜 貨)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
麻 袋	枚	2,176	—	—	2,318	—	—	—	—	4,494
麥 酒	担	1,684	—	—	—	—	970	—	—	2,654
綿 帶	"	19	—	—	—	—	—	—	—	19
バ タ 一	"	8	—	—	—	—	5	—	—	13

青島輸出入貿易 (大正九年五月中)

— 膠海關貿易統計 —

輸入外國品仕出地別

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
精製阿片 (綿製品類)	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生金巾	疋	1,260	—	—	—	—	1,240	960	—	3,460
シーチング(米品)	"	—	—	—	—	—	180	—	—	180
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	148	—	—	148
同 (日本品)	"	16,070	—	—	—	—	—	1,844	—	17,914
晒金巾	"	1,728	—	—	—	—	1,388	253	—	3,369
綾金巾	"	20	—	—	—	—	30	—	—	50
雲齊布(米品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	2	—	—	2
同 (日本品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
シエーン(米品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (和蘭品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	"	9,450	—	—	—	—	—	150	—	9,600
天竺布三十二吋	"	—	—	—	—	—	750	—	—	750
同 (日本品)	"	17,606	—	—	—	—	600	—	—	18,206
寒冷紗及綿紗	"	—	—	—	—	—	1,212	215	—	1,427
平織捺線染色各種	"	10	—	—	—	—	821	460	—	1,291
チンズ及平織更紗	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フリンテッド フローネチュワー	"	—	—	—	—	—	60	—	—	60
捺線綿襪子	"	50	—	—	—	—	—	—	—	50
捺線天竺布	"	—	—	—	—	—	420	—	—	420
コットンイタリア ン及ラッスイング	"	6,355	—	—	—	—	1,534	81	—	7,970
イーズドブラック	"	—	—	—	—	—	160	—	—	160
同平織染色	"	15	—	—	—	—	200	58	—	273
同 綾	"	—	—	—	—	—	91	1	—	92
緋金巾及綿天竺布	"	5	—	—	—	—	1,410	42	—	1,457
綿スパニシストラ イプ 六十四吋	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
綿フランネル	"	—	—	—	—	—	150	—	—	150
同フランケット	"	6	—	—	—	—	—	—	—	6
手 巾 打	打	1,280	—	—	—	—	3	—	—	1,283

◁青島實業協會月報第參拾號▷

◁統計表目次▷

□ 青島輸出入貿易(膠海關統計)(五月中).....	1
□ 青島三驛發著貨物主要品(五月中).....	7
□ 埠頭陸揚貨物噸數仕出地別(四月中).....	11
□ 同船積貨物噸數仕向地別(四月中).....	13
□ 入港汽船仕出地及國籍別(四月中).....	15
□ 出港汽船仕向地及國籍別(四月中).....	16
□ 入港汽船揚荷噸數仕出地別(四月中).....	16
□ 出港汽船積荷噸數仕向地別(四月中).....	17
□ 青島大港兩驛乘降客(五月中).....	17
□ 青島屠獸場屠殺數(六月中).....	18
□ 青島港出入船舶細別表(五月中).....	19
□ 青島港出入船舶旅客表(五月中).....	24
□ 青島物價表(五月中).....	26

大正九年六月現在

會 員	代 表 者	所 在	會 員	代 表 者	所 在
岩 城 商 會 支 店 伊藤忠商事株式會社青島支店 原田汽船株式會社青島支店 日本郵船株式會社青島出張事務所 日本綿花株式會社 青島出張所 東 和 公 司 青 島 支 店 東亞煙草株式會社 青島販賣所 朝 鮮 銀 行 青 島 支 店 大倉商事株式會社 青島出張所 橫濱正金銀行青島支店 大連汽船株式會社 青島出張所 大日本麥酒株式會社 青島出張所 內外綿株式會社 青島出張所 山 田 出 張 所 三菱商事株式會社 青島出張所 茂木合名會社青島出張所 神戸棧橋株式會社 青島出張所 山東運輸株式會社 青島支店 日 華 協 信 公 司 青 島 支 店 青 島 絲 廠 山 東 化 學 工 業 所 青 島 鹽 業 株 式 會 社 東洋拓殖株式會社 青島支店 東洋製油株式會社 青島支店 大 星 公 司 青 島 支 店 久原商事株式會社 青島出張所	田邊郁太郎 西岡清市 川畑竹馬 近澤武男 林 田 勇 河原熊太郎 西村義郎 讚井源輔 石橋藤次郎 野原大輔 松本文三郎 三宅重孝 佐々木國藏 山田三平 濱 丈夫 永井 貢 河 南 薰 神谷武松 藤波茂時 鈴木格三郎 磯野清平 三好光三郎 針貝金次郎 田中 穆 遠藤 要 佐久間長吉郎	早舟町 所澤町 所澤町 葉櫻町 北京町 北京町 北京町 所澤町 早舟町 所澤町 葉櫻町 臺東鎮長通 市外四方庄 北京町 市場通 葉櫻町 早舟町 葉櫻町 北京町 工場地 工場地 濟南町 佐賀町 若鶴町 堺 町 早霧町	山東葉煙草株式會社 江商株式會社 青島支店 安部幸兵衛商店 青島出張店 湯淺貿易株式會社 青島出張所 三井物產株式會社 青島支店 南滿洲鐵道株式會社 青島出張所 峯 村 洋 行 合名會社鈴木商店 青島出張所 中 村 組 青 島 支 店 和 盛 公 司 東洋鹽業株式會社 青島支店 泰 利 商 會 山 東 興 業 株 式 會 社 吉 澤 洋 行 青島製粉株式會社出張所 新利洋行 青島出張所 太平商事株式會社青島支店 福昌公司 青島出張所 南昌洋行 青島出張所 內外貿易株式會社青島出張所 大連製氷株式會社青島支店 龍口銀行 青島支店 東省實業株式會社青島支店 中外綿業株式會社 青島出張所 濱口商事株式會社 青島出張所 長瀨洋行 青島出張所 青 島 銀 行 日 華 實 業 株 式 會 社 山東起業株式會社 大 日 本 紡 績 株 式 會 社 田中畜事株式會社 大 阪 商 船 株 式 會 社	伊東經真 一宮 晃 副島高市 小林 乃 飯塚重五郎 內 丸 勇 峯村正三 金子慶治 原 辰 治 石本貫一 秋元定恭 松崎 翠 空閑知鷺治 吉澤干城 百 溪 深 古賀茂登吉 飯田啓三郎 田中 昇 中村道三 河上律一 倉脇武治 原田 昇 田子金吾 前谷庫太郎 大村隆行 橋 文 助 石井久次 中村康之助 村地卓爾 倉田敬三 空閑知鷺治 川原井作司馬	輕藻町 所澤町 所澤町 葉櫻町 所澤町 葉櫻町 葉櫻町 吳淞町 吳淞町 若葉町 大和町 早霧町 早舟町 市場通 三月月町 野山町 河南町 若葉町 葉櫻町 早霧町 三日月町 保定町 若葉町 北京町 大黑町 伏波町 市場通 所澤町 久留米町 筑後町 早舟町 早舟町

大正九年六月十八日印刷

大正九年六月二十日發行

大正七年八月十九日第三種郵便物認可
(每月一回二十日發行)

發行兼編輯者
印刷所
印刷所
印刷所

青島靜岡町十番地吉見正任
青島靜岡町十番地青島實業協會
青島靜岡町十四番地青島新報社
青島靜岡町十四番地足立孝

(實費銀參拾錢)